

令和2年度
(2020年度)

入学者選抜要項

(大綱)



長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY

令和元年6月

この冊子は「募集要項（願書）」ではありませんので、試験時間・場所等の記載はありません。
出願（インターネット出願）を行う前に、必ず「募集要項」（77 ページ参照）を確認してください。

目 次

2020 年度（令和 2 年度）長崎大学入学者選抜方法等の主な変更点（概要）	1
インターネット出願について	6
1. アドミッション・ポリシー	7
2. 入学者選抜実施日程	15
3. 募 集 人 員	17
4. 入学者選抜方法等	18
(1) 一 般 入 試	20
(2) アドミッション・オフィス入試（AO入試）	33
(3) 推 薦 入 試	44
(4) 帰 国 子 女 入 試	64
(5) 社 会 人 入 試	67
(6) 外国人留学生入試	69
5. 個別の入学資格審査	74
6. 障がい等のある入学志願者との事前相談	76
7. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）	76
8. 募集要項の発表時期及び入手方法等	77
9. 入試情報の提供	79
(1) 個人成績	79
(2) 正解・解答例等	79
(3) 採点・評価基準	
〔一般入試〕	80
〔AO入試〕	83
〔推薦入試〕	85
〔帰国子女入試〕	87
〔社会人入試〕	87
〔外国人留学生入試〕	87
(4) 合否判定基準	
〔一般入試〕	89
〔AO入試〕	91
〔推薦入試〕	92
〔帰国子女入試〕	93
〔社会人入試〕	93
〔外国人留学生入試〕	94
10. 平成 31 年度長崎大学入学者選抜状況	95
11. 2021（令和 3）年度長崎大学入学者選抜方法等の変更点について（予告）	103
〔別 表〕	106
〔別 掲 1〕	108
〔別 掲 2〕	114
〔別 掲 3〕	116
〔別 掲 4〕	117
〔別 掲 5〕	118

2020年度（令和2年度）長崎大学入学者選抜方法等の主な変更点（概要）

I 新学部「情報データ科学部（仮称）」（2020年度設置）について（設置申請中）

新学部の設置は、大学設置・学校法人審議会の審査結果によって確定するもので、設置計画は予定であり、変更があり得ます。

したがって、この入学者選抜要項に掲載する募集人員、出願資格・要件、入学者選抜方法及び選抜期日などはすべて予定であり、詳細については、大学設置・学校法人審議会の審査結果通知後、推薦入試学生募集要項、一般入試学生募集要項及び外国人留学生入試学生募集要項等で発表する予定です。

また、大学設置・学校法人審議会の審査継続による保留等で大学入試センター試験の利用ができなかった場合、個別学力検査等のみで試験を実施し選抜を行います。

長崎大学では、既存の工学部情報工学コースを核として、数学・統計学などの基礎学問分野や医療・生命科学及び社会・観光学分野を中心としたデータサイエンスの教育研究組織を加え、理数系の学力・素養や、当該分野への関心と他分野への探究心を持つ多様な学生を受け入れ、情報科学（インフォメーションサイエンス）とデータ科学（データサイエンス）に精通した人材を養成する情報データ科学部（仮称）を設置します。

情報データ科学部（仮称）は、情報データ科学科の1学科で、インフォメーションサイエンスコースとデータサイエンスコースの2つのコース制です。

入学定員：110人

入試区分	募集人員
一般入試（前期日程）	70
一般入試（後期日程）	15
推薦入試Ⅰ	5
推薦入試Ⅱ	10
外国人留学生入試A（一般枠）	5
外国人留学生入試B（推薦枠）	5
外国人留学生入試C（国際バカロレア枠）	若干人

※「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さない入試、「推薦入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課す入試を表す。

II 教育学部（2020年度改組）について（文部科学省と協議中）

（この内容は、概算要求事項のため、変更の可能性があります。）

入学定員を60人削減することに伴い、各コースの募集人員を次のとおり変更します。

また、選抜方法等の詳細は本冊子の関係ページで確認してください。

- ① 小学校教育コースにおいて、以下のとおり4専攻から3つの系へ変更するとともに、募集人員を変更します。

2019年度入試			2020年度入試		
専攻	入試区分	募集人員	系	入試区分	募集人員
子ども理解実践専攻 教科授業実践専攻 ICT活用実践専攻 多文化理解実践専攻	一般入試（前期日程）	55	子ども理解系 教科授業開発系 離島・地域文化系	一般入試（前期日程）	69
	一般入試（後期日程）	15		一般入試（後期日程）	2
	AO入試Ⅰ	15		AO入試Ⅰ	4
	推薦入試Ⅰ（A）	35		推薦入試Ⅰ（A）	20
	推薦入試Ⅰ（B）	5		推薦入試Ⅰ（B）	5

※「AO入試Ⅰ」及び「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さない入試を表す。

※「推薦入試Ⅰ（A）」は一般推薦枠、「推薦入試Ⅰ（B）」は離島教育推薦枠を表す。

- ② 中学校教育コースにおいて、以下のとおり専攻ごとの募集を文系（国語・社会・英語）、理系（数学・理科）、実技系（保健体育）の3つの系での募集に変更するとともに、募集人員を変更します。

入試区分	2019年度入試		2020年度入試	
	専攻	募集人員	系	募集人員
一般入試（前期日程）	国語	5	文系	15
	社会	5		
	英語	5		
	数学	7	理系	16
	理科	7		
	保健体育	5	実技系	4
	音楽	4	音楽・美術・技術・家庭は募集しない	
	美術	4		
	技術	3		
	家庭	3		
	計	48	計	35
推薦入試Ⅰ	国語	3	文系	9
	社会	3		
	英語	3		
	数学	2	理系	5
	理科	3		
	保健体育	2	実技系	1
	音楽	1	音楽・美術・技術・家庭は募集しない	
	美術	1		
	技術	2		
	家庭	2		
	計	22	計	15
外国人留学生入試	国語	若干人	文系	若干人
	社会	若干人		
	英語	若干人		
	数学	若干人	理系	若干人
	理科	若干人		
	保健体育	若干人	実技系	若干人
	音楽	若干人	音楽・美術・技術・家庭は募集しない	
	美術	若干人		
	技術	若干人		
	家庭	若干人		

※「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さない入試を表す。

【一般入試（前期日程）】

<文系>

合格者の入学後に専攻する教科は、受験者が出願時に届け出た教科とし、合格発表時に通知します。

<理系>

合格者の入学後に専攻する教科は、大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点の高い者から、受験者が出願時に届け出た第1希望を優先しますが、次に掲げる各教科の受け入れ上限の目安を超えるときには、第1希望以外の教科とし、合格発表時に通知します。

〔受入れ上限の目安〕 ※各教科で教育の質を保證できる人員数に相当します。

○数学 7人程度

○理科 9人程度

【推薦入試Ⅰ，外国人留学生入試】

<文系・理系>

合格者の入学後に専攻する教科は、受験者が出願時に届け出た教科とし、合格発表時に通知します。

- ③ 幼児教育コース（「幼稚園教育コース」から名称変更）において、以下のとおり募集人員を変更するとともに、AO入試Ⅰの入学者選抜を廃止します。

2019年度入試		2020年度入試	
入試区分	募集人員	入試区分	募集人員
一般入試（前期日程）	15	一般入試（前期日程）	10
AO入試Ⅰ	10	（実施しない）	
推薦入試Ⅰ	5	推薦入試Ⅰ	5

※「AO入試Ⅰ」及び「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さない入試を表す。

Ⅲ 工学部（2020年度改組）について（文部科学省と協議中）

（この内容は、概算要求事項のため、変更の可能性があります。）

入学定員を50人削減することに伴い、募集人員を次のとおり変更します。

入試区分	コース	2019年度入試	2020年度入試
		募集人員	募集人員
一般入試（前期日程）		263	221
一般入試（後期日程）		50	50
AO入試Ⅰ（A）	電気電子工学	4	4
	情報工学	1	0
	構造工学	5	5
	社会環境デザイン工学	10	10
	化学・物質工学	4	4
	計	24	23
AO入試Ⅰ（B）	機械工学	6	6
	電気電子工学	6	6
	情報工学	3	0
	構造工学	2	2
	社会環境デザイン工学	3	3
	化学・物質工学	2	2
	計	22	19
AO入試Ⅱ	機械工学	5	5
	電気電子工学	2	2
	情報工学	4	0
	構造工学	5	5
	社会環境デザイン工学	2	2
	化学・物質工学	3	3
	計	21	17

※ 工学部工学科情報工学コースは、2020年度入試から募集を停止します。

※ 「AO入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さない入試、「AO入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課す入試を表す。

※ AO入試Ⅰ（A）は、高等学校等を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）を対象とし、AO入試Ⅰ（B）は、高等学校等の専門教育を主とする学科又は総合学科を卒業した者（卒業見込みの者を含む。）で指定された教科・科目を20単位以上修得した者（修得見込みの者を含む。）を対象とする。

Ⅳ 長崎大学医学部医学科における地域の医師確保の観点による募集人員について

本学医学部医学科の平成31年度入学定員には、2019（平成31）年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員25人が含まれており、その増員には医師不足の深刻な地域の医師確保の観点からの増員（以下、「地域枠増員」という。）19人が含まれていました。

この地域枠増員の2020年度及び2021年度における取扱いについては、平成30年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」を踏まえた暫定的な措置により、概ね現状の増員が維持される可能性があります。現時点では未定となっておりますので、詳細は決まり次第、本学の入試情報サイト等でお知らせする予定です。

なお、この地域枠増員は現在、以下の各入試枠の募集人員に含まれており、その入学者には、各県からの修学資金貸与が義務付けられています。

今後、地域枠増員が維持される場合においても、地域枠増員の趣旨に鑑み、以下と同様に地域医療に従事し貢献する明確な意思を持った方を求めることとなりますので、予めお知らせします。

<2019（平成31）年度時点>

入試枠名	募集人員		修学資金			
		(うち地域の医師確保の観点からの増員分)	貸与する県	修学資金名	医師免許取得後の従事要件及び年数(貸与金及び利息の返還免除要件)	問合せ先
推薦入試B (地域医療特別枠)	15	(15)	長崎県	長崎県医学修学資金	一定期間(貸与期間の1.5倍)、長崎県病院企業団等に勤務(初期臨床研修含む)し、その期間の2分の1以上を離島に勤務	長崎県福祉保健部 医療人材対策室 (TEL 095-895-2421)
推薦入試C (佐賀県枠)	2	(2)	佐賀県	佐賀県医師修学資金	貸与期間の2分の3に相当する期間(1年未満切上げ)、県内の公的医療機関等の小児科・産科・救急科・麻酔科で勤務(初期臨床研修除く)	佐賀県健康福祉部 医務課 (TEL 0952-25-7033)
推薦入試C (宮崎県枠)	2	(2)	宮崎県	宮崎県医師修学資金	医療法のキャリア形成プログラム(原則9年間)の適用を受け、貸与期間の1.5倍の期間、県が指定する公的医療機関等で勤務(初期臨床研修含む)	宮崎県福祉保健部 医療薬務課 (TEL 0985-26-7451)

V 長崎大学医学部医学科の入学定員に係る2019（平成31）年度までを期限とする暫定的な増員（地域枠増員除く）について

前述IVのとおり、本学医学部医学科の平成31年度入学定員には、2019（平成31）年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員25人が含まれており、その増員のうち地域枠増員以外で6人の増員が以下の入試枠に含まれていました。

この6人についても、2020年度及び2021年度における取扱いについては、前述IVの地域枠増員同様に、暫定的な措置により、概ね現状の増員が維持される可能性があります。現時点では未定となっておりますので、詳細は決まり次第、本学の入試情報サイト等でお知らせする予定です。

<2019（平成31）年度時点>

入試枠名	募集人員	
		(うち暫定的な増員分)
一般入試(前期日程)	76	(5)
推薦入試D(グローバルヘルス研究医枠)	10	(1)

VI その他の変更点について

前述 I～V 以外の主な変更点は以下のとおりです。

【全学部共通】

1. 帰国子女入試及び外国人留学生入試において、出願要件の年齢要件（年度末年齢 18 歳以上）を廃止する。
また、英国において大学入学資格として認められている GCE-A レベル資格の科目数及び評価を指定する。

【多文化社会学部】

1. 一般入試（前・後期日程）、A O 入試、帰国子女入試及び外国人留学生入試で利用可能な次の外国語検定試験を廃止する。
 - ・ TOEFL Junior Comprehensive 341 点以上（A O 入試のみ）
 - ・ GTEC for STUDENTS (L&R&W) 700 点以上（一般入試及び A O 入試のみ）
 - ・ GTEC for STUDENTS (L&R&W) + (S) 850 点以上（一般入試及び A O 入試のみ）
 - ・ GTEC CBT 1040 点以上（一般入試及び A O 入試のみ）
 - ・ TOEFL PBT 500 点以上（A O 入試及び外国人留学生入試のみ）又は 537 点以上（帰国子女入試のみ）
2. 一般入試（前期日程）で設置する学外試験場（福岡試験場、大阪試験場）については、施設の都合上、収容定員を設定する（予定）。詳細は 11 月下旬頃発表予定の「令和 2 年度（2020 年度）長崎大学一般入試学生募集要項」を確認してください。

【教育学部】

1. 外国人留学生入試で課す外国語検定試験のうち、「TOEFL PBT 440 点以上」を廃止する。

【経済学部】

1. A O 入試 I（A：実践力枠及び B：グローバル枠）において、選抜方法等へ次の項目を追加する。
○ただし、第 2 次選考において、課題論文、個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。

【歯学部】

1. 一般入試（後期日程）において、2 段階選抜を実施する。ついては、入学者選抜方法等に次の項目を追加する。
○入学志願者が後期日程においては募集人員（7 人）の約 2.0 倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入試センター試験の成績により第 1 段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定する。
2. 一般入試（後期日程）の個別学力検査等において、「総合問題」を廃止し「小論文」を導入する。

【薬学部】

1. 薬科学科において、推薦入試Ⅱの「選抜方法等」及び「合否判定基準」を次のとおり変更する。
（旧）大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として 80% に満たない場合は不合格とする。

（新）大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として 70% に満たない場合は不合格とする。

【工学部】

1. A O 入試Ⅱにおいて、第 2 次選考の選抜方法等の次の項目を削除する。
○ただし、大学入試センター試験指定 4 科目（数Ⅰ・数Ⅱ、数Ⅲ・数Ⅳ、物理、化学）のうち、得点率が 75% 以上の科目が 2 科目以上ある者を選考の対象とする。

【水産学部】

1. 一般入試（後期日程）の合否判定基準(1)を次のとおり変更する。
（旧）(1) 大学入試センター試験及び面接の成績の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。

（新）(1) 大学入試センター試験及び面接の成績の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。
ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験の成績にかかわらず不合格とすることがある。
2. 推薦入試Ⅰの合否判定基準(2)を次のとおり変更する。
（旧）(2) 合計点を高得点順に並べ、高得点順に合格者とする。

（新）(2) 合計点を高得点順に並べ、高得点順に合格者とする。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、個別に審査して合否を決定する。
3. A O 入試Ⅰにおいて、選抜方法等へ次の下線部分を追加する。
自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、小テスト、面接の結果を総合して合格者を決定する。
ただし、第 2 次選考において、面接の評価が著しく低い場合には、課題論文、小テストの成績にかかわらず不合格とすることがある。

上記以外の入試の詳細は本冊子の関係ページで確認してください。

インターネット出願について

長崎大学では、学部入試（編入学試験除く。）については、インターネットを利用した出願方法を導入しています。紙媒体の出願方法との併用は行いませんので、学生募集要項は、本学ホームページから電子ファイル（PDF形式）をダウンロードして入手又は参照してください。また、各募集要項の発表時期及び入手方法等については、77ページを参照してください。

【インターネット出願を導入している入試区分】

- ①一般入試（前期日程・後期日程） ②AO入試（Ⅰ・Ⅱ） ③推薦入試（Ⅰ・Ⅱ）
④帰国子女入試 ⑤社会人入試 ⑥外国人留学生入試

【インターネットを利用した出願の流れ】※①～④まで行わなければ出願は完了しません。

①入試区分・入試制度の確認（事前準備書類の印刷）



本学HP「入試情報サイト」から「募集要項」をダウンロードし、受験希望の学部・学科等の出願条件・試験科目・出願期間や試験日等を確認します。

※志望理由書等、事前に印刷して準備する書類もありますので、ご注意ください。

②出願情報の登録（一時保存機能付き）



パソコン又はスマートフォンから本学HP「入試情報サイト」のインターネット出願ページにアクセスし、画面の指示に従って登録内容を入力します。

- 【登録内容】◎入試区分の選択 ◎学部・学科・受験科目等の選択
◎氏名・連絡先等の個人情報の入力

※一時保存機能により、検定料支払いの前に学校の先生や保護者の方の確認も可能です。
※登録後に発行される整理番号とセキュリティコードは、受験票を印刷する際に必要となりますので、必ずメモ等で控えてください。

※検定料支払い後は、登録内容の変更はできませんので、支払い前に再度確認してください。

③支払い方法の選択・支払い



入学検定料の支払い方法を選択します。

- 【支払い方法】◎クレジットカード ◎コンビニエンスストア ◎銀行ATM（ペイジー）
◎ネットバンキング

選択した支払い方法に従って、出願締切日時までに**出願書類を郵送（必着）**できるように入学検定料を支払います。

④必要書類の印刷・郵送



システムから出願確認票を印刷し、自分で準備した調査書等の必要書類とともに封筒に入れます。

その封筒にシステムから印刷した宛名ラベルを貼り、長崎大学へ出願締切日時までに**必着**するように**郵送**し、**出願完了**となります。

【インターネット出願体験デモサイトについて】

本学のインターネット出願を体験できるデモサイトを、令和元年7月頃に公開する予定です。準備ができましたら、本学ホームページ（<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/faculty/index.html>）で案内します。

また、インターネット出願に関する各種情報をこのホームページで随時お知らせしますので、注意してください。

1. アドミッション・ポリシー

【全学共通のアドミッション・ポリシー】

長崎大学は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 専門的な知識や技術の習得に必要な知識・技能・理解の基礎が充実している。
- ・ ものごとの本質を学修するために必要となる基礎的な論理的・批判的思考力，判断力がある。
- ・ 日本語・英語・その他の外国語で積極的にコミュニケーションを行おうとする姿勢とその基盤となる基礎的な言語運用力を持っている。
- ・ 自ら考えようとする態度がある。
- ・ 自らを高めるために継続的に学ぼうとする態度・意欲がある。
- ・ 多様性を認め，他者と協働しようとする態度がある。
- ・ 国際社会，地域社会への関心を持っている。

本学では，これらの資質・素養を大学入試センター試験，個別試験，調査書，小論文・課題論文，実技，面接等により総合的に評価し，入学者の選抜を行います。

【多文化社会学部のアドミッション・ポリシー】

多文化社会学部の入学試験では，高等学校までの教育課程を尊重し，基礎的・基本的知識と教育課程を通して育成される論理的批判的思考力・判断力・表現力を評価します。

また，入学後のカリキュラムを考慮して，選抜にあたっては英語を主とした外国語の運用能力と，多文化状況や異文化への興味・関心，学ぶことへの意欲も重視します。

多文化社会学部は，入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・ 英語を主とする外国語の運用能力の基礎が充実している。
センター試験の「外国語」の配分，外国語（英語）検定試験の結果の活用，前期日程における個別学力検査「外国語」，外国語（英語）を用いた面接
- ・ 世界の多文化状況や異文化交流に興味，関心を持ち，グローバルな視点で自ら学ぼうとする意欲がある。
AO入試 I における筆記試験
- ・ 世界の多文化状況を客観的に捉え，見出された課題の解決に向けて論理的に思考できる。
後期日程における小論文
- ・ 世界規模の多種多様な考え方や価値観を尊重しつつ，それらについて批判的に思考できる。
前期日程における総合問題

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程 (4コース)	一般入試 前期日程 (オランダ)	一般入試 後期日程 (4コース)	AO入試 I 一般枠 (4コース， オランダ)	AO入試 I グローバル・国 際バカロレア枠 (4コース， オランダ)	帰国子女入試 外国人留学生入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	調査書 自己推薦書	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等	提出書類 面接
語学力 (英語)	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	調査書 自己推薦書 個人面接	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等	提出書類 面接
批判的・ 論理的 思考力	個別学力試験	個別学力試験	個別学力試験	個人面接 筆記試験	個人面接 筆記試験	面接
ライティ ング能力	個別学力試験	個別学力試験	個別学力試験	筆記試験	筆記試験	面接

コミュニケーション・自己表現能力	調査書*	調査書 面接	調査書 面接	調査書 自己推薦書 個人面接	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等 個人面接	面接
多文化状況への興味・関心	個別学力試験	個別学力試験 面接	個別学力試験 面接	調査書 自己推薦書 個人面接	自己推薦書 諸活動の記録 調査書等 個人面接	面接

* 令和3年度入試に向けて検討中

【教育学部のアドミッション・ポリシー】

教育学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・専門的な学修に必要な基礎的な論理的・批判的思考力や判断力、表現力（コミュニケーション能力を含む。）がある。
- ・児童・生徒および保護者、同僚その他の人々との良好な対人関係を構築するために必要な非言語的要素を含むコミュニケーション能力がある。
- ・主体的に学修を継続し、発展させようとする意欲と態度がある。
- ・現代の教育課題への関心を持ち、教職を志望している。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試 I	AO入試 I	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	調査書	調査書	日本留学試験 個別学力試験
思考力・判断力・表現力	個別学力試験	面接	小論文等	課題論文 自己表現	個別学力試験
コミュニケーション能力	面接	面接	面接	面接	面接
教職の志望 教育への関心 主体的学修の意欲・ 態度	面接 調査書等*	面接 調査書*	面接 調査書 推薦書 志望理由書	面接 調査書 自己推薦書 諸活動の記録	面接

* 令和2年度入試においては参考資料とする。

【経済学部のアドミッション・ポリシー】

経済学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・基礎的学力が身についている。
- ・論理的思考力が身についている。
- ・英語を含むコミュニケーション力が身についている。
- ・強い学習意欲、主体性や行動力がある。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO 入試 I	推薦 入試 I	外国人留学生 入試	社会人 入試
基礎的学力が身につ いている	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (小論文)	課題論文	小論文	小論文 英語外部試験 日本留学試験	小論文

論理的思考力が身についている	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (小論文)	課題論文	小論文	小論文	小論文
コミュニケーション力が身についている	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (小論文)	課題論文 諸活動の記録 調査書 面接	小論文 調査書 面接	小論文 面接 英語外部試験 日本留学試験	小論文 面接
学習意欲, 主体性や行動力がある	*	*	自己推薦書 諸活動の記録 調査書 面接	調査書 面接	面接	面接

*令和3年度入試に向けて検討中

【医学部（医学科）のアドミッション・ポリシー】

医学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・入学後の学修に必要な基礎学力を有している。
医学に関する専門的知識を修得するために必要な科学的素養を広く有する。
専門的情報を収集・理解する上で必要な日本語および英語の読解力・表現力を有する。
- ・医学・医療分野の職業に生涯にわたり従事するというプロフェッショナルリズムを認知して、強い目的意識と高い志を持つ。また、その実践のために必要な思考力、判断力を有する。
- ・生命の尊厳を重んじ、高い倫理観と豊かな人間性を持つ。
- ・チーム医療への貢献のために必要な協調性、コミュニケーション能力、リーダーシップと強い責任感を有する。
- ・広く生命科学分野への探求心を有し、さらに、社会的諸問題や国際問題などへのグローバルな問題意識を常に持つ。
- ・地域社会における問題点解決に取り組む積極性を有する。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	推薦入試Ⅱ	外国人留学生入試
基礎学力	センター試験 個別学力試験	推薦書 調査書	日本留学試験 個別学力試験
読解力・表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験	日本留学試験 個別学力試験
コミュニケーション能力	面接	面接	面接
思考力・判断力・表現力	センター試験 個別学力試験	推薦書 志望理由書	日本留学試験 個別学力試験
態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心	調査書* 面接	調査書 推薦書 志望理由書 面接	面接

*令和3年度入試に向けて検討中

【医学部（保健学科）のアドミッション・ポリシー】

保健学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門科目の学修の基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実している。
- ・対人関係を構築するために必要なコミュニケーション能力がある。

実習では患者さんやその家族との間に良好な信頼関係を構築する必要があることから、非言語的要素を含むコミュニケーション能力を重視します。そのため全ての入学試験に面接を課します。

- ・専門的な学修に必要となる基礎的な論理的・批判的思考力や判断力，表現力がある。
- ・主体的に学修を継続する態度と意欲がある。
- ・基礎的な倫理性と，他者への共感性や協調性，リーダーシップを持つ。
- ・国際社会や地域社会における保健への関心がある。
- ・国際的な学術文献の講読に必要な基本的な英語読解力がある。

最新の科学的根拠を収集するために必要な英語読解力の基礎が養われていることを重視します。そのため前期日程と外国人留学生入試では個別試験で英語，後期日程と推薦入試Ⅰでは小論文で英語の問題を課します。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅰ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	推薦書 調査書	日本留学試験
コミュニケーション能力	面接	面接	面接	面接
思考力・判断力・表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 小論文	推薦書 小論文	面接
態度・意欲 倫理性・共感性 協調性・リーダーシップ 社会的関心	調査書* 面接	調査書* 面接	調査書 推薦書 志望理由書 面接	面接
英語読解力	センター試験 個別学力試験	センター試験 小論文	小論文	個別学力試験

* 令和2年度入試においては参考資料とする。

【歯学部のアドミッション・ポリシー】

【一般コース】

歯学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・専門科目の修学に要する基礎学力を有している。
- ・専門科目の修学に要する思考力，判断力，表現力を有している。
- ・歯科口腔医学，歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感を持っている。
- ・主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力を有している。

【歯学研究コース】

一般コースに加え，以下の資質・素養を求めます。

- ・将来我が国の最先端歯科口腔医療，歯科口腔医学または歯科口腔医学教育を担うことを目指し，本学部卒業後，大学院医歯薬学総合研究科（歯学系）に進学するための，歯学研究コースを履修することを確約し，遂行する強い意思を持っている。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO入試Ⅱ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験 調査書*	センター試験 調査書*	センター試験 調査書	日本留学試験 修了（修了見込）証明書および成績証明書

思考力, 判断力, 表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 小論文	センター試験 課題論文	日本留学試験 個別学力試験
歯科口腔医学, 歯科口腔医療に対する強い関心と明確な目的意識ならびに使命感	面接 志願調書	面接 志願調書	面接	面接
主体性を持って学ぶ態度と多様な人々と協働するコミュニケーション能力	面接	面接 小論文	面接 諸活動の記録	面接
最先端歯科医療, 歯学研究, 歯学教育を担うことを目指し, 大学院に進学する強い意思			面接 自己推薦書	

* 令和2年度入試においては参考資料とする。

【薬学部のアドミッション・ポリシー】

<薬学科（6年制）>

薬学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・専門的な学修に必要となる数学と理科の学力が優れている。
- ・英語論文の読解・解説をはじめ, グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語の学力が優れている。
- ・論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・協調性やコミュニケーション能力を持つ。
- ・薬学, 生命科学に高い関心があり, 研究や持続的な学修への意欲を持つ。

選抜方法に関する別表（薬学部 薬学科）

求める資質等	入試区分	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅱ	外国人留学生 入試
基礎学力		センター試験	センター試験	センター試験	日本留学試験
数学, 理科, 英語の学力		センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 面接	日本留学試験 個別学力試験
思考能力, 問題解決能力		個別学力試験	個別学力試験 面接	面接	個別学力試験 面接
協調性, コミュニケーション能力, 関心, 意欲		調査書*	調査書* 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接	面接

*令和3年度入試に向けて検討中

<薬科学科（4年制）>

薬科学科は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・幅広い知識と十分な基礎学力がある。
- ・専門的な学修に必要となる数学と理科の学力が優れている。
- ・英語論文の読解・解説をはじめ, グローバルな視点を持って社会に貢献するために必要な英語

の学力が優れている。

- ・論理的な思考能力や問題解決能力を持つ。
- ・積極的な自己表現力や行動力を持つ。
- ・薬学、生命科学に高い関心があり、研究や持続的な学修への意欲を持つ。

選抜方法に関する別表（薬学部 薬科学科）

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅱ	外国人留学生 入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	日本留学試験
数学、理科、英語の学力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	センター試験 面接	日本留学試験 個別学力試験
思考能力、問題解決能力	個別学力試験	個別学力試験	面接	個別学力試験 面接
自己表現力、行動力、関 心、意欲	調査書*	調査書*	推薦書 調査書 志望理由書 面接	面接

*令和3年度入試に向けて検討中

【情報データ科学部（仮称）のアドミッション・ポリシー】

情報データ科学部（仮称）は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・情報の収集、伝達、整理・分析、加工・提示に関する基礎的な知識または技能を有する。
- ・専門的な学修に必要な高校程度の数学、理科及び英語の基礎学力を有し、科学的な思考・判断・表現に応用できる。
- ・知識とデータに基づく推論がさまざまな課題解決や新たな価値の創出に活かされることを理解している。
- ・自ら学びを深めようとする姿勢と行動力を備え、多様な人々と協力して文系・理系の枠を超えた課題に取り組める。

選抜方法に関する別表

入試 区分 求める 資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅰ	推薦入試Ⅱ	外国人留学生入試 A・B	外国人留学生入試 C
知識・ 技能・ 基礎学力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	面接（口述 試験を含む） 小テスト 調査書	センター試験	日本留学試 験（Aのみ） 小テスト	I B最終試験 6 科目の成績証 明書
思考力・ 判断力・ 表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験	面接（口述 試験を含む） 小テスト 調査書	面接（口述 試験を含む） 小テスト 調査書	面接（口述 試験を含む）	面接（口述試 験を含む）
主体性・ 協調性	調査書	調査書	面接（口述 試験を含む） 小テスト 調査書	面接（口述 試験を含む） 小テスト 調査書	面接（口述 試験を含む）	面接（口述試 験を含む） 志望理由書

【工学部のアドミッション・ポリシー】

工学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・数学、物理、化学、英語の基礎学力が充実している。
- ・論理的思考力を有する。
- ・地域社会やグローバル社会に技術者として貢献する強い意志がある。
- ・地球と自然環境に配慮した循環型社会の実現への強い関心を持っている。
- ・物質・エネルギー・情報技術の創出と高効率利用法の発展に関心をもっている。
- ・基本的な倫理観と安全への意識がある。
- ・社会性に富む。
- ・主体性がある。
- ・実行力がある。
- ・継続して学修する意欲や態度がある。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO入試 I	AO入試 II	帰国子女入試 外国人留学生入試
数学・理科・英語の 基礎学力	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (総合問題)	面接(口述試 験を含む) または 小テスト	センター試験	面接(口述試 験を含む)
論理的思考力を有 する	センター試験 個別学力試験	センター試験 個別学力試験 (総合問題)	面接(口述試 験を含む) または 小テスト	センター試験	面接(口述試 験を含む)
基礎的な倫理観と 安全への意識があ る	*	*	面接(口述試 験を含む) 調査書	面接 調査書	面接(口述試 験を含む)
継続して学修する 意欲や態度がある	*	*	面接(口述試 験を含む) 調査書	面接 調査書	面接(口述試 験を含む)
社会性に富む、主体 性がある、実行力が ある	*	*	面接(口述試 験を含む) 調査書	面接 調査書	面接(口述試 験を含む)
地域社会やグロー バル社会に技術者 として貢献する強 い意志がある	*	*	面接(口述試 験を含む) 調査書	面接 調査書	面接(口述試 験を含む)

*令和3年度入試に向けて検討中

【環境科学部のアドミッション・ポリシー】

環境科学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・多様な環境科学を学修する基盤となる高等学校卒業程度の知識・技能・理解が充実していること。
このため、センター試験では幅広い科目に対して配点しています。また、選抜方法A(文系受験)では国語、選抜方法B(理系受験)では理科の配点を高くしています。
- ・環境をめぐる諸問題に強い関心を持ち、環境科学を学ぶ意欲にあふれ、主体的に学修を継続する姿勢があること。
このため、後期日程や推薦入試、外国人留学生入試等における面接では、これらの資質・素養を評価します。
- ・学修・研究に必要な基本的な英語能力があること。
このため、センター試験による評価では英語の配点が高く、前期日程の選抜方法A(文系受験)の個別学力検査でも英語を課し、選抜方法B(理系受験)では英語を選択可能な科目とし

て位置づけています。

- ・責任感や正義感が強く，協調性と思いやりがあり，社会に対する奉仕の志があること。
このため，推薦入試では，調査書をもとにこれらの資質を評価します。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	推薦入試Ⅱ	外国人留学生入試
基礎学力	センター試験	センター試験	センター試験	小論文 日本留学試験
読解力・判断力・表現力	センター試験 個別学力試験	センター試験 面接	調査書 面接	小論文 面接
英語読解力	センター試験 個別学力試験	センター試験	センター試験	面接
意欲・積極性，環境への 関心度，思考力	*	面接	調査書 面接	面接

*令和3年度入試に向けて検討中

【水産学部のアドミッション・ポリシー】

水産学部は入学者に以下の資質・素養を求めます。

- ・海洋環境，海洋生物に代表される水圏と社会の関わりに強い関心を持っている。
- ・将来，水産・海洋研究の発展に貢献し，国際的な視野で活躍するために必要となる幅広い内容に柔軟に対応できる問題解決能力を有している。
- ・将来，国内外の第一線で活躍し各分野のリーダーになれるような自主的，主体的学修・研究姿勢を有している。
- ・知識偏重ではなく，将来，実社会で活躍できる論理的思考能力を有している。
- ・諸課題を解決するために必要な基礎的知識や技能を習得している。

選抜方法に関する別表

入試区分 求める資質等	一般入試 前期日程	一般入試 後期日程	AO入試Ⅰ	推薦入試Ⅰ	帰国子女 入試	外国人留学生 入試
基礎的知識・ 技能	センター試験 個別学力試験	センター試験	諸活動の記録 調査書 小テスト	調査書 学校推薦書 面接	小論文 面接	面接
論理的思考力	*	*	課題論文 小テスト	面接	小論文 面接	面接
学修・研究姿勢	*	面接	諸活動の記録 自己推薦書 面接	面接	面接	面接
問題解決能力	センター試験 個別学力試験	センター試験	課題論文 小テスト	*	*	*
水圏と社会の 関わりへの関 心	*	面接	自己推薦書 面接	志望理由書 面接	面接	面接

*令和3年度入試に向けて検討中

2. 入学者選抜実施日程

※試験時間・場所等は各入試区分の「募集要項」に記載予定。
「募集要項」の発表時期や入手方法等は77ページ参照。

〔一般入試〕

区 分	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	試 験 日	合格者発表	入学手続
前期日程	全 学 部	11月下旬	1/27(月) ～ 2/ 5(水)	2/25(火) *教育学部（中学校教育コース実技系以外），医学部医学科及び歯学部は， 2/26(水) も実施する。	3/ 7(土)	3/14(土) 3/15(日)
後期日程	全 学 部			3/12(木)		

実施日程

〔アドミッション・オフィス入試（AO入試）〕

区 分 (注1)	学 部 名	募集要項 発表予定	出願期間	第1次選考 結果発送	第2次選考日	合格者発表	入学手続	
A O 入 試 I	教育学部	7月上旬	9/ 2(月) ～ 9/ 6(金)	9/27(金)	10/12(土) 10/13(日)	10/30(水)	12/ 2(月)	
	多文化社会学部				10/12(土) (注2)			
	経済学部							10/15(火) 10/16(水)
	工学部							
水産学部								
A O 入 試 II	歯学部	11/ 8(金) ～ 11/14(木)	12/ 5(木)	12/ 5(木)	1/24(金)	2/12(水)	2/19(水)	
	工学部				1/28(火)			

注1) 「AO入試I」は大学入試センター試験を課さないもの、「AO入試II」は大学入試センター試験を課すものを表す。

2) AO入試Iの第2次選考日で、工学部は志願者多数の場合、選考が翌10月13日（日）にわたることがある。

〔推薦入試, 帰国子女入試, 社会人入試, 外国人留学生入試〕

区分 (注1)	学部名	募集要項 発表予定	出願期間	試験日	合格者発表	入学手続	
推薦入試Ⅰ	教育学部	9月上旬	11/1(金) ～ 11/7(木)	11/20(水) (注2)	12/5(木)	12/20(金)	
	経済学部 医学部(保健学科) 情報データ科学部(仮称) 水産学部			11/21(木) (注3)			
推薦入試Ⅱ	薬学部		12/16(月) ～ 12/20(金)	1/23(木)	2/12(水)	2/19(水)	
	医学部(医学科) 情報データ科学部(仮称)			1/24(金) (注4)			
	環境科学部			1/31(金)			
帰国子女入試	多文化社会学部		11/1(金) ～ 11/7(木)	11/20(水)	12/5(木)	12/20(金)	
	水産学部			11/21(木)			
	工学部			1/29(水)	2/12(水)	2/21(金)	
社会人入試	経済学部(夜間主コース) 【11月期】		9月上旬	10/11(金) ～ 10/17(木)	11/2(土)	11/22(金)	12/20(金)
	医学部(保健学科)						
	経済学部(夜間主コース) 【3月期】	2/12(水) ～ 2/18(火)		3/1(日)	3/13(金)	3/26(木)	
外国人留学生入試	多文化社会学部 経済学部 情報データ科学部(仮称) 工学部 環境科学部	9月上旬	11/18(月) ～ 11/22(金)	1/29(水) (注5)	2/12(水)	2/21(金)	
	水産学部			1/31(金)			
	教育学部		中学校教育コース (実技系)	2/25(火)	3/7(土)	3/14(土) 3/15(日)	
			中学校教育コース (文系・理系)	2/25(火) 2/26(水)			
			小学校教育コース 幼児教育コース 特別支援教育コース	2/26(水)			
	医学部		2/25(火) 2/26(水)				
	歯学部 薬学部		2/25(火)				

注1) 「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないもの、「推薦入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものを表す。

2) 推薦入試Ⅰの試験日で、教育学部は志願者多数の場合、面接が翌11月21日(木)にわたることがある。

3) 推薦入試Ⅰの試験日で、情報データ科学部(仮称)及び水産学部は志願者多数の場合、面接が翌11月22日(金)にわたることがある。

4) 推薦入試Ⅱの試験日で、情報データ科学部(仮称)は志願者多数の場合、面接が翌1月25日(土)にわたることがある。

5) 外国人留学生入試の試験日で、情報データ科学部(仮称)及び工学部は志願者多数の場合、選考が翌1月30日(木)にわたることがある。

3. 募集人員

学部	学科等		入学定員	募集人員									
				一般入試 (分離・分割方式)		アドミッション・ オフィス入試		推薦入試		帰国 子女 入試	社会人 入試	外国人 留学生 入試	
				前期 日程	後期 日程	AO 入試Ⅰ	AO 入試Ⅱ	推薦 入試Ⅰ	推薦 入試Ⅱ				
多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	100	68	10	12					若干人	若干人	
		オランダ特別コース		7		3					若干人	若干人	
	小計		100	75	10	15							
教育学部	学校教育 教育 養成 課程	小学校教育コース 子ども理解系 教科授業開発系 離島・地域文化系	180	69	2	4			25			若干人	
		中学校教育コース 文系 理系 実技系		15					9			若干人	
				16					5			若干人	
				4					1			若干人	
		幼児教育コース		10					5			若干人	
		特別支援教育コース		7	3	1			4			若干人	
小計		180	121	5	5		49						
経済学部	総合経済学科	昼間コース	265	190	40	15		20				若干人	
		夜間主コース	60								60		
	小計		325	190	40	15		20			60		
医学部	医学科		95+α	71+α					24+α			若干人	
	保健 学科	看護学専攻	70	48	10			10			2	若干人	
		理学療法専攻	18	10	5			2			1	若干人	
		作業療法専攻	18	10	5			2			1	若干人	
		計	106	68	20			14			4		
小計		201+α	139+α	20			14	24+α		4			
歯学部	歯学科		50	33	7		10					若干人	
薬学部	薬学科		40	30	6				4			若干人	
	薬科学科		40	21	15				4			若干人	
	小計		80	51	21				8				
情報データ 科学部(仮称)	情報データ科学科		110	70	15			5	10			10+ 若干人	
工学部	工 学 科	機械工学コース	330	221	50		6	5			若干人	若干人	
		電気電子工学コース				10	2			若干人	若干人		
		構造工学コース				7	5			若干人	若干人		
		社会環境デザイン工学コース				13	2			若干人	若干人		
		化学・物質工学コース				6	3			若干人	若干人		
	小計		330	221	50	42	17						
環境科学部	環境科学科	選抜方法A(文系)	130	40	13			6	4			8	
		選抜方法B(理系)	40	13			6						
	小計		130	80	26			16			8		
水産学部	水産学科		110	45	45	5		15		若干人	若干人		
合計			1,616+α	1,025+α	239	82	27	103	58+α		64	18	

注1) 「AO入試Ⅰ」及び「推薦入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないもの、「AO入試Ⅱ」及び「推薦入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものを表す。

- 2) アドミッション・オフィス入試、推薦入試(医学部医学科の推薦入試B及びCを除く)及び社会人入試(医学部保健学科)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の前期日程の募集人員に加えて選抜する。
- 3) 外国人留学生入試(情報データ科学部(仮称)及び環境科学部)による入学手続者数が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を一般入試の募集人員に加えて選抜する。
- 4) 多文化社会学部の国際公共政策コース、社会動態コース、共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては、1年次終了時にコースを決定する。
- 5) 教育学部小学校教育コースの各入試はコースで募集し、入学後に所属する系を決定する。
- 6) 教育学部中学校教育コース文系及び理系の入学後に専攻する教科は、志願者が出願時に希望する教科を届け出、合格発表時に通知する。
- 7) 医学部医学科の入学定員は、2019(平成31)年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員25人を除いているが、その増員は概ね現状が維持される可能性がある。現時点では未定となっているため、その増員人数を「+α」とする。募集人員等の詳細は決まり次第、本学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。
- 8) 工学部工学科の一般入試は工学科全体で募集し、合格発表時にコースを決定する。(合格者のコース決定方法は、P21「②入学者選抜方法等キ」の項を参照のこと。)

4. 入学者選抜方法等

【選抜方法の概要】

* 一般入試, アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

(○は実施するもの, ×は実施しないものを表す。)

学部・学科名等		一般入試 (個別学力検査等)										AO入試		備考 〔欠員補充方法等〕		
		実技検査等					2段階選抜									
		個別学力検査を課す	実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す	外国語におけるリスニングテストを課す	第1段階の選抜合格者			定員に対する倍率	その他					
							大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	大学入試センター試験を課す	試験を課さない (AOI)							
多文化社会学部	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース (注1)	前期日程	○	×	×	×	×	○	×	○ (注2)	○	×	入学定員に欠員が生じたときは、原則として追加合格者を決定し補充することとするが、欠員補充第2次募集を行うこともある。			
		後期日程	×	×	○	○	×	○	×	○ (注2)						
	オランダ特別コース	前期日程	○	×	○	×	×	○	×	○ (注2)						
		後期日程は実施しない						×	×	×						
教育学部	小学校教育コース	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×				
		後期日程	×	×	○	×	×	×	×	×						
	中学校教育コース	文系	前期日程	○	×	○	×	×	×	×				×	×	×
			後期日程は実施しない													
	理系	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×				×	×	
		後期日程は実施しない														
	実技系	前期日程	○	○	○	×	×	×	×	×				×	×	
		後期日程は実施しない														
	幼児教育コース	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×				×	×	
		後期日程は実施しない														
特別支援教育コース	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×					
	後期日程	×	×	○	×	×										
経済学部	昼間コース	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×				
		後期日程	×	×	×	○	×									
夜間主コース	前期日程及び後期日程は実施しない						×	×	×	×	×					
医学部	医学科	前期日程	○	×	○	×	×	○	約5倍	×	×	×				
		後期日程は実施しない						×	×							
保健学科	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×					
	後期日程	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×					
歯学部	前期日程	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○					
		後期日程	×	×	○	○	×	○	約20倍	×	×	○				
薬学部	薬学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
		後期日程	○	×	○	×	×	○	×	○ (注3)	×	×				
薬科学科	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
情報データ科学部 (仮称)	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×					
工学部	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○					
	後期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○					
環境科学部	選抜方法A (文系受験)	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×				
		後期日程	×	×	○	×	×	×	×	×						
	選抜方法B (理系受験)	前期日程	○	×	×	×	×	×	×	×						
		後期日程	×	×	○	×	×	×	×	×						
水産学部	前期日程	○	×	×	×	×	○	×	○ (注4)	○	×					
	後期日程	×	×	○	×	×	×	×	×							

注1) 多文化社会学部の国際公共政策コース, 社会動態コース, 共生文化コース及び言語コミュニケーションコースについては, 1年次終了時にコースを決定する。
 2) 多文化社会学部における一般入試の2段階選抜の詳細は, 20ページ記載の「(1) 一般入試 ②入学者選抜方法等 ア. 多文化社会学部」を参照すること。
 3) 大学入試センター試験の3教科5科目の合計得点が600点満点中480点以上の者
 4) 大学入試センター試験の5教科7科目又は5教科8科目の合計得点が900点満点中450点以上の者

* 推薦入試, 帰国子女入試, 社会人入試, 外国人留学生入試等

(○は実施するもの, ×は実施しないものを表す。)

選抜方法等 学部・学科名等			推 薦 入 試						帰国子女, 社会人等のための入学者選抜			備 考		
			入学定員の一部について, 出身学校長の推薦に基づき, 学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する						帰国子女	社会人	外国人留学生			
			個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する (推薦Ⅰ)	個別学力検査を免除し, 大学入試センター試験を課す (推薦Ⅱ)	実 技 検 査 等								その他	
実技検査を課す	面接を行う	小論文を課す			外国語におけるリスニングテストを課す									
多文化社会学部			×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小学校教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○		
		中 学 校 教 育 コース	文 系	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	
			理 系	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
			実 技 系	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	
		幼児教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
		特別支援教育コース	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	
経 済 学 部	昼間コース		○	×	×	○	○	×	×	×	×	○		
	夜間主コース		×	×	×	×	×	×	×	×	○	×		
医 学 部	医 学 科		×	○	×	○ (注1)	×	×	×	×	×	○		
	保 健 学 科	看護学専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○		
		理学療法専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○		
		作業療法専攻	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○		
歯 学 部			×	×	×	×	×	×	×	×	○			
薬 学 部	薬学科		×	○	×	○	×	×	×	×	×	○		
	薬科学科		×	○	×	○	×	×	×	×	×	○		
情 報 データ 科 学 部 (仮称)			○	○	×	○ (注2)	×	×	○ (注3)	×	×	○		
工 学 部			×	×	×	×	×	×	×	○	×	○		
環 境 科 学 部	選抜方法A (文系受験)		×	○	×	○	×	×	×	×	×	○		
	選抜方法B (理系受験)		×	○	×	○	×	×	×	×	×	○		
水 産 学 部			○	×	×	○ (注4)	×	×	×	○	×	○		

注1) 推薦入試D (グローバルヘルス研究医枠) については, 日本語による面接に併せて, 英語による面接も行う。

注2) ペーパーによる小テストを組み合わせる場合がある。また, 推薦入試Ⅰは面接の中で, 数学・情報関連科目・英語の基礎学力を総合的に問う口述を含む。

注3) 推薦入試Ⅱでは「課題作文」を課す。

注4) 面接の中で, 論理的思考能力及び英語能力を問う口述を含む。

(1) 一般入試

① 出願資格

次のア～ケのいずれかに該当する者で、かつ、令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験において、本学が指定した教科・科目を受験したものとします。

ア. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者

イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者

ウ. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

エ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者

オ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者

カ. 文部科学大臣の指定した者

キ. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で令和2年3月31日までに18歳に達するもの

ク. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

ケ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの

② 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、個別学力検査等の成績、高等学校長等から提出された調査書の審査を総合して行います。

ただし、大学入試センター試験において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目を全科目受験していなければ、本学・学部に出願できません。

なお、本学では入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しません。

また、個別学力検査等において、志望する学部・学科等が指定した教科・科目等を全科目受験していなければ、合格者とはなりません。

上記によるもののほか、多文化社会学部（前・後期日程）、教育学部（前期日程）、経済学部（前期日程）、医学部医学科（前期日程）、歯学部（後期日程）、薬学部薬学科（後期日程）、工学部（前・後期日程）、環境科学部（前・後期日程）及び水産学部（前期日程）については次の方法により入学者の選抜を行います。

ア. 多文化社会学部（前・後期日程）

1) <前期日程>

大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上の者又は次の i) と ii) の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者となります。

i) 大学入試センター試験の外国語の得点率が75%以上

ii) 多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた3教科3科目又は3教科4科目の得点を、多文化社会学部が定める前期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中75点以上（75%以上の得点率）

<後期日程>

大学入試センター試験の外国語の得点率が85%以上の者又は次の iii) と iv) の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者となります。

iii) 大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上

iv) 多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた2教科2科目の得点を、多文化社会学部が定める後期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中80点以上（80%以上の得点率）

2) 1) にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算）が、115点を下回る場合は、1) の得点率（英語に限る。）を見直すことがあります。

なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、令和2年1月24日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表します。

3) TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版) 1140点以上、GTEC(3技能版) 700点以上又は TEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱います。よって、第1段階選抜の合格者となります。ただし、外国語検定試験のスコア・級を申請する場合であっても、大学入試センター試験における「外国語」を受験する必要があります。

注1) 外国語検定試験は、平成30年1月以降に受験した試験に限ります。ただし、実用英語技能検定（英検）

については、二次試験を平成30年1月以降に受験した試験とします。

注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし、TOEFL ITP、TOEIC IP及びGTEC (OFFICIAL SCOREの印字がないもの)は対象としません。

イ. 教育学部 (前期日程)

- 1) 中学校教育コース文系における合格者の入学後に専攻する教科は、受験者が出願時に届け出た教科とし、合格発表時に通知します。
- 2) 中学校教育コース理系における合格者の入学後に専攻する教科は、大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点の高い者から、受験者が出願時に届け出た第1希望を優先しますが、次に掲げる各教科の受入れ上限の目安(※)を超えるときには、第1希望以外の教科とし、合格発表時に通知します。
 (※) [受入れ上限の目安] 各教科で教育の質を保証できる人員数に相当します。
 ○ 数学 7人程度
 ○ 理科 9人程度

ウ. 経済学部 (前期日程)

配点A及び配点Bの2つの配点方式を用いて入学者の選抜を行います。(詳細は24, 25ページ記載の「一般入試の実施教科・科目等及び配点」並びに31ページ記載のiii「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄の(注17)及び(注18)を参照してください。)

エ. 医学部医学科 (前期日程)

入学志願者が前期日程においては募集人員(71人+α※)の約5倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定します。

※変更可能性あり。募集人員については17ページ記載の注7)を参照してください。

オ. 歯学部 (後期日程)

入学志願者が後期日程においては募集人員(7人)の約20倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入試センター試験の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定します。

カ. 薬学部薬学科 (後期日程)

薬学部が指定する大学入試センター試験の3教科5科目の合計点が600点満点中480点以上の者を第1段階選抜の合格者としします。

キ. 工学部 (前・後期日程)

工学部工学科における合格者のコースは、受験者が出願時に届け出た第1～4希望のコースに基づき、第1希望を優先して次のように決定し、合格者発表時に通知します。

合格者は、大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い者から、第1希望のコースに決定されます。ただし、各コースの第1希望者数が受入れ上限の目安(※)を超えるときには、第2希望以下のコースに決定されることがあります。また、下位の希望コースを届け出なかった(例：第3, 4希望を書かなかった)などの事由で、出願の際に希望したコース以外になる場合もあります。

各コースの受入れ上限の目安は次のとおりです。

	(前期日程)	(後期日程)
○機械工学コース	60人程度	14人程度
○電気電子工学コース	60人程度	13人程度
○構造工学コース	30人程度	6人程度
○社会環境デザイン工学コース	25人程度	5人程度
○化学・物質工学コース	75人程度	17人程度

(※) 受入れ上限の目安は、各コースで教育の質を保証できる人員数に相当します。

ク. 環境科学部 (前・後期日程)

文理融合教育を行う学部として、文系と理系からそれぞれ学生を受け入れるため、選抜方法A(文系受験)、選抜方法B(理系受験)の2つの方法により入学者の選抜を行います。

ケ. 水産学部 (前期日程)

大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しません(個別学力検査等の成績のみで判定します。)

水産学部が指定する大学入試センター試験の5教科7科目又は5教科8科目の合計点が900点満点中450点以上の者を第1段階選抜の合格者としします(31ページ記載のiv。「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」を参照してください。)

③ 医学部保健学科出願における注意事項

1) 保健師国家試験受験資格について

平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格を取得できません。保健師教育は、令和2年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めています。

2) 助産師国家試験受験資格について

助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できません。

④ 学力検査の実施教科・科目等及び配点

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜
		教科	科目名	教科等	科目名等	
多文化社会学部 国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース 100人 前期 75 後期 10 AO 15	前期 2月25日	国	世B, 日B, 地理B } から1(注1)	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題)	2段階選抜の詳細は、20ページ記載の「(1)一般入試 ②入学 者選抜方法等」ア. 多文化 社会学部」を参照すること。
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)			
	数	教Ⅰ, 教Ⅰ・教A, 教Ⅱ, 教Ⅱ・教B } から1(注6)				
	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は } から1(注6)				
後	3月12日	国	世B, 日B, 地理B } から1(注1)	その他	小論文 面接	2段階選抜の詳細は、20ページ記載の「(1)一般入試 ②入学 者選抜方法等」ア. 多文化 社会学部」を参照すること。
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)		[3教科3科目]			
外			英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注6)			
前期	2月25日	国	世B, 日B, 地理B } から1(注1)	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 批判的・論理的思考力テスト(総合問題) 面接	2段階選抜の詳細は、20ページ記載の「(1)一般入試 ②入学 者選抜方法等」ア. 多文化 社会学部」を参照すること。
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)					
数	教Ⅰ, 教Ⅰ・教A, 教Ⅱ, 教Ⅱ・教B } から1(注6)					
理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は } から1(注6)					
後			英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注6)			
外			[4教科4科目]又は[4教科5科目]			
後期		実 施 し な い				
教育学部 学校教育 教員養成 課程 180人 前期 121 後期 5 AO 5 その他 49	前期 2月25日・26日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } から1又は2(注3)	国 数 外	国語総合 } から1(注11) 教Ⅰ・教Ⅱ・教A・教B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接	
		地理A, 地理B } から2(注7)				
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注7)				
	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1又は2 ※ 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)				
後	3月12日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } から1又は2(注3)	その他	面接	
地理A, 地理B } から2(注7)						
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注7)					
理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1又は2 ※ 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)					
数	教Ⅰ, 教Ⅰ・教A, } から1(注8)					
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注8)					
			[5教科6科目]又は[6教科6科目]			
後期		実 施 し な い				
中学校教育コース 文理系 24人 前期 15 その他 9	前期 2月25日・26日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3)(注9)	国 数 外	国語総合・現代文B・古典B } から1(注12) 教Ⅰ・教Ⅱ・教A・教B コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注8)			
	数	教Ⅰ, 教Ⅰ・教A, } から1(注8)				
	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1(注5) ※ 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)				
後			英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注8)			
			[5教科6科目]又は[6教科6科目]			
後期		実 施 し な い				
中学校教育コース 理系 21人 前期 16 その他 5	前期 2月25日・26日	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1)	数 外	教Ⅰ・教Ⅱ・教Ⅲ・教A・教B } から1(注13) 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接	
		公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1)			
	数	教Ⅰ・教A } から1(注13)				
	理	①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び } ①又は② 物理, 化学, 生物, 地学から1 ②物理, 化学, 生物, 地学から2				
後			英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注13)			
			[5教科7科目]又は[5教科8科目]			
後期		実 施 し な い				
中学校教育コース 実技系 5人 前期 4 その他 1	前期 2月25日	国	世A, 世B, 日A, 日B, } から1又は2(注3)	数 外	教Ⅰ・教Ⅱ・教A・教B } から1(注14) コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(体育) 面接	
		地理A, 地理B } から2(注3)				
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注7)				
	理	物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } から1又は2 ※ 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。)				
数	教Ⅰ, 教Ⅰ・教Aから1 } から1(注14)					
外	教Ⅱ, 教Ⅱ・教Bから1 } から1(注14)					
			英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注14)			
			[5教科7科目]又は[6教科7科目]			
後期		実 施 し な い				

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試 の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		配点合計
センター試験	50	*25		*25		200					300	AO 帰国子女 外国人
個別学力検査等						100	200				300	追加合格 欠員補充
計	50	*25		*25		300	200				600	
センター試験	50	*50				200					300	
個別学力検査等								250		50	300	
計	50	*50				200		250		50	600	
センター試験	50	*25		*25		200					300	AO 帰国子女 外国人
個別学力検査等						100	200			60	360	追加合格 欠員補充
計	50	*25		*25		300	200			60	660	
実 施 し な い												
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	AO 推薦 外国人
		*100			*200							
個別学力検査等	*300			*300		300				100	700	追加合格 欠員補充
計	*500	*200		*500	*100	500				100	1600	
		*100			*200							
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	
		*100			*200							
個別学力検査等										300	300	
計	200	*200		200	*100	200				300	1200	
		*100			*200							
センター試験	200	*200		100	100	200					800	推薦 外国人
個別学力検査等	*300			*300		*300				100	400	追加合格 欠員補充
計	*500	*200		*400	100	*500				100	1200	
実 施 し な い												
センター試験	200	*100		200	200	200					900	推薦 外国人
個別学力検査等				*400	*400	100				100	600	追加合格 欠員補充
計	200	*100		*600	*600	300				100	1500	
実 施 し な い												
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	推薦 外国人
		*100			*200							
個別学力検査等				*100		*100			600	100	800	追加合格 欠員補充
計	200	*200		*300	*100	*300			600	100	1700	
		*100			*200							
実 施 し な い												

学部 及び 学科 等 名 等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選抜		
		教科	科目名	教科等	科目名等			
教育学部 学校教育 教員養成 課程	幼児教育コース 15人 前期 10 その他 5	前期	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, } から1(注8) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注8) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[6教科6科目]	国 教 外 その他	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接		
		後期	実施しない					
	特別支援教育コース 15人 前期 7 後期 3 AO 1 その他 4	前期	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, } から1(注8) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注8) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[6教科6科目]	国 教 外 その他	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接		
	後期	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A, } から1(注8) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注8) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[6教科6科目]	その他	面接			
経済学部 325人 前期 190 後期 40 AO 15 その他 80	昼間 コース	総合経済学科 265人 前期 190 後期 40 AO 15 その他 20	前期	国 数 外 地歴 公民 理 数 外	国 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 公民及び理科については, [a]又は[b] (注10) [a] 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注3) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2又は 理 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) [b] 地歴 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 理 物理, 化学, 生物, 地学から2 [5教科7科目]又は[5教科8科目]又は[6教科7科目]又は[6教科8科目]	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
			後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報から1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]	その他	小論文	
	夜間主 コース	総合経済学科 60人	前期 後期	実施しない (社会人入試で募集する。)				
医学部 201人+α 前期 139+α 後期 20 その他 42+α ※募集人員につ いては17ページ記 載の注7)参照。	医学科 95人+α(※) 前期 71+α その他 24+α	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から2 コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接	募集人員の約5倍	
		後期	実施しない					
	保健学科 106人 看護学専攻 70人 前期 48 後期 10 その他 12 理学療法 専攻 18人 前期 10 後期 5 その他 3 作業療法 専攻 18人 前期 10 後期 5 その他 3	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外 その他	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接		
	後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注1) 公民 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	その他	小論文(英語読解力を含む) 面接			

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等 配点合計	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	実技検査	面接		
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200							
個別学力検査等	*300			*300		300				100	700	
計	*500	*200		*500	*100	500				100	1600	
		*100			*200							
実 施 し な い												
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	AO 推薦 外国人 追加合格 欠員補充
		*100			*200							
個別学力検査等	*300			*300		300				100	700	
計	*500	*200		*500	*100	500				100	1600	
		*100			*200							
センター試験	200	*200		200	*100	200					900	追加合格 欠員補充
		*100			*200							
個別学力検査等										300	300	
計	200	*200		200	*100	200					1200	
		*100			*200							300
センター試験	配点a	100	*100	100	50	100					450	AO 推薦 外国人 追加合格 欠員補充
	配点b	100	*50	100	100	100					450	
個別学力検査等 (注17)	配点c			150		150					300	
	配点d			200		100					300	
				100		200					300	
計	配点A (注18)	100	*100		250	100	250				750	
	配点b-c		*50					50				
	配点B (注18)	100	*100		300	100	200					
	配点a-d		*50					200				
	配点b-d	*50		300								
センター試験		100	*50	100	50	100					400	
個別学力検査等									200		200	
計		100	*50	100	50	100			200		600	
実 施 し な い (社会人入試で募集する。)											社会人 追加合格 欠員補充	
センター試験	100	*50	100	100	100	100					450	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	200				60	760	
計	100	*50	350	350	300					60	1210	
実 施 し な い												
センター試験	100	*50	100	100	100	100					450	推薦 社会人 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200				100	300	
計	100	*50	100	100	300					100	750	
センター試験	100	*50	100	100	100	100					450	
個別学力検査等									300	100	400	
計	100	*50	100	100	100	100			300	100	850	

学部・学科等名及び入学定員等	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階選抜	
		教科	科目名	教科等	科目名等		
歯学部 歯学科 50人 前期 33 後期 7 AO 10	前期 2月25日・26日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から2 英, 独, 仏から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II } から1(注15)	募集人員の約20倍	
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物から1(注2) 英, 独, 仏から1 [3教科4科目]	その他 その他 面接 小論文 面接		
薬学部 80人 前期 51 後期 21 その他 8	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	大学入試センター試験3教科5科目の合計点が、600点満点中480点以上の者	
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他 総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験) 面接		
	薬科学科 40人 前期 21 後期 15 その他 4	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III・英語表現I・英語表現II	
			後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 生物から1 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他 総合問題 (高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験)	
情報データ科学部(仮称) 情報データ科学科 110人 前期 70 後期 15 その他 25	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III		
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英 [3教科5科目]	数 数I・数II・数III・数A・数B		
工学部 工学科 330人 前期 221 後期 50 AO 59	前期 2月25日	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数A 数II・数B 物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]	数 理 外	数I・数II・数III・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」から1 コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・コミュニケーション英語III		
		後期 3月12日	数 理 外	数I・数A 数II・数B 物理 化学 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]	その他 総合問題 (高等学校の学習一般を前提とした筆記試験)		
※前期及び後期は工学科全体で選抜し、AOは下記のコース毎に選抜する。 ・機械工学コース ・電気電子工学コース ・構造工学コース ・社会環境デザイン工学コース ・化学・物質工学コース							

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技 検査	面接		配点 合計
センター試験	200	*100		200	200	200					900	AO 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*300	*300	300				段階評価 (注19)	600	
計	200	*100		*500	*500	500					1500	
センター試験				200	100	200					500	
個別学力検査等								200		段階評価 (注19)	200	
計				200	100	200		200			700	
センター試験	100	*100		200	200	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				100	100	100					300	
計	100	*100		300	300	300					1100	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200			50	250	
計				200	200	200	200			50	850	
センター試験	50	*50		100	100	100					400	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				100	200	100					400	
計	50	*50		200	300	200					800	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	
センター試験	100	*50		200	200	150					700	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	100					600	
計	100	*50		450	450	250					1300	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等				200							200	
計				400	200	200					800	
センター試験	100	*50		200	200	150					700	AO 帰国子女 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				250	250	100					600	
計	100	*50		450	450	250					1300	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等							200				200	
計				200	200	200	200				800	

学部・学科等名 及び入学定員等	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		2段階 選 抜	
		教科	科 目 名	教科等	科 目 名 等		
環境科学部 環境科学科 130人 前期 80 後期 26 その他 24	選抜方法A (文系受験) 53人 前期 40 後期 13	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	外	コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ	
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]又は[4教科4科目]	その他	面接	
	選抜方法B (理系受験) 53人 前期 40 後期 13	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ } から2 (注16)	
		後期	数 理 外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]又は[3教科6科目]	その他	面接	
	水産学部 水産学科 110人 前期 45 後期 45 AO 5 その他 15	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」から1	大学入試セン ター試験5教科 7科目又は5教科 8科目の合計 点が, 900点満 点中450点以上 の者
			後期	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	その他	面接

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別入試の方法等	
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技 検査	面接		配点 合計
センター試験	200	*100		200	100	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等						200					200	
計	200	*100		200	100	400					1000	
センター試験	200	*200				200					600	
個別学力検査等										100	100	
計	200	*200				200				100	700	
センター試験	100	*100		200	200	200					800	推薦 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				*200	*200	*200					400	
計	100	*100		*400	*400	*400					1200	
センター試験				200	200	200					600	
個別学力検査等										100	100	
計				200	200	200				100	700	
センター試験	**	** (*)		**	**	**					0	AO 推薦 帰国子女 外国人 追加合格 欠員補充
個別学力検査等				125	125						250	
計				125	125						250	
センター試験	100	*50		300	300	250					1000	
個別学力検査等										100	100	
計	100	*50		300	300	250				100	1100	

【 教科・科目名の表記方法について 】

i. 大学入試センター試験の出題教科・科目名は、次のように略してあります。

教科名		科目名					
略称	正式な教科名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
国	国語	国	国語				
地歴	地理歴史	世A	世界史A	世B	世界史B		
		日A	日本史A	日B	日本史B		
公民	公民	現社	現代社会	倫	倫理		
		政経	政治・経済	倫・政経	倫理, 政治・経済		
数	数学	数I	数学I	数I・数A	数学I・数学A		
		数II	数学II	数II・数B	数学II・数学B		
		簿	簿記・会計	情報	情報関係基礎		
理	理科	科目名については略していない。					
外	外国語	英	英語	独	ドイツ語	仏	フランス語
		中	中国語	韓	韓国語		

ii. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記 i によるほか次のように略してあります。

科目名					
略称	正式な科目名	略称	正式な科目名	略称	正式な科目名
数III	数学III	数A	数学A	数B	数学B

【 大学入試センター試験の理科について 】

教科	グループ	出題科目
理科	①	「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」, 「地学基礎」
	②	「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」

(注) 「グループ」はそれぞれ独立した試験時間帯であることを示す。

上記出題科目の8科目のうちから下記のいずれかの選択方法により科目を選択し、解答する。

- A : 理科①から2科目
- B : 理科②から1科目
- C : 理科①から2科目及び理科②から1科目
- D : 理科②から2科目

なお、受験する科目の選択方法については、大学入試センター試験の出願時に申し出ることになる。

【「学力検査の実施教科・科目等及び配点」に関する注意事項について】

i. 「大学入試センター試験の利用教科・科目名」欄

- 地歴・公民及び「基礎を付していない」理科の試験時間において2科目を選択する場合は、解答順に「第1解答科目」及び「第2解答科目」とする。
- (注1) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
- (注2) 理科の「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
- (注3) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。
- (注4) 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せを選択することはできない。
- (注5) 理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合
 - ① 「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。
 - ② 「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。
- (注6) 数学及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、理科については第2解答科目は採用しない。（多文化社会学部）
- (注7) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。※基礎を付した理科の科目については、2科目で1科目とみなす。（教育学部）
- (注8) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。（教育学部）
- (注9) 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目以上選択すること。（教育学部）
- (注10) 学部が指定したパターン（【a】又は【b】）で高得点となるパターンを採用する。（経済学部）

ii. 「個別学力検査等」欄

- 個別学力検査等において複数教科、科目、科目群等から選択する場合は、出願の際に届け出ること。
- (注11) 国語及び数学の2教科から1教科を選択する（2教科とも受験することは不可）。（教育学部）
- (注12) 国語、数学及び外国語の3教科から1教科選択。複数教科を受験することもできる。複数教科を受験している場合は、高得点の1教科を採用する（出願後の選択・変更は不可）。（教育学部）
- (注13) 数学及び理科（物理、化学、生物、地学から1科目）の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する（出願後の選択・変更は不可）。（教育学部）
- (注14) 数学及び外国語の2教科から1教科を選択する（2教科とも受験することは不可）。（教育学部）
- (注15) 数学及び理科（物理、化学、生物から1科目）の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は、高得点の教科を採用する（出願後の選択・変更は不可）。（歯学部）
- (注16) 数学、理科（物理、化学、生物、地学から1科目）及び外国語から2教科選択。3教科を受験することもできる。3教科を受験している場合は、高得点の2教科を採用する（出願後の選択・変更は不可）。（環境科学部）

iii. 「大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等」欄

- 大学入試センター試験の配点は、配点等欄のとおり換算して利用する教科等がある。ただし、英語は筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点を配点等欄のとおり換算して利用する。
- 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。
- (注17) 配点cについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のそれぞれの得点を1.5倍し、合計を300点満点とする。
配点dについては、数学（100点満点）及び外国語（100点満点）のうちいずれか高得点の教科の得点を2倍し、合計を300点満点とする。（経済学部）
- (注18) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。（経済学部）
- (注19) 面接は点数化せず段階評価を行い、評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。（歯学部）

iv. 「水産学部の前期日程における実施教科・科目等及び配点」

- 大学入試センター試験を資格試験的に利用し、大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。（個別学力検査等の成績のみで判定する。）
配点に*印を付してある教科の得点は、第一段階選抜のみに利用する。
〔国語（200）、地歴・公民（100）、数学（200）、理科（200）、外国語（200）計900点とする。〕

v. 「その他」

本学の入学者選抜において、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。

⑤ 個別学力検査の出題範囲

教科・科目	出題範囲
数 学	学部・学科等が指定する4科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B（数列・ベクトル）」）又は5科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B（数列・ベクトル）」）を出題範囲とする。 ただし、情報データ科学部（仮称）は、出題範囲に「数B（確率分布と統計的な推測）」を加え、選択問題として出題する。
物 理	「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。
化 学	「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。
生 物	「生物基礎」及び「生物」の全てを出題範囲とする。
地 学	「地学基礎」及び「地学」の全てを出題範囲とする。
英 語	学部・学科等が指定する3科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」）又は5科目（「コミュニケーション英語Ⅰ」、「コミュニケーション英語Ⅱ」、「コミュニケーション英語Ⅲ」、「英語表現Ⅰ」、「英語表現Ⅱ」）を出題範囲とする。 リスニングテストは実施しない。

⑥ 個別学力検査等における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程中学校教育コース実技系の志願者に対し、以下の実技検査を行う。

実技検査（体育）

「陸上競技」、「器械運動」、「球技」の3領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動	受 験 方 法
陸 上 競 技	全員が受験すること。
器 械 運 動	全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー ①～③の3種目から、2種目選択し、受験すること。

注1) 運動のできる服装を用意すること。

2) 専門の用具を使用してもよい。

3) 運動靴は、屋内用と屋外用を用意すること。

(2) アドミッション・オフィス入試 (AO入試)

アドミッション・オフィス入試の大綱は、次のとおりである。詳細については、7月上旬に発表する「令和2年度長崎大学アドミッション・オフィス入試学生募集要項」を参照すること。

【多文化社会学部】(一般枠)

〔AOI〕

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	8人
	オランダ特別コース	2人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT 61点以上、TOEFL ITP 500点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上、GTEC(3技能版)700点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 6. 文部科学大臣の指定した者(ただし、国際バカロレア資格等については、令和2年3月31日までに取得見込みの者を含む。) 7. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの <p>注1) 外国語検定試験は、平成29年9月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定(英検)については、二次試験を平成29年9月以降に受験した試験とする。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象(TOEFL ITPを除く。)とし、TOEIC IP及びGTEC(OFFICIAL SCOREの印字がないもの)は対象としない。</p>	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接(日本語及び英語による)及び筆記試験(論理的思考力と洞察力(観察力)を問う)※を行う。 配点は個人面接50点、筆記試験100点である。 <p>※参考：筆記試験について、平成31年度入試では課題文をもとに、小論文試験を行った。</p>	
出願期間	令和元年9月2日(月)～令和元年9月6日(金)	
試験日	第1次選考(書類選考)	選考結果は令和元年9月27日(金)に本人宛送付する。
	第2次選考(筆記試験・面接(個人))	令和元年10月12日(土)
合格者発表	令和元年10月30日(水)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科			
募集人員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	4人		
	オランダ特別コース	1人		
出願要件	<p>【グローバル枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) 人文社会科学の観点からグローバルな課題について、学校教育プログラムにより2年以上にわたり課題研究に取り組み、高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 全体の評定平均値が4.0以上であり、かつ、外国語（英語）の評定平均値が4.6以上である者</p> <p>【国際バカロレア枠】 次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者 (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma（以下「IB」という。））を取得した者又は令和2年3月31日までに取得見込みの者 (2) IBフルディプロマのスコアが32ポイント以上の者又は令和2年3月31日までにIBを取得見込みの者でIB Predicted Gradesが出願時に32ポイント以上であるもの (3) 日本語を母語とする者、日本語 B（HL）のスコアが6ポイント以上の者又は日本語 B（HL）のIB Predicted Gradesが出願時に6ポイント以上の者 (4) IBの取得において、本学の指定する次表の科目を履修していること。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th style="text-align: center;">科目</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル（HL）で履修</td> </tr> </table> <p>※ IBを取得見込みで出願した者が、令和2年3月31日までにIB資格証書の写しとIB最終試験の成績証明書を提出できない場合、IBフルディプロマのスコアが32ポイントに満たなかった場合又は日本語 B（HL）のスコアが6ポイントに満たなかった場合は、合格取消となる。</p>		科目	6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル（HL）で履修
	科目			
6つの教科群のグループ「3. 個人と社会」のうち「経済」、「地理」、「歴史」、「情報テクノロジーとグローバル社会」、「哲学」、「社会・文化人類学」及び「グローバル政治」から1科目を高度レベル（HL）で履修				
選抜方法等	自己推薦書、諸活動の記録、調査書、個人面接、筆記試験の結果等を総合して合格者を決定する。 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等（グローバル枠の志願者については学校教育プログラムの概要及び所定の様式による志願者の課題研究報告書を含む。）により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接（日本語及び英語による）及び筆記試験（論理的思考力と洞察力（観察力）を問う）※を行う。 配点は個人面接50点、筆記試験100点である。 ※参考：一般枠と同様の枠組みで実施予定			
出願期間	令和元年9月2日（月）～ 令和元年9月6日（金）			
試験日	第1次選考（書類選考）	選考結果は令和元年9月27日（金）に本人宛送付する。		
	第2次選考（筆記試験・面接(個人)）	令和元年10月12日（土）		
合格者発表	令和元年10月30日（水）			
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。			

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程	
募 集 人 員	小学校教育コース	4 人
	特別支援教育コース	1 人
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 2 年 3 月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を修了した者及び令和 2 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者（ただし、国際バカロレア資格等については、令和 2 年 3 月 31 日までに取得見込みの者を含む。） 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 2 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 	
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、自己表現、面接の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第 1 次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第 2 次選考 第 1 次選考に合格した者に対して、課題論文、自己表現及び面接を課し、選考を行う。 	
出 願 期 間	令和元年 9 月 2 日（月） ～ 令和元年 9 月 6 日（金）	
試 験 日	第 1 次選考 （書類選考）	選考結果は令和元年 9 月 27 日（金）に本人宛送付する。
	第 2 次選考 （課題論文・面接等）	令和元年 10 月 12 日（土）・13 日（日）
合 格 者 発 表	令和元年 10 月 30 日（水）	
そ の 他	<p>入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。</p> <p>また、小学校教育コース各系（子ども理解系、教科授業開発系、離島・地域文化系）への所属は、入学後に、所属系志望調査を行った上で決定する。詳細は、入学後のオリエンテーションで説明する（小学校教育コース各系の説明に関しては、教育学部ホームページを参照すること。）。</p> <p>（URL : http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/）</p>	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成30年4月以降に取得した者及び令和2年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、課題論文、個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して可否を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、読解力、論理的思考力等を問う課題論文を課し、個人面接を行う。 配点は課題論文50点、個人面接50点である。 	
出願期間	令和元年9月2日(月) ～ 令和元年9月6日(金)	
試験日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和元年9月27日(金)に本人宛送付する。
	第2次選考 (課題論文・面接(個人))	令和元年10月12日(土)
合格者発表	令和元年10月30日(水)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科	
募集人員	10人	
出願要件	<p>次のいずれかに該当し、かつ、実用英語技能検定(英検)の試験結果を提出でき、本学部の国際ビジネス(plus)プログラムに強い関心があり、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>注) 実用英語技能検定(英検)は、高等学校入学後に受験した試験が望ましい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成30年4月以降に取得した者及び令和2年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、実用英語技能検定(英検)の合格証明書、課題論文、個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、課題論文、個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。なお、自己推薦書(様式1)は、「経済学部の国際ビジネス(plus)プログラムを通じて、どのように学びを深め、卒業後どのように活躍したいと考えているかについて」とする。</p> <p>注) 諸活動の記録は、グローバルに関係する活動に限る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書、実用英語技能検定(英検)の試験結果等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、読解力、論理的思考力等を問う課題論文を課し、個人面接を行う。 配点は課題論文50点、個人面接50点である。 	
出願期間	令和元年9月2日(月) ~ 令和元年9月6日(金)	
試験日	第1次選考(書類選考)	選考結果は令和元年9月27日(金)に本人宛送付する。
	第2次選考(課題論文・面接(個人))	令和元年10月12日(土)
合格者発表	令和元年10月30日(水)	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

実施学部・学科名	歯学部 歯学科																													
募 集 人 員	10 人																													
出 願 要 件	<p>令和2年度大学入試センター試験で歯学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者 2. 外国において、学校教育における12年の課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 4. 専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者(ただし、平成30年4月以降に修了した者に限る。)及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 ※専修学校の高等課程とは、修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすもので、文部科学大臣が別に指定するもの 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成30年4月以降に取得した者及び令和2年3月31日までに取得見込みの者 <p>注) AO入試への出願は、入学後は歯学研究コース(大学院の進学を目指す学生を対象とした所定のカリキュラムコースで、第3年次から履修する)を履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学する者に限る。</p>																													
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、大学入試センター試験の成績、課題論文、個人面接の評価等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文及び個人面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて総合評価により選考を行う。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として70%に満たない場合は選考の対象としない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理, 化学, 生物 から2</p> <p>外 : 英, 独, 仏 から1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div> <p>・配点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>試験の区分, 科目</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>課題論文</th> <th>面接</th> <th>配点合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>センター試験</td> <td>200</td> <td>*200</td> <td>200</td> <td></td> <td></td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>第2次選考</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>100</td> <td>100</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200</td> <td>*200</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>800</td> </tr> </tbody> </table> <p>*印は選択科目を表す。</p>		試験の区分, 科目	数学	理科	外国語	課題論文	面接	配点合計	センター試験	200	*200	200			600	第2次選考				100	100	200	計	200	*200	200	100	100	800
試験の区分, 科目	数学	理科	外国語	課題論文	面接	配点合計																								
センター試験	200	*200	200			600																								
第2次選考				100	100	200																								
計	200	*200	200	100	100	800																								
出 願 期 間	令和元年11月8日(金) ~ 令和元年11月14日(木)																													
試 験 日	第1次選考 (書類選考)	選考結果は令和元年12月5日(木)に本人宛送付する。																												
	第2次選考 (課題論文・面接(個人))	令和2年1月24日(金)																												
合 格 者 発 表	令和2年2月12日(水)																													
そ の 他																														

実施学部・学科名	工学部 工学科			
募 集 人 員	AO入試 I・A	23人	電気電子工学コース	4人
			構造工学コース	5人
			社会環境デザイン工学コース	10人
			化学・物質工学コース	4人
	AO入試 I・B	19人	機械工学コース	6人
			電気電子工学コース	6人
			構造工学コース	2人
			社会環境デザイン工学コース	3人
化学・物質工学コース	2人			
出 願 要 件	<p>【AO入試 I・A】 次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成 30 年 4 月以降に卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育を平成 30 年 4 月以降に修了した者及び令和 2 年 3 月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第 3 学年を平成 30 年 4 月以降に修了した者及び令和 2 年 3 月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における 12 年の課程を平成 30 年 4 月以降に修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成 30 年 4 月以降に修了した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成 30 年 4 月以降に取得した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和 2 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、かつ、18 歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和 2 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの 			
	<p>【AO入試 I・B】 次の各号に該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校の専門教育を主とする学科又は総合学科を平成 30 年 4 月以降に卒業した者及び令和 2 年 3 月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による 12 年の学校教育（専門教育を主とする学科）を平成 30 年 4 月以降に修了した者及び令和 2 年 3 月に修了見込みの者 2. 高等学校学習指導要領に記載の主として専門学科において開設される各教科に属する科目のうち、工業に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び令和 2 年 3 月までに修得見込みの者（ただし、電気電子工学コースについては、工業又は水産（電気・通信）に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び令和 2 年 3 月までに修得見込みの者、社会環境デザイン工学コースについては、工業又は農業（土木）に関する教科・科目を 20 単位以上修得した者及び令和 2 年 3 月までに修得見込みの者） 			

選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書，調査書の評価，適性評価，基礎学力評価の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して，適正評価及び基礎学力評価として面接（口述試験を含む。）を行うとともにコースによっては小テスト，課題作文を課す。 配点は適正評価 100 点，基礎学力評価 100 点である。</p> <p>※ 第2次選考についての各コースの内容は次表のとおりである。</p> <p>・適性評価の内容</p>																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>形態・内容等</th> <th>評価事項等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械工学</td> <td>面接（口述試験）</td> <td>アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学</td> <td>面接（口述試験）</td> <td>面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。</td> </tr> <tr> <td>構造工学</td> <td>面接（口述試験）</td> <td>志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。</td> </tr> <tr> <td>社会環境デザイン工学</td> <td>面接（口述試験）と課題作文</td> <td>分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問い，志望動機及び適性を評価。</td> </tr> <tr> <td>化学・物質工学</td> <td>面接（口述試験）と課題作文</td> <td>本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力と作文力を評価。</td> </tr> </tbody> </table>		コース	形態・内容等	評価事項等	機械工学	面接（口述試験）	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。	電気電子工学	面接（口述試験）	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。	構造工学	面接（口述試験）	志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。	社会環境デザイン工学	面接（口述試験）と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問い，志望動機及び適性を評価。	化学・物質工学	面接（口述試験）と課題作文	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力と作文力を評価。
	コース	形態・内容等	評価事項等																	
	機械工学	面接（口述試験）	アドミッション・ポリシーとともに，本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，分野関心度，論理的な発想の豊かさ等を評価。																	
電気電子工学	面接（口述試験）	面接では，本コースへの理解度，関心度，志望動機を評価。																		
構造工学	面接（口述試験）	志望動機，分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を総合的に評価。																		
社会環境デザイン工学	面接（口述試験）と課題作文	分野関心度，論理的思考力，発想の豊かさ等を問い，志望動機及び適性を評価。																		
化学・物質工学	面接（口述試験）と課題作文	本コースの特徴を理解しているか等を問う。また，志望動機，分野関心度，論理的思考，発想の豊かさ，課題解決能力と作文力を評価。																		
<p>・基礎学力評価の内容</p>																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>形態・内容等</th> <th>評価事項等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機械工学</td> <td>面接（口述試験）</td> <td>数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）・物理（物理基礎，物理の「様々な運動」と「波」）・英語（基礎的英単語，短文和訳）の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>電気電子工学</td> <td>小テスト</td> <td>数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）・物理（物理基礎，物理の「様々な運動」，「電気と磁気」）・英語（基礎的英単語，短文和訳）の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>構造工学</td> <td>小テスト</td> <td>数学（数Ⅰ，数A（確率除く。），数Ⅱ（複素数除く。），数B（ベクトル，数列），数Ⅲ）・物理（物理基礎（熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」），物理「様々な運動」）・英語（英文和訳）の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>社会環境デザイン工学</td> <td>小テスト</td> <td>数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ（募集区分Bについては数Ⅲを除く。））・物理（物理基礎の「物体の運動とエネルギー」，物理の「様々な運動」）・英語の基礎学力。</td> </tr> <tr> <td>化学・物質工学</td> <td>小テスト（数学・物理・化学・英語）と面接（口述試験）</td> <td>数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B）・物理（物理基礎，物理）・化学（化学基礎，化学）・英語（英文和訳，和文英訳，語彙等）の基礎学力。</td> </tr> </tbody> </table>		コース	形態・内容等	評価事項等	機械工学	面接（口述試験）	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）・物理（物理基礎，物理の「様々な運動」と「波」）・英語（基礎的英単語，短文和訳）の基礎学力。	電気電子工学	小テスト	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）・物理（物理基礎，物理の「様々な運動」，「電気と磁気」）・英語（基礎的英単語，短文和訳）の基礎学力。	構造工学	小テスト	数学（数Ⅰ，数A（確率除く。），数Ⅱ（複素数除く。），数B（ベクトル，数列），数Ⅲ）・物理（物理基礎（熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」），物理「様々な運動」）・英語（英文和訳）の基礎学力。	社会環境デザイン工学	小テスト	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ（募集区分Bについては数Ⅲを除く。））・物理（物理基礎の「物体の運動とエネルギー」，物理の「様々な運動」）・英語の基礎学力。	化学・物質工学	小テスト（数学・物理・化学・英語）と面接（口述試験）	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B）・物理（物理基礎，物理）・化学（化学基礎，化学）・英語（英文和訳，和文英訳，語彙等）の基礎学力。	
コース	形態・内容等	評価事項等																		
機械工学	面接（口述試験）	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）・物理（物理基礎，物理の「様々な運動」と「波」）・英語（基礎的英単語，短文和訳）の基礎学力。																		
電気電子工学	小テスト	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）・物理（物理基礎，物理の「様々な運動」，「電気と磁気」）・英語（基礎的英単語，短文和訳）の基礎学力。																		
構造工学	小テスト	数学（数Ⅰ，数A（確率除く。），数Ⅱ（複素数除く。），数B（ベクトル，数列），数Ⅲ）・物理（物理基礎（熱・波・電気を除く「物体の運動とエネルギー」），物理「様々な運動」）・英語（英文和訳）の基礎学力。																		
社会環境デザイン工学	小テスト	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ（募集区分Bについては数Ⅲを除く。））・物理（物理基礎の「物体の運動とエネルギー」，物理の「様々な運動」）・英語の基礎学力。																		
化学・物質工学	小テスト（数学・物理・化学・英語）と面接（口述試験）	数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B）・物理（物理基礎，物理）・化学（化学基礎，化学）・英語（英文和訳，和文英訳，語彙等）の基礎学力。																		
出 願 期 間	令和元年9月2日（月）～ 令和元年9月6日（金）																			
試 験 日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は令和元年9月27日（金）に本人宛送付する。																		
	第2次選考 （適性評価，基礎学力評価）	令和元年10月12日（土）																		
合 格 者 発 表	令和元年10月30日（水）																			
そ の 他	<p>1. 志願者多数の場合，第2次選考が10月13日（日）にわたる場合がある。その場合は，第1次選考結果通知時に第1次選考通過者へ通知する。</p> <p>2. 入学手続者に対しては，入学までの期間，在学する学校長の許諾を得た上で，入学前教育を行うこととしている。その内容については，合格者発表後に通知する予定である。</p>																			

実施学部・学科名	工学部 工学科			
募 集 人 員	AO入試Ⅱ	17人	機械工学コース	5人
			電気電子工学コース	2人
			構造工学コース	5人
			社会環境デザイン工学コース	2人
			化学・物質工学コース	3人
出 願 要 件	<p>令和2年度大学入試センター試験で工学部が指定した教科・科目を受験する者で、次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できるもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者 2. 高等専門学校第3学年を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣の指定した者 ただし、国際バカロレア資格等については、平成30年4月以降に取得した者及び令和2年3月31日までに取得見込みの者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの 7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和2年3月31日までに18歳に達するもの 			
選 抜 方 法 等 (次ページに続く)	<p>自己推薦書、調査書、大学入試センター試験の成績、面接の結果等を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて、総合評価により選考を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p style="text-align: center;">数：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p style="text-align: center;">理：物理 化学</p> <p style="text-align: right;">〔2教科4科目〕</p> </div>			

選 抜 方 法 等	・ 配点						
	試験の区分, 科目	数Ⅰ・数A	数Ⅱ・数B	物理	化学	面接	配点合計
	センター試験	100	100	100	100		400
	第2次選考					100	100
	計	100	100	100	100	100	500
出 願 期 間	令和元年 11 月 8 日 (金) ～ 令和元年 11 月 14 日 (木)						
試 験 日	第 1 次 選 考 (書類選考)	選考結果は令和元年 12 月 5 日 (木) に本人宛送付する。					
	第 2 次 選 考 (面接)	令和 2 年 1 月 28 日 (火)					
合 格 者 発 表	令和 2 年 2 月 12 日 (水)						
そ の 他							

実施学部・学科名	水産学部 水産学科	
募集人員	5人	
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を令和2年3月卒業見込みの者、又は高等専門学校第3学年を令和2年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職業教育に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び令和2年3月までに修得見込みの者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者 	
選抜方法等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文、小テスト、面接の結果を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、面接の評価が著しく低い場合には、課題論文、小テストの成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書により選考を行う。 2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接を行う。 	
出願期間	令和元年9月2日（月） 令和元年9月6日（金）	
試験日	第1次選考 （書類選考）	選考結果は令和元年9月27日（金）に本人宛送付する。
	第2次選考 （課題論文・小テスト・面接）	令和元年10月15日（火）・16日（水）
合格者発表	令和元年10月30日（水）	
その他	入学手続者に対しては、入学までの期間、在学する学校長の許諾を得た上で、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。	

(3) 推薦入試

推薦入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和2年度長崎大学推薦入試学生募集要項」を参照すること。

【教育学部】

〔推薦Ⅰ〕

(推薦入試A:一般推薦枠)

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程
募集人員	小学校教育コース 20人 中学校教育コース 文系(国語, 社会, 英語) 9人, 理系(数学, 理科) 5人, 実技系(保健体育) 1人 幼児教育コース 5人 特別支援教育コース 4人
出願要件	次のコース・系ごとに掲げる各号に該当するもの 1. 小学校教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 地域とともにすすめる初等教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 2. 中学校教育コース 文系(国語, 社会, 英語) (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 国語科教育, 社会科教育又は英語科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 3. 中学校教育コース 理系(数学, 理科) (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 数学教育又は理科教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 4. 中学校教育コース 実技系(保健体育) (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 保健体育, スポーツ競技に対して特に熱意があり, 入学後も自立して競技を続ける意欲のある者 (3) 学習成績概評がB段階以上に属し, 全国大会・コンクール(国民体育大会, 全国高等学校総合体育大会, 全国高等学校選手権大会等)又はブロック大会・コンクール(九州, 中国, 四国, 近畿, 関東等の都道府県大会よりも上位の大会を指す)に出場した者 (4) 教師となる強い意志を持ち, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (5) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 5. 幼児教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 幼児教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者 6. 特別支援教育コース (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者, あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 特別支援教育に対して特に熱意のある者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し, 人物が優秀で, 大学教育を受けるにふさわしい能力, 適性を備え, 高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は, 入学することを確約できる者

選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し，高等学校長等から提出された調査書，推薦書，本人自筆の志望理由書及び各コース・系が指定する次の検査の成績等を審査し，その結果を総合して合格者を決定する。なお，中学校教育コース文系及び理系は，次のとおり実施する。</p> <p>① 文系 志願者は，出願時に，入学後に専攻する希望教科「国語，社会，英語」のうちから1教科選択する。 面接は，希望教科ごとに実施し，「国語」又は「社会」を選択した場合は日本語で，「英語」を選択した場合は日本語及び英語でそれぞれ行う。</p> <p>② 理系 志願者は，出願時に，入学後に専攻する希望教科「数学，理科」のうちから1教科選択する。 面接は，希望教科ごとに実施する。</p> <p>小学校教育コース 【小論文，面接】 中学校教育コース 文系（国語，社会，英語） 【小論文，面接】 中学校教育コース 理系（数学，理科） 【面接】 中学校教育コース 実技系（保健体育） 【面接（集団）】 幼児教育コース 【小論文，面接】 特別支援教育コース 【小論文，面接】</p>
出 願 期 間	令和元年 11 月 1 日（金） ～ 令和元年 11 月 7 日（木）
試 験 日	令和元年 11 月 20 日（水）
合 格 者 発 表	令和元年 12 月 5 日（木）
そ の 他	<p>1. 1 学校あたりの推薦人員は次のとおり。</p> <p>(1) 小学校教育コース : 1 人とする。 (2) 中学校教育コース 文系 : 3 人以内とする。 (3) 中学校教育コース 理系 : 2 人以内とする。 (4) 中学校教育コース 実技系 : 制限しない。 (5) 幼児教育コース : 制限しない。 (6) 特別支援教育コース : 1 人とする。</p> <p>2. 志願者が多数の場合は，面接が 11 月 21 日(木)にわたることがある。</p> <p>3. 中学校教育コース文系及び理系における合格者の入学後に専攻する教科は，出願時に選択した教科とし，合格発表時に通知する。</p> <p>4. 小学校教育コース各系（子ども理解系，教科授業開発系，離島・地域文化系）への所属は，入学後に，所属系志望調査を行った上で決定する。詳細は，入学後のオリエンテーションで説明する（小学校教育コース各系の説明に関しては，教育学部ホームページを参照すること。）。 (URL : http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/)</p>

【教 育 学 部】

〔推薦Ⅰ〕

(推薦入試B:離島教育推薦枠)

実施学部・学科名	教育学部 学校教育教員養成課程
募 集 人 員	小学校教育コース 5人
出 願 要 件	次に掲げる各号に該当するもの (1) 高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者 (2) 離島における教育に強い関心を持ち、卒業後は長崎県内の離島地区小学校において教職に就くことを強く希望する者 (3) 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 (4) 合格した場合は、入学することを確約できる者
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、小論文及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出 願 期 間	令和元年11月1日(金) ～ 令和元年11月7日(木)
試 験 日	令和元年11月20日(水)
合 格 者 発 表	令和元年12月5日(木)
そ の 他	1. 1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 志願者が多数の場合は、面接が11月21日(木)にわたることがある。 3. 入学後の系は、離島・地域文化系に所属する。

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (昼間コース)								
募集人員	20人								
出願要件	<p>次の1, 2及び3(3-1又は3-2)を満たすもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格した場合は、入学することを確約できる者 2. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物が優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 <p>3-1. 高等専門学校第3学年を令和2年3月修了見込みの者</p> <p>3-2. 高等学校若しくは中等教育学校の専門教育を主とする学科若しくは総合学科を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者。</p> <p>ただし、以下の(1)から(5)までのいずれかに該当する者には出願資格がない。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 普通科に在籍している者 (2) 国語を主とする学科、系等に在籍し、下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) (3) 理数を主とする学科、系等に在籍し、下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) (4) 外国語又は国際関係を主とする学科、系等に在籍し、下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) (5) 専門教育を主とする学科、系等(国語、理数、外国語又は国際関係を主とする学科、系等を除く。)又は総合学科に在籍し、下表の国語、数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ</td> </tr> </tbody> </table>	教科	科目	国語	国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)	数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B	英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ
教科	科目								
国語	国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)								
数学	数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B								
英語	コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ								
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、小論文(英語の問題を含む。)及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。								
出願期間	令和元年11月1日(金) ～ 令和元年11月7日(木)								
試験日	令和元年11月21日(木)								
合格者発表	令和元年12月5日(木)								
その他	1学校あたりの推薦人員は、5人以内とする。								

【医学部】

【推薦Ⅱ】

(推薦入試A：地域医療枠)

<p>実施学部・学科名 募集人員</p>	<p>医学部 医学科 15人</p>												
<p>出願要件</p>	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当するもの <ol style="list-style-type: none"> 長崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者 長崎県内の高等学校を卒業見込みの者 長崎県内の特別支援学校若しくは高等専門学校等において、通常の課程による12年の学校教育(注)を修了した者、又は修了見込みの者 (注)特別支援学校の小学部及び中学部については、①の小学校及び中学校と同様に取り扱う。 地域医療を志し、学習成績概評が(A)又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 入学後は地域医療枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学病院及び長崎大学が指定する医療機関等で、2年間の初期研修を含む3年間の臨床研修に従事することを確約できる者 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 												
<p>選抜方法等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A 数II・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1 [5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数I・数A 数II・数B	理	物理, 化学, 生物から2	外	英, 独, 仏から1
国	国												
地歴	世B, 日B, 地理B												
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	数I・数A 数II・数B												
理	物理, 化学, 生物から2												
外	英, 独, 仏から1												
<p>出願期間</p>	<p>令和元年12月16日(月)～令和元年12月20日(金)</p>												
<p>試験日</p>	<p>令和2年1月24日(金)</p>												
<p>合格者発表</p>	<p>令和2年2月12日(水)</p>												
<p>その他</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、推薦入試Bと合わせて6人以内とする。 推薦入試A・Bは、入学希望順位を付して併せて出願することができる。ただし、第2希望の出願は任意である。 推薦入試Bを第2希望として出願する者は、長崎県の推薦を受けること。 推薦入試C, Dのいずれとも併願することはできない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 												

【医 学 部】

〔推薦Ⅱ〕

(推薦入試B：地域医療特別枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																
募 集 人 員	未定 ※詳細は3ページ「Ⅳ 長崎大学医学部医学科における地域の医師確保の観点による募集人員について」参照																
出 願 要 件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当するもの <ol style="list-style-type: none"> 長崎県内の小学校、中学校若しくは高等学校を卒業した者 長崎県内の高等学校を卒業見込みの者 長崎県内の特別支援学校若しくは高等専門学校等において、通常の課程による12年の学校教育(注)を修了した者、又は修了見込みの者 (注)特別支援学校の小学部及び中学部については、①の小学校及び中学校と同様に取り扱う。 地域医療を志し、学習成績概評が(A)又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 長崎県の推薦がある者 入学後は「長崎県医学修学資金」の貸与を受け、医学科の地域医療特別枠所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎県が指定する長崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者(長崎県医学修学資金貸与制度に基づく。) 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 																
選 抜 方 法 等	<ol style="list-style-type: none"> 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 推薦入試A・Bは、出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">国</td> <td style="width: 55%;">： 国</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>： 世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>： 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>： 物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>： 英, 独, 仏 から1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	： 国	} から1	地歴	： 世B, 日B, 地理B	公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経		数	： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	： 物理, 化学, 生物から2		外	： 英, 独, 仏 から1	
国	： 国	} から1															
地歴	： 世B, 日B, 地理B																
公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経																
数	： 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B																
理	： 物理, 化学, 生物から2																
外	： 英, 独, 仏 から1																
出 願 期 間	令和元年12月16日(月) ～ 令和元年12月20日(金)																
試 験 日	令和2年1月24日(金)																
合 格 者 発 表	令和2年2月12日(水)																
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、推薦入試Aと合わせて6人以内とする。 推薦入試A・Bは、入学希望順位を付して併せて出願することができる。 ただし、第2希望の出願は任意である。 推薦入試C、Dのいずれとも併願することはできない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 長崎県医学修学資金については、長崎県福祉保健部医療人材対策室(TEL.095-895-2421)まで問い合わせること。 																

(推薦入試C：佐賀県枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科												
募集人員	未定 ※詳細は3ページ「Ⅳ 長崎大学医学部医学科における地域の医師確保の観点による募集人員について」参照												
出願要件	佐賀県内の高等学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月に卒業見込みの者、あるいは佐賀県内の特別支援学校等において、通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。) 1. 学習成績概評が㉠又はA段階に属する者 2. 人物に優れ、佐賀県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3. 入学後は「佐賀県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は、小児科、産科、救急科又は麻酔科の医師として、佐賀県が指定する佐賀県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 4. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 5. 合格した場合は、入学することを確約できる者												
選抜方法等	高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏 から1</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">} から1</p> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	国	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B	理	物理, 化学, 生物から2	外	英, 独, 仏 から1
国	国												
地歴	世B, 日B, 地理B												
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経												
数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B												
理	物理, 化学, 生物から2												
外	英, 独, 仏 から1												
出願期間	令和元年12月16日(月) ～ 令和元年12月20日(金)												
試験日	令和2年1月24日(金)												
合格者発表	令和2年2月12日(水)												
その他	1. 1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 2. 推薦入試A, B, C(宮崎県枠), Dのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4. 合格者の受験番号・氏名・住所・連絡先電話番号については、佐賀県における医師修学資金の手続きで用いるため、本学から佐賀県に提供する。よって、受験予定者はこのことに同意の上で出願すること。なお、本学では出願書類を受理した時点で同意したものと取扱う。 5. 佐賀県医師修学資金については、佐賀県健康福祉部医務課(TEL. 0952-25-7033)まで問い合わせること。												

(推薦入試C：宮崎県枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科															
募集人員	未定 ※詳細は3ページ「IV 長崎大学医学部医学科における地域の医師確保の観点による募集人員について」参照															
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 次のいずれかに該当するもの <ol style="list-style-type: none"> 宮崎県内の小学校、中学校、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者 宮崎県内の高等学校若しくは中等教育学校を卒業見込みの者 宮崎県内の特別支援学校若しくは高等専門学校等において、通常の課程による12年の学校教育(注)を修了した者、又は修了見込みの者 (注)特別支援学校の小学部及び中学部については、①の小学校及び中学校と同様に取り扱う。 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 宮崎県の推薦がある者 入学後は「宮崎県医師修学資金」の貸与を受け、大学卒業後は宮崎県が指定する宮崎県内医療機関等で診療に従事することを確約できる者 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 															
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績及び個別学力検査等にかかわらず、不合格とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">： 国</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; vertical-align: middle;">} から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>： 世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>： 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>： 数I・数A 数II・数B</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>： 物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>： 英, 独, 仏 から1</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div>	国	： 国	} から1	地歴	： 世B, 日B, 地理B	公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	： 数I・数A 数II・数B	理	： 物理, 化学, 生物から2		外	： 英, 独, 仏 から1	
国	： 国	} から1														
地歴	： 世B, 日B, 地理B															
公民	： 現社, 倫, 政経, 倫・政経															
数	： 数I・数A 数II・数B															
理	： 物理, 化学, 生物から2															
外	： 英, 独, 仏 から1															
出願期間	令和元年12月16日(月) ～ 令和元年12月20日(金)															
試験日	令和2年1月24日(金)															
合格者発表	令和2年2月12日(水)															
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。 推薦入試A, B, C(佐賀県枠), Dのいずれとも併願することはできない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 宮崎県医師修学資金については、宮崎県福祉保健部医療薬務課(TEL.0985-26-7451)まで問い合わせること。 															

(推薦入試D：グローバルヘルス研究医枠)

実施学部・学科名	医学部 医学科																						
募 集 人 員	9人+α ※詳細は4ページ「V 長崎大学医学部医学科の入学定員に係る2019(平成31)年度までを期限とする暫定的な増員(地域枠増員除く)について」参照																						
出 願 要 件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊶又はA段階に属し、人物に優れた者で、高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 入学後は所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(医学系基礎研究分野)に進学し、グローバルヘルスあるいは基礎医学研究等に貢献する者 3. 大学入試センター試験で、医学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者 																						
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績、日本語による面接及び英語による面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは大学入試センター試験外国語科目の得点率が、原則として85%に満たない場合は不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国</td> <td style="width: 50%;">国</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; vertical-align: middle;">}</td> <td rowspan="2" style="width: 10%; vertical-align: middle;">から1</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世B, 日B, 地理B</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A 数II・数B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物理, 化学, 生物から2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏から1</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2. 日本語による面接及び英語による面接のいずれかの評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 	国	国	}	から1	地歴	世B, 日B, 地理B	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経			数	数I・数A 数II・数B			理	物理, 化学, 生物から2			外	英, 独, 仏から1		
国	国	}	から1																				
地歴	世B, 日B, 地理B																						
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経																						
数	数I・数A 数II・数B																						
理	物理, 化学, 生物から2																						
外	英, 独, 仏から1																						
出 願 期 間	令和元年12月16日(月) ～ 令和元年12月20日(金)																						
試 験 日	令和2年1月24日(金)																						
合 格 者 発 表	令和2年2月12日(水)																						
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は、4人以内とする。 2. 推薦入試A, B, Cのいずれとも併願することはできない。 3. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 4. 入学後は、以下の4つのプログラムのいずれか1つに所属する。 <ol style="list-style-type: none"> ①熱帯医学研究医プログラム(熱帯医学の基礎研究に貢献する者) ②国際保健医療プログラム(国際保健医療, 放射線健康科学分野に貢献する者) ③一般研究医プログラム(基礎医学研究に貢献する者) ④法医学プログラム(法医学研究に貢献する者) 																						

(推薦入試①：一般推薦枠)

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 8人 理学療法学専攻 2人 作業療法学専攻 2人
出願要件	高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの 1. 医療技術者を志し、学習成績概評がⒶ又はA段階に属し、人物に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。
出願期間	令和元年11月1日（金）～令和元年11月7日（木）
試験日	令和元年11月21日（木）
合格者発表	令和元年12月5日（木）
その他	1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 保健師国家試験受験資格について 平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格は取得できない。保健師教育は、令和2年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めている。 3. 助産師国家試験受験資格について 助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できない。

(推薦入試②：離島看護師推薦枠)

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 2人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評が㊤又はA段階に属し、人物に優れ、長崎県の離島医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 卒業後は、長崎県内の離島に勤務することを確約できる者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p>
出願期間	令和元年11月1日（金）～令和元年11月7日（木）
試験日	令和元年11月21日（木）
合格者発表	令和元年12月5日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 保健師国家試験受験資格について 平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており、学部教育では保健師国家試験受験資格は取得できない。保健師教育は、令和2年度以降に、大学院の修士課程で行う予定であり、準備を進めている。 3. 助産師国家試験受験資格について 助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため、学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できない。

実施学部・学科名	薬学部 薬学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域医療を志し、学習成績概評がⒶ又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎県の地域医療に貢献することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 大学卒業後あるいは博士課程修了後、長崎大学病院あるいは長崎大学病院の推薦する病院、薬局等にて3年間、薬剤師業務に従事することを確約できる者 3. 大学入試センター試験で、薬学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理、生物から1 化学</p> <p>外 : 英、独、仏、中、韓 から1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div>
出願期間	令和元年12月16日(月) ～ 令和元年12月20日(金)
試験日	令和2年1月23日(木)
合格者発表	令和2年2月12日(水)
その他	1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。

実施学部・学科名	薬学部 薬科学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬学・生命科学分野の研究者・技術者を志し、学習成績概評が㊤又はA段階に属する者で、人物に優れ、博士号の取得を目指して長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士後期課程又は博士課程まで進学することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの 2. 大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科博士前期課程に進学し、その後、博士号の取得を目指して同研究科博士後期課程又は博士課程に進学することを確約できる者 3. 大学入試センター試験で、薬学部が指定した教科・科目を受験する者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として70%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理, 生物から1 化学</p> <p>外 : 英, 独, 仏, 中, 韓 から1</p> <p style="text-align: right;">[3教科5科目]</p> </div>
出願期間	令和元年12月16日(月) ～ 令和元年12月20日(金)
試験日	令和2年1月23日(木)
合格者発表	令和2年2月12日(水)
その他	1学校あたりの推薦人員は、2人以内とする。

実施学部・学科名	情報データ科学部 情報データ科学科（仮称）
募集人員	5人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校の専門教育を主とする学科又は総合学科を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは、通常の課程による12年の学校教育（専門教育を主とする学科）を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校学習指導要領に記載の主として専門学科において開設される各教科に属する科目のうち、工業又は情報に関する教科・科目を20単位以上修得した者及び令和2年3月までに修得見込みの者 2. 学習成績概評がB段階以上に属し、数学の評定平均値が4.0以上あり、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書及び面接（口述試験。ペーパーによる小テストを組み合せる場合もある。）の評価を総合して合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とする。</p>
出願期間	令和元年11月1日（金）～令和元年11月7日（木）
試験日	令和元年11月21日（木）
合格者発表	令和元年12月5日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 志願者が多数の場合は、面接が11月22日（金）にわたることがある。 3. 入学手続き者に対しては、入学までの期間、入学前教育を行うこととしている。その内容については、合格者発表後に通知する予定である。

実施学部・学科名	情報データ科学部 情報データ科学科（仮称）
募集人員	10人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成30年4月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは、通常の課程による12年の学校教育を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <p>（本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がB段階以上に属し、数学の評定平均値が4.0以上あり、人物が優秀で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 大学入試センター試験で、情報データ科学部が指定した教科・科目を受験する者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績、課題作文及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>数 : 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p> <p>理 : 物理, 化学, 生物, 地学 から1</p> <p>外 : 英</p> <p style="text-align: right;">[3教科4科目]</p> </div>
出願期間	令和元年12月16日（月）～令和元年12月20日（金）
試験日	令和2年1月24日（金）
合格者発表	令和2年2月12日（水）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 志願者が多数の場合は、面接が1月25日（土）にわたることがある。

(推薦入試①：普通科等)

実施学部・学科名	環境科学部 環境科学科							
募集人員	選抜方法A（文系受験）	6人						
	選抜方法B（理系受験）	6人						
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成31年3月以降に卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年3月以降に修了した者及び令和2年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの （本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。）</p> <ol style="list-style-type: none"> 環境科学を志し、人物、学業に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 大学入試センター試験で、環境科学部が指定した教科・科目を受験する者 合格した場合は、入学することを確約できる者 							
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">【大学入試センター試験指定教科・科目】</th> </tr> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">選抜方法A（文系受験）</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">選抜方法B（理系受験）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 国：国 地歴：世B, 日B, 地理B 公民：現社, 倫, 政経, 倫・政経 数：数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理：物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目] </td> <td style="vertical-align: top;"> 国：国 地歴：世B, 日B, 地理B 公民：現社, 倫, 政経, 倫・政経 数：数I・数A 数II, 数II・数Bから1 理：物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目] </td> </tr> </tbody> </table>		【大学入試センター試験指定教科・科目】		選抜方法A（文系受験）	選抜方法B（理系受験）	国：国 地歴：世B, 日B, 地理B 公民：現社, 倫, 政経, 倫・政経 数：数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理：物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]	国：国 地歴：世B, 日B, 地理B 公民：現社, 倫, 政経, 倫・政経 数：数I・数A 数II, 数II・数Bから1 理：物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]
【大学入試センター試験指定教科・科目】								
選抜方法A（文系受験）	選抜方法B（理系受験）							
国：国 地歴：世B, 日B, 地理B 公民：現社, 倫, 政経, 倫・政経 数：数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 理：物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]	国：国 地歴：世B, 日B, 地理B 公民：現社, 倫, 政経, 倫・政経 数：数I・数A 数II, 数II・数Bから1 理：物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2又は物理, 化学, 生物, 地学から1 外：英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目又は5教科7科目]							
出願期間	令和元年12月16日（月）～令和元年12月20日（金）							
試験日	令和2年1月31日（金）							
合格者発表	令和2年2月12日（水）							
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1学校あたりの推薦人員は、制限しない。 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。 大学入試センター試験において、理科を学部が指定した科目数より多く受験している場合は、以下のとおりとする。 <ol style="list-style-type: none"> (1)「基礎を付した2科目」と「基礎を付していない1科目」を受験した場合は高得点科目を採用する。 (2)「基礎を付していない2科目」を受験した場合は第1解答科目を採用する。 							

(推薦入試②：普通科等以外)

実施学部・学科名	環境科学部 環境科学科
募集人員	4人
出願要件	<p>高等学校若しくは中等教育学校の専門教育を主とする学科若しくは総合学科を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育（専門教育を主とする学科）を令和2年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 環境科学を志し、人物、学業に優れ、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 大学入試センター試験で、環境科学部が指定した教科・科目を受験する者 3. 在籍する高校（学科）での成績（評定値平均）が最上位の者又はそれに準ずる者 4. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。</p> <p>大学入試センター試験については、下表の科目の中から2科目以上を受験すること。ただし、基礎を付した理科科目を含む場合は、基礎を付した理科2科目を含む3科目以上を受験すること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【大学入試センター試験指定教科・科目】</p> <p>国：国</p> <p>地歴：世A、世B、日A、日B、地理A、地理B</p> <p>公民：現社、倫、政経、倫・政経</p> <p>数：数I、数I・数A 数II、数II・数B、簿、情報</p> <p>理：物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎 物理、化学、生物、地学</p> <p>外：英</p> </div> <p>受験した全科目の中で合計点が最も高くなるように2科目（基礎を付した理科科目を含む場合は3科目）の成績を採用する。（例：数I、物理基礎、化学基礎）</p>
出願期間	令和元年12月16日（月）～令和元年12月20日（金）
試験日	令和2年1月31日（金）
合格者発表	令和2年2月12日（水）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は、制限しない。 2. 大学入試センター試験において、地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。 3. 大学入試センター試験において、理科で「基礎を付した2科目」と「基礎を付していない1科目」を選択する際、同一名称（「物理基礎」と「物理」等）を含む科目の組合せで受験している場合は、高得点科目のみ採用する。 4. 大学入試センター試験の地歴・公民及び理科それぞれの第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合に限り採用する。

実施学部・学科名	水産学部 水産学科
募集人員	15人
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者、あるいは、高等専門学校第3学年又は通常の課程による12年の学校教育を令和2年3月修了見込みの者で、次の各号に該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習成績概評がB段階以上に属し、人物が優秀で、高等学校長等が責任をもって推薦できる者 2. 合格した場合は、入学することを確約できる者
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除し、高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書及び面接（論理的思考能力及び英語能力を問う口述を含む。）の評価を総合して合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、個別に審査して合否を決定する。</p>
出願期間	令和元年11月1日（金）～令和元年11月7日（木）
試験日	令和元年11月21日（木）
合格者発表	令和元年12月5日（木）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1学校あたりの推薦人員は制限しない。 2. 本学部では、履修コース制を採用して教育を行っている。志願の際は、長崎大学案内及び水産学部案内を参照すること。 3. 志願者が多数の場合は、面接が11月22日（金）にわたることがある。

* 推薦入試の実施教科・科目等及び配点

学部学科等名		大学入試センター試験・学力検査等の配点等																	
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	課題文	面接	英語面接	実技検査	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計		
教育学部	小学校教育コース	推薦入試A・B	センター試験																
		学力検査等							100		120								
		計							100		120						220		
	中学校教育コース	文系	センター試験																
			学力検査等							100		100						200	
		計							100		100						200		
		理系	センター試験																
			学力検査等									300							300
		計									300							300	
	実技系	センター試験																	
		学力検査等									100							100	
	計									100							100		
	幼児教育コース	センター試験																	
		学力検査等								100		120						220	
		計								100		120						220	
特別支援教育コース	センター試験																		
	学力検査等								100		120						220		
	計								100		120						220		
経済学部	総合経済学科(昼間コース)	センター試験																	
		学力検査等							80		20						100		
		計							80		20						100		
医学部	医学科(推薦入試A/B/C)	センター試験	200	*100		200	200	200									900		
		学力検査等									120				80		200		
		計	200	*100		200	200	200			120				80		1100		
	医学科(推薦入試D)	センター試験	200	*100		200	200	250									950		
		学力検査等									120	100			80		300		
		計	200	*100		200	200	250			120	100			80		1250		
	保健学科(推薦入試①・②)	センター試験																	
		学力検査等								100		100						200	
		計								100		100						200	
薬学部	薬学科	センター試験				200	200	200									600		
		学力検査等									120				80		200		
		計				200	200	200			120				80		800		
	薬科学科	センター試験				200	200	200									600		
		学力検査等									120				80		200		
		計				200	200	200			120				80		800		

学部学科等名		大学入試センター試験・学力検査等の配点等															
		試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	課題文	面接	英語面接	実技検査	志望理由書	調査書	推薦書	配点合計
情報データ科学部 (仮称)	情報データ科学科 (推薦入試Ⅰ)	センター試験															
		学力検査等								200							
		計								200							
	情報データ科学科 (推薦入試Ⅱ)	センター試験				200	100	100									
		学力検査等								100	100						
		計				200	100	100		100	100						
環境科学部	環境科学科	推薦入試Ⅰ (文系受験) 選抜方法A	センター試験	200	*200	100	100	200									
			学力検査等								150				50		
			計	200	*200	100	100	200			150			50			
		推薦入試Ⅱ① (理系受験) 選抜方法B	センター試験	100	*100	200	200	200									
			学力検査等									150				50	
			計	100	*100	200	200	200			150				50		
	推薦入試Ⅱ②	センター試験	*100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100										
		学力検査等									100				100		
		計	*100	*100 *100	*100 *100	*100 *100	*100			100				100			
	水産学部	水産学科	センター試験														
			学力検査等									150					
			計									150					

注1) 配点に*印を付してある教科は選択科目を表す。

注2) 大学入試センター試験の外国語(英語)の配点は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を配点のとおり換算して利用する。(医学部(医学科の推薦入試A/B/C)、薬学部、情報データ科学部(仮称)及び環境科学部)

(4) 帰国子女入試

帰国子女入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和2年度長崎大学帰国子女入試学生募集要項」を参照すること。

【 多文化社会学部 】

〔 帰国子女 〕

実施学部・学科名	多文化社会学部 多文化社会学科	
募 集 人 員	国際公共政策コース・社会動態コース・共生文化コース・言語コミュニケーションコース	若干人
	オランダ特別コース	若干人
出 願 要 件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当し、かつ、TOEFL iBT 75点以上、TOEIC L&R 750点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上又はIELTS 6.0以上のいずれかのスコア・級を有するもの</p> <p>1. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育の12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を、平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において、最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けている者に限る。</p> <p>2. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を原則として2年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、令和2年3月31日までに卒業見込みのもの</p> <p>3. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を3年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校に入学又は第1学年に編入学した者で、令和2年3月31日までに卒業見込みのもの</p> <p>4. 次のいずれか一つを平成30年度又は令和元年度に外国において授与された者</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(4) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格（3科目以上合格（E評価以上）していること）</p> <p>注1) 外国語検定試験は、平成29年11月以降に受験した試験に限る。ただし、実用英語技能検定（英検）については、二次試験を平成29年11月以降に受験した試験とする。</p> <p>注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし、TOEFL ITP 及びTOEIC IPは対象としない。</p>	
選 抜 方 法 等	提出された書類及び面接（日本語及び英語による）の成績の結果を総合して合格者を決定する。	
出 願 期 間	令和元年11月1日（金）～ 令和元年11月7日（木）	
試 験 日	令和元年11月20日（水）	
合 格 者 発 表	令和元年12月 5日（木）	
そ の 他		

実施学部・学科名	工学部 工学科 全コース (機械工学, 電気電子工学, 構造工学, 社会環境デザイン工学, 化学・物質工学)
募 集 人 員	各コースとも若干人
出 願 要 件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>1. 12年の学校教育課程を修了又は令和2年3月31日までに修了見込み（最終学年が国内、国外のいずれかにあるかは問わない。）の者で、次の(1)及び(2)の要件を満たしていること。</p> <p>(1) 外国において2年以上継続して日本の高等学校相当の課程の正規の学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けたこと又は受ける見込みであること。</p> <p>(2) 上記(1)の要件を満たしてから2年以内であること。（最終学年が国外の場合、最終学年を平成30年4月1日以降修了又は修了見込みであること、最終学年が国内の場合、最終学年に平成30年4月1日以降在学していること。）</p> <p>2. 次のいずれか一つを平成30年度又は令和元年度に外国において授与された者</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>(2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(4) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格（3科目以上合格（E評価以上）していること）</p>
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し、面接試験〔数学及び理科（物理・化学）に関する基礎的問題についての口述試験等を含む。〕の成績及び提出された書類の審査の結果を総合して合格者を決定する。
出 願 期 間	令和元年11月1日（金）～ 令和元年11月7日（木）
試 験 日	令和2年 1月29日（水）
合 格 者 発 表	令和2年 2月12日（水）
そ の 他	

実施学部・学科名	水産学部 水産学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>日本国籍（日本国の永住権を有する外国籍を含む。）を有し、保護者の海外勤務等の事情により外国に在留（保護者の帰国等により単身で在留する場合も含む。）し、外国の教育を受けた者で、次のいずれかに該当するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育の12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を、平成30年4月1日から令和2年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者 ただし、外国において、最終の学年を含めて2年以上継続して学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を受けている者に限る。 2. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を原則として2年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校の第2学年又は第3学年に編入学を認められた者で、令和2年3月31日までに卒業見込みのもの 3. 外国において、正規の教育制度に基づく学校教育（外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校での教育は含まない。）を3年以上継続して受け、引き続き、日本の高等学校に入学又は第1学年に編入学した者で、令和2年3月31日までに卒業見込みのもの 4. 次のいずれか一つを平成30年度又は令和元年度に外国において授与された者 <ol style="list-style-type: none"> (1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格 (2) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格 (3) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格 (4) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格（3科目以上合格（E評価以上）していること）
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し、提出された書類の審査及び面接・小論文の成績の結果を総合して合格者を決定する。
出願期間	令和元年11月1日（金）～ 令和元年11月7日（木）
試験日	令和元年11月21日（木）
合格者発表	令和元年12月5日（木）
その他	

(5) 社会人入試

社会人入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和2年度長崎大学社会人入試学生募集要項」を参照すること。

なお、経済学部においては、11月期及び3月期の複数の受験機会を設ける。

【経済学部】

〔社会人〕

実施学部・学科名	経済学部 総合経済学科 (夜間主コース)
募集人員	11月期 : 40人 3月期 : 20人
出願要件	<p>次の1又は2に該当する者</p> <p>1. 現に就業し(就職内定及び就職予定を含む。), 入学後も就業しながら勉学することを確約できる者で, 次のいずれかに該当するもの</p> <p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月31日までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者で, かつ, 18歳に達するもの</p> <p>2. 社会人経験(注)を有し, 令和2年3月31日までに, 22歳に達し, 上記1の各号のいずれかに該当する者</p> <p>注1) 就業しながら, 定時制又は通信制の高等学校(大学の夜間部を含む。)に在学した期間を含む。</p> <p>注2) 家事・家業・パート等の従事期間も含む。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し, 志望理由書, 推薦書, 履歴書, 就業証明書, 調査書等, 小論文及び面接の成績等を総合して合格者を決定する。
出願期間	11月期 : 令和元年10月11日(金) ~ 令和元年10月17日(木) 3月期 : 令和2年2月12日(水) ~ 令和2年2月18日(火)
試験日	11月期 : 令和元年11月2日(土) 3月期 : 令和2年3月1日(日)
合格者発表	11月期 : 令和元年11月22日(金) 3月期 : 令和2年3月13日(金)
その他	

【医 学 部】

〔社会人〕

実施学部・学科名	医学部 保健学科
募集人員	看護学専攻 2人 理学療法学専攻 1人 作業療法学専攻 1人
出願要件	<p>次のいずれかに該当し，令和2年3月31日までに23歳に達し，社会人経験（注）3年以上を有する者で，合格した場合は必ず本学に入学することが確約でき，卒業後は看護，理学療法，作業療法の分野に就業する意志のあるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者 5. 文部科学大臣の指定した者 6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和2年3月31日までに合格見込みの者（廃止前の大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。） <p>注1) 就業しながら，定時制又は通信制の高等学校（大学の夜間部を含む。）に在学した期間を含む。</p> <p>注2) 家事・家業・パート等の従事期間も含む。</p>
選抜方法等	大学入試センター試験を免除し，調査書，履歴書及び本人自筆の志望理由書並びに小論文（英語の問題を含む。）及び面接の評価を総合して合格者を決定する。
出願期間	令和元年10月11日（金）～ 令和元年10月17日（木）
試験日	令和元年11月 2日（土）
合格者発表	令和元年11月22日（金）
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健師国家試験受験資格について 平成29年度入学者から適用する教育カリキュラムを変更しており，学部教育では保健師国家試験受験資格は取得できない。保健師教育は，令和2年度以降に，大学院の修士課程で行う予定であり，準備を進めている。 2. 助産師国家試験受験資格について 助産師教育に関しては大学院の修士課程で行うため，学部教育では助産師国家試験受験資格を取得できない。

(6) 外国人留学生入試

外国人留学生入試の大綱は次のとおりである。詳細については、9月上旬頃発表予定の「令和2年度長崎大学外国人留学生入試学生募集要項」を参照すること。

実施学部	多文化社会学部, 教育学部, 経済学部(昼間コース), 医学部, 歯学部, 薬学部, 情報データ科学部(仮称), 工学部(※1), 環境科学部, 水産学部
募集人員	情報データ科学部(仮称)外国人留学生入試A(一般枠)5人, 外国人留学生入試B(推薦枠)5人, 外国人留学生入試C(国際バカロレア枠)若干人, 環境科学部8人, 他の学部はいずれも若干人
出願要件	<p>《全学部(情報データ科学部(仮称)外国人留学生入試B及びCを除く)》</p> <p>外国人[日本国籍を有しない者(日本国永住許可を受けている者を除く。)]で, 次の(1)~(5)のいずれかに該当し, 平成30年度又は令和元年度の日本留学試験において各学部が指定する教科・科目を受験したもの。</p> <p>日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等については, 71~72ページで確認すること。</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(令和2年3月修了見込みの者を含む。)又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの。</p> <p>(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>(5) 英国において大学入学資格として認められているGCE-Aレベル資格(科目数及び評価については次ページ下部の別表参照)を外国において取得した者</p> <p>【多文化社会学部】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 61点以上, TOEIC L&R 730点以上又はIELTS 5.5以上のいずれかのスコアを有すること。 注1) 外国語検定試験は, 平成29年11月以降に受験した試験に限る。 注2) 外国語検定試験は公式スコアを対象とし, TOEFL ITP及びTOEIC IPは対象としない。</p> <p>【教育学部(小学校教育コース・幼児教育コース・特別支援教育コース)】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 41点以上, TOEIC L&R 400点以上のいずれかのスコアを有すること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>【教育学部(中学校教育コース 文系)】 入学後に専攻する希望教科として, 出願時に「社会」又は「英語」を選択する者は, 次の要件を満たすこと。</p> <p>① 社会 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 41点以上, TOEIC L&R 400点以上のいずれかのスコアを有すること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>② 英語 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT又はTOEIC L&Rを受験していること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>【経済学部】 上記の要件を満たし, かつ, TOEFL iBT 39点以上又はTOEIC L&R 385点以上を有すること。(ただし, 出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。)</p> <p>【歯学部】 上記の要件を満たし, かつ, 日本留学試験の日本語(聴解・聴読解, 読解及び記述)合計360点以上, 基礎学力(数学, 理科2科目)320点以上の得点を有すること。</p> <p>【情報データ科学部(仮称)(外国人留学生入試A(一般枠))】 上記の要件を満たし, かつ, 日本留学試験の日本語(聴解・聴読解及び読解)合計240点以上の得点を有すること。</p> <p>【工学部】 上記の要件を満たし, かつ, 日本留学試験の日本語(聴解・聴読解及び読解)合計240点以上の得点を有すること。</p>

(次ページに続く)

出 願 要 件	<p>《情報データ科学部（仮称）外国人留学生入試B（推薦枠）》</p> <p>外国人〔日本国籍を有しない者(日本国永住許可を受けている者を除く。)〕で、外国において学校教育における12年の課程を平成30年4月以降に修了した者及び令和2年3月修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者で、次の各号に該当するもの</p> <p>(1) 情報データ科学分野を志し、人物、学業に優れた者で、大学教育を受けるにふさわしい能力、適性を備え、中等教育の学校長（日本の高等学校校長相当）が責任をもって推薦できるもの</p> <p>(2) 在籍する中等教育の学校での成績（評定値平均）がGrade Point Average（GPA）3.0以上の者又はそれに準ずる者</p> <p>(3) 入学後は所定のカリキュラムを履修し、大学卒業後は長崎大学大学院に進学する強い意志をもつ者</p> <p>(4) 合格した場合は、入学することを確約できる者</p>		
	<p>《情報データ科学部（仮称）外国人留学生入試C（国際バカロレア枠）》</p> <p>外国人〔日本国籍を有しない者(日本国永住許可を受けている者を除く。)〕で、次の各号のすべてに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>(1) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア機構事務局が授与する国際バカロレア資格（International Baccalaureate Diploma（以下「IB」という。））を取得した者又は令和2年3月までに取得見込みのもの</p> <p>(2) 日本語を母語とする者又は日本語A・日本語Bのいずれかを履修している者若しくは情報データ科学部の科目を受講可能な日本語能力を備えていることを証明する書類を提出できるもの</p> <p>(3) IBの取得において次の科目を履修した者（HL：Higher Level） 物理（HL）、化学（HL）、生物（HL）から2科目及び数学（HL）必修</p> <p>※ 国際バカロレア資格を取得見込みで出願した者が、令和2年3月31日までに国際バカロレア資格を取得できない場合は、合格取消となる。</p>		
選 抜 方 法 等	71ページから73ページで確認すること。		
出 願 期 間	【令和元年11月18日（月）～ 令和元年11月22日（金）】		
試 験 日	多文化社会学部，経済学部，情報データ科学部（仮称），工学部，環境科学部	令和2年1月29日（水）※2	
	水産学部	令和2年1月31日（金）	
	教育学部	中学校教育コース（実技系）	令和2年2月25日（火）
		中学校教育コース（文系・理系）	令和2年2月25日（火）・26日（水）
		小学校教育コース，幼児教育コース，特別支援教育コース	令和2年2月26日（水）
	医学部	令和2年2月25日（火）・26日（水）	
歯学部，薬学部	令和2年2月25日（火）		
合 格 者 発 表	多文化社会学部，経済学部，情報データ科学部（仮称），工学部，環境科学部，水産学部	令和2年2月12日（水）	
	教育学部，医学部，歯学部，薬学部	令和2年3月7日（土）	

注) 日本の高等学校等を卒業した者は、この選抜には該当しない。

不明な点がある場合は、長崎大学学生支援部入試課（095-819-2114）まで問い合わせること。

※1 工学部では、機械工学，電気電子工学，構造工学，社会環境デザイン工学，化学・物質工学コースの5コースで募集を行う。

※2 情報データ科学部（仮称）及び工学部は志願者多数の場合、選考が令和2年1月30日(木)にわたることがある。

（別表）本学の出願に必要なGCE-Aレベル資格の科目数及び評価について

令和2年度 外国人留学生入試

学部等	科目数及び評価
多文化社会学部，教育学部，経済学部	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
医学部医学科	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」，「化学」，「生物」の3科目を含むものとする。
医学部保健学科	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。
歯学部，薬学部，情報データ科学部（仮称）	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。ただし、「数学」1科目と「物理」，「化学」，「生物」のうち2科目の計3科目を含むものとする。
工学部，環境科学部，水産学部	Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）していること。

① 選抜方法等

外国人留学生入試の選抜は、日本留学試験、本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類の審査の結果を総合して行う。
 なお、日本留学試験において各学部が指定する教科・科目等及び本学の学力検査等については次表のとおりとする。

学部・学科等		日本留学試験において指定する教科・科目等			本学の学力検査等		
		出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	実施教科等	摘 要	
多文化社会学部		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接 (日本語及び英語による面接)	英語の能力は、面接の中でみる。	
		総合科目	日本語・英語のどちらでも良い				
		数学 コース1	日本語・英語のどちらでも良い				
小学校教育コース (注1)		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。	
		総合科目	日本語				
		数学 コース1	日本語				
教育学部	中 学 校 教 育 コ ー ス	文系 (注2)	日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	国語 } 数学 } から1 外国語 } (注3)	国語(国語総合・現代文・古典) 数学[数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学A, 数学B] 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)(注4) 面接(入学後に専攻する希望教科として、出願時に「国語」又は「社会」を選択した場合は日本語で、「英語」を選択した場合は日本語及び英語でそれぞれ行う。)
			総合科目	日本語			
			数学 コース1	日本語			
	理系 (注5)	日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学 } 理科 } から1 面接 } (注6)	数学[数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(注7)] 理科[「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」, 「地学基礎・地学」から出願時に1科目群を選択] 面接は日本語で行う。	
		理科「物理」 「化学」 「生物」 } から2	日本語				
		数学 コース2	日本語				
	実技系	日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	実技検査 (体育) 面接	実技検査の内容は、73ページを参照すること。 面接は日本語で行う。	
		総合科目	日本語				
		数学 コース1	日本語				
	幼児教育コース		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。
			総合科目	日本語			
			数学 コース1	日本語			
特別支援教育コース		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。	
		総合科目	日本語				
		数学 コース1	日本語				
経済学部		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績(ただし、日本語の満点(記述を除く)の400点を200点に換算したうえで、3教科合計の満点の600点を100点に換算する。)	小論文 面接 (TOEFL iBT又はTOEIC L&Rのスコアを評価に含む。)	小論文は日本語又は英語で解答すること。 面接は日本語で行う。	
		総合科目	日本語				
		数学 コース1	日本語				
医学部(医学科)		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学 理科 外国語 面接	数学[数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B(注7)] 理科(物理基礎・物理, 化学基礎・化学, 生物基礎・生物から2) 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)(注4) 理科は、「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」から出願時に2科目群を選択し届け出ること。 面接は日本語で行う。	
		理科「化学」 「生物」	英語				
		数学 コース2	英語				
医学部(保健学科)		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	外国語 面接	外国語(コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ)(注4) 面接は日本語で行う。	
		理科「化学」 「生物」 } から1 (注8)	英語				

学部・学科等		日本留学試験において指定する教科・科目等			本学の学力検査等	
		出題教科・科目	出題言語の指定	成績の利用方法	実施教科等	摘要
歯学部		日本語	日本語のみ	平成30年6月、11月又は令和元年6月実施分のいずれか1回分の成績	数学 } から1 理科 } 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（注7）〕、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1）、の2教科から出願時に1教科を選択すること。（2教科の受験可）（注6）ただし、理科を選択した場合は、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 外国語〔コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ（注4）〕 面接は日本語で行う。
		理科「物理」「化学」「生物」から2	日本語・英語のどちらでも良い			
		数学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
薬学部 (薬学科) (薬科学科)		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	数学 理科 外国語 面接	数学〔数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（注7）〕、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1）、外国語（コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ（注4）） 理科は、「物理基礎・物理」、「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から出願時に1科目群を選択し届け出ること。 面接は日本語で行う。
		理科「化学」「物理」「生物」から1	日本語・英語のどちらでも良い			
		数学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
情報データ科学部 (仮称)	外国人留学生入試A (一般枠) (注9)	日本語	日本語のみ	平成30年6月、11月又は令和元年6月実施分のいずれか1回分の成績	小テスト (筆記試験) 面接 (口述試験)	小テストは高等学校程度の数学（特に代数、微積分、確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。 面接は日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。
	外国人留学生入試B (推薦枠) (注10)	理科「物理」「化学」「生物」から1 (注8)	日本語・英語のどちらでも良い			
	外国人留学生入試C (国際バカロレア枠) (注11)	数学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
工学部		日本語	日本語のみ	平成30年6月、11月又は令和元年6月実施分のいずれか1回分の成績	面接 (口述試験等を含む)	面接は日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。 社会環境デザイン工学コースにおいては、面接の際の資料とするため、面接前に基礎的な試問（筆記）を行う。
		理科「物理」「化学」	日本語・英語のどちらでも良い			
		数学 コース2	日本語・英語のどちらでも良い			
環境科学部	文系受験	日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	小論文 面接	小論文は日本語で解答すること。 面接は日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。 入学後は、英語の講義を必修科目として受講する必要がある。
		総合科目	日本語			
	理系受験	日本語	日本語のみ			
		理科「物理」「化学」「生物」から2	日本語			
	数学（コース1又はコース2）	日本語				
水産学部		日本語	日本語のみ	平成30年6月若しくは11月又は令和元年6月若しくは11月実施分のいずれか1回分の成績	面接	面接は日本語で行う。 英語能力は、面接の中でみる。
		理科「物理」「化学」「生物」から2	日本語			
		数学（コース1又はコース2）	日本語			

- 注1) 小学校教育コース各系（子ども理解系、教科授業開発系、離島・地域文化系）への所属は、入学後に、所属系志望調査を行った上で決定する。詳細は、入学後のオリエンテーションで説明する（小学校教育コース各系の説明に関しては、教育学部ホームページを参照すること。）。
 URL: <http://www.edu.nagasaki-u.ac.jp/>
- 2) 出願時に、入学後に専攻する希望教科（国語、社会、英語）を選択する。
- 3) 国語、数学及び外国語の3教科から1教科選択。複数教科を受験することもできる。複数教科を受験している場合は高得点の教科を採用する。
- 4) 英語はリスニングテストを実施しない。
- 5) 出願時に、入学後に専攻する希望教科（数学、理科）を選択する。
- 6) 数学及び理科の2教科から1教科選択。2教科を受験することもできる。2教科を受験している場合は高得点の教科を採用する。
- 7) 表示の5科目「数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B（数列、ベクトル）」の範囲から出題する。
- 8) 日本留学試験の「理科」については、高得点の1科目を採用する。
- 9) 外国人留学生入試A（一般枠）は、入学志願者が募集人員（5人）の約2倍を超えた場合には、個別学力検査（面接）を適切に実施することが極めて困難となるため、日本留学試験の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査の受験者を決定する。
- 10) 外国人留学生入試B（推薦枠）は、入学志願者が募集人員（5人）の約2倍を超えた場合には、個別学力検査（面接）を適切に実施することが極めて困難となるため、出願書類（成績証明書、推薦書、志望理由書）の成績により第1段階の選抜を行い、個別学力検査の受験者を決定する。
- 11) 外国人留学生入試C（国際バカロレア枠）志願者で、日本語を母語とせず、日本語A・日本語Bのいずれかを履修していない場合は、「情報データ科学部の科目を受講可能な日本語能力を備えていることを証明する書類」（例：日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書等）の提出を要する。

② その他

教育学部中学校教育コース文系及び理系における合格者の入学後に専攻する教科は、受験者が出願時に届け出た教科とし、合格発表時に通知する。

* 外国人留学生入試における実技検査の内容

教育学部学校教育教員養成課程・中学校教育コース実技系の志願者に対し、以下の実技検査を行う。

実技検査（体育）

「陸上競技」、「器械運動」、「球技」の3領域にわたり検査を行う。

領 域 及 び 運 動		受 験 方 法
陸 上 競 技		全員が受験すること。
器 械 運 動		全員が受験すること。
球 技	①バレーボール ②バスケットボール ③サッカー	①～③の3種目から、2種目選択し、受験すること。

注1) 運動のできる服装を用意すること。

2) 専門の用具を使用してもよい。

3) 運動靴は、屋内用と屋外用を用意すること。

5. 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号の規定により本学の入学者選抜試験に出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとします。

(1) 入学資格審査の対象者

- ① 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 中学校卒業で、各種の学校等での学習歴、社会での実務経験等に基づいて高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

(2) 申請期日及び申請先等

長崎大学の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、選抜試験別にそれぞれ次の期日までに申請してください。

- ① A O 入試・・・令和元年 7月18日(木)
- ② 社会人入試・・・令和元年 9月17日(火) ※3月期は、令和2年1月14日(火)
- ③ 一般入試・・・令和元年11月25日(月)

ただし、大学入試センター試験の出願に必要な場合は、①の期日までに申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「長崎大学入学資格認定申請書」と朱書きしてください。(持参でも可)

なお、不明な点がありましたら、下記にお問い合わせ願います。

※申請先：〒852-8521 長崎市文教町1-14

長崎大学学生支援部入試課 (TEL 095-819-2111)

(3) 申請書類

- ① 前記(1)①に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書(様式第1)
 - イ. 学習等の履歴書(様式第2)
 - ウ. 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
 - エ. 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - オ. 卒業証明書又は卒業見込証明書(生年月日を記載したもの)
 - カ. 返信用封筒(長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、所定の郵便料金分(簡易書留・25gまで)の切手(※)を貼ったもの)
※令和元年6月現在：392円
- ② 前記(1)②に該当する者
 - ア. 入学資格認定申請書(様式第1)
 - イ. 学習等の履歴書(様式第2)
 - ウ. 各種の学校等での学習歴を証明できるもの
 - エ. 社会経験等の履歴(様式第3)
 - オ. 今までに取得した資格等を証明できるもの
 - カ. 18歳に達した者であることを証明できるもの(健康保険証、運転免許証、パスポート等の写し)
 - キ. 返信用封筒(長形3号封筒に郵便番号・住所・氏名を明記し、所定の郵便料金分(簡易書留・25gまで)の切手(※)を貼ったもの)
※令和元年6月現在：392円

申請書類のうち、本学所定の様式(様式第1～第3)については、長崎大学ホームページからダウンロードしてください。

また、他大学において個別の入学資格審査による認定を受けた者は、その認定を受けたことを証明する書類の写しを添付してください。

※申請書類（本学所定の様式（様式第1～第3））の入手方法

次の長崎大学ホームページからダウンロードしてください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/admission/topics/pdf/r02shinsa.pdf>

（4）入学資格審査基準

入学資格審査は、提出された申請書類によって行います。

① 前記（1）①の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が「高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数」と同等以上であること。

② 前記（1）②の申請者

申請者の学習歴、社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

（5）審査機関

入学資格審査は、長崎大学入学者選抜委員会で行います。

（6）入学資格審査結果の通知

入学資格審査の結果は、それぞれ次の期日までに申請者宛に発送します。

① A O 入 試・・・令和元年 8月23日（金）

② 社会人入試・・・令和元年10月 2日（水） ※3月期は、令和2年2月3日（月）

③ 一般入 試・・・令和2年 1月17日（金）

なお、大学入試センター試験の出願に必要な場合は、①の期日までに発送します。

入学資格が認められた者には、「長崎大学入学資格認定書」を交付します。

また、入学資格が認められなかった者には、理由を付して審査結果を通知します。

（7）長崎大学入学者選抜試験への出願

「長崎大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願する際は、必ず「長崎大学入学資格認定書(写)」を添付してください。

なお、交付された本学の入学資格認定書は次年度以降も有効です。

（8）その他

入学資格が認められた後であっても、申請書類の内容に事実と異なる点があった場合には、入学資格を取り消します。

6. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、原則として出願期間開始2週間前迄に下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、本学学生支援部入試課に相談してください。上記期限経過後でも可能な限り事前相談に応じますが、十分な対応が出来なくなることもあります。

入学者選抜において、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはありません。

なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行うこともあります。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともあります。

*** 申請書の内容**（志願者の住所・氏名・連絡先電話番号・FAX番号等を明記してください。）

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ア. 入試区分・志願学部・学科（コース・専攻） | イ. 障がいの種類・程度 |
| ウ. 受験上の配慮を希望する事項 | エ. 修学上の配慮を希望する事項 |
| オ. 出身学校等でとられていた配慮 | カ. 日常生活の状況 |

☆ 本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

7. 学生寮への入居（多文化社会学部へ入学する者）

多文化社会学部に入学する学生は、原則、入学時から1年間、大学キャンパス外でも多文化状況に触れることを目的とした学生寮「国際学寮ホルテンシア」に全員入居し、外国人留学生とのルームシェアによる共同生活を行います。

学生寮の概要は、次のとおりです。

なお、防犯対策として、各ユニットの玄関にカードキー対応ドアを、各個室に暗証番号対応ドアを装備しています。

寮名称	国際学寮ホルテンシア
所在地	A棟：長崎市白鳥町8-77 B棟：長崎市白鳥町8-78 (大学まで徒歩12分程度)
収容人数	135人（A棟72人・B棟63人） 1ユニット4人（外国人留学生1人を含む。）のルームシェア形式 (ただし、1ユニットのみ車椅子対応の3人のルームシェア)
入居費用	月額： 22,000円 （ただし、入学時及び在学中に寄宿料の改定が行われた場合には、改定時から新寄宿料が適用される。水道光熱費は別途自己負担） ※ 退去時のクリーニング費用として10,000円（入居時に徴収） ※ 上記のほか、借家人賠償責任保険等の加入が必要（入居時のみ）
共用施設	集会室、駐輪場、中庭、ゴミ置き場
個室部分の設備 (洋室4.5帖)	机、椅子、電気スタンド、エアコン、ベッド（収納庫（ベッド下）及びマットレス付き）、光回線インターネット、TV端子、照明、暗証番号対応ドア
ユニット内の設備 (DK8.2帖)	シャワーブース、トイレ、洗面台、システムキッチン、ダイニングセット（テーブル、椅子）、冷蔵庫、食器棚、電子オーブンレンジ、洗濯乾燥機、衣類乾燥機、掃除機、炊飯器、エアコン、カードキー対応玄関ドア等
食事	食事の提供なし（各ユニットのキッチンで自炊可能）

注) 入学者の状況によっては、外国人留学生とのルームシェアとならない場合がある。

詳しくは、長崎大学多文化社会学部ホームページをご覧ください。

<http://www.hss.nagasaki-u.ac.jp/>



問い合わせ先：長崎大学学生支援センター（学生支援課生活支援班） ☎ 095-819-2103

8. 募集要項の発表時期及び入手方法等

(1) 募集要項の発表時期

募集人員，出願期日，個別学力検査等の実施日程，その他必要な事項を記載した学生募集要項は，次のとおり発表する予定です。

- AO入試学生募集要項 7月上旬
- 推薦入試，帰国子女入試，社会人入試，外国人留学生入試学生募集要項 9月上旬
- 一般入試学生募集要項 11月下旬

(2) 募集要項の入手方法等

平成30年度入試からのインターネット出願の導入により，**募集要項は冊子体での配布を廃止しています。**

募集要項は**本学ホームページ** (<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/contact/index.html>) (右のQRコードからアクセス可能) から**電子ファイル (PDF形式) をダウンロードして入手・参照**してください (印刷した冊子はありません。)



(3) 大学案内，入学者選抜要項 (大綱) の請求方法 (参考) ※入学者選抜要項は募集要項ではありません。

① 長崎大学入試課窓口で受け取る方法

長崎大学入試課窓口 (長崎市文教町1-14:長崎大学正門を入ってすぐ右手の建物の1階) において無料で配布しております。(平日 8:45~17:30, 土・日・祝日を除く。)

② 長崎大学ホームページから請求する方法

長崎大学ホームページから  テレメールまたは大学情報センター「モバっちょ」を利用して大学案内及び入学者選抜要項を請求できます。

詳しくは，長崎大学ホームページ (入試情報サイト) をご覧ください。

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/contact/index.html>

③ テレメールで請求する方法

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ) または自動音声応答電話で資料を請求することができます。

i 下のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマホ・ケータイ)	https://telemail.jp	右のQRコードからアクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	<p> 050-8601-0101 (24時間受付)</p> <p>※IP電話への通話料金は，一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約12円。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話ください。登録された音声那不鮮明な場合は資料をお届けできないことがあります。</p>	

ii 資料請求番号 (6桁) をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)
「大学案内(パンフレット)」	567642	250円
「入学者選抜要項(大綱)」	587642	215円

iii あとはガイダンスに従って登録してください。

注1) テレメールのパスワードをお持ちの方はお届け先の登録は不要です。

2) 資料は請求してから発送日からおおむね3~4日で資料が届きます。ただし，受付時間や地域，配達事情によっては，1週間程度かかる場合もあります。10日以上経っても届かない場合には，テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。なお，発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。

3) 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上，資料到着後二週間以内に表示料金をお支払いください。なお，支払い手数料が別途必要です。(コンビニ払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは150円，窓口扱いは200円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円。コンビニ払いは消費税率10%時には88円へ変更予定。) また，複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

※ テレメールでの請求方法についてのお問合せは
テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00)

④ 大学情報センター「モバっちよ」で請求する場合

パソコン，スマートフォン，携帯電話のいずれかで下記にアクセスし，画面の案内に従って請求してください。お急ぎの方は宅配便のご利用もできます。

<https://djc-mb.jp/nagasaki-u2/>



- ※ 料金は，大学案内：250円，大学案内＋入学者選抜要項：350円です。
- ※ お支払い方法は，i 携帯払い，スマホ払い，クレジットカード払い（支払手数料は別途50円必要），ii コンビニ後払い（支払手数料は別途126円必要）の2種類から選択できます。
- ※ 携帯電話・スマートフォンから請求した場合，お使いの機種や携帯電話会社との契約状況によっては通話料金と一緒に支払いできない場合があります。その場合はコンビニ後払いを選択してください。

※ 上記④の請求方法についてのお問合せは
大学情報センター株式会社 モバっちよカスタマーセンター
TEL 050-3540-5005（平日 10:00～18:00）

⑤ 郵送により請求する方法

郵送による場合は，郵便番号，住所，氏名を明記した返信用封筒（角形2号封筒）に送料分の切手〔大学案内：400円分，入学者選抜要項：400円分，大学案内＋入学者選抜要項：600円分〕を貼付したものを同封し，下記の請求先へ請求してください。

なお，請求する封筒の表に資料の名称（例：「大学案内請求」）を朱書きしてください。

- ※ 上記の金額については，郵便料金の改訂が行われた場合，変更の可能性があります。請求前に下記の連絡先へお問い合わせください。

⑥ 宅配便（送料着払い）により請求する方法

下記連絡先へ電話連絡の上，希望資料名・部数・送付先・送付先電話番号をFAXでお知らせください。

料金は，送付部数や送付先で異なりますが，おおよそ1,000円程度となります。

※ 上記⑤, ⑥の請求先及び連絡先は
〒852-8521 長崎市文教町1番14号 長崎大学学生支援部入試課
TEL. 095-819-2111 FAX. 095-819-2112

9. 入試情報の提供

(1) 個人成績

本学では、平成30年度入試からインターネット出願を導入しており、個人成績（一般入試・AO入試・推薦入試・社会人入試・帰国子女入試・外国人留学生入試）の提供については、出願時の希望の有無により提供します。原則として、郵送や出願期間後の請求は受け付けませんのでご注意願います。

ただし、AO入試については、第2次選考のみの成績を提供します。

○請求者：受験者本人に限ります。

○請求方法：インターネット出願時の個人情報登録画面の「入試成績の開示請求」欄で「希望する」を選択し、「入試成績の開示請求通知書の送付先」を入力してください。登録された送付先へ個人成績を令和2年6月以降、郵送にて送付します。

○手数料：400円

○提供内容：①大学入試センター試験の教科ごとの得点
（本学が判定に使用した教科の配点換算後の点数）
②本学が実施する学力・実技等検査の得点
③①+②の総得点及び順位

(2) 正解・解答例等

正解・解答例又は出題の意図（一般入試）については、当該日程の全試験終了後、本学が指定した日時に提供します。

(3) 採点・評価基準

採点・評価基準については、本要項の〔一般入試 P80～P82，AO入試 P83～P84，推薦入試 P85～P86，帰国子女入試P87，社会人入試 P87，外国人留学生入試 P87～P88〕に記載しています。

(4) 合否判定基準

合否判定基準については、本要項の〔一般入試 P89～P91，AO入試 P91，推薦入試 P92～P93，帰国子女入試P93，社会人入試 P93，外国人留学生入試 P94〕に記載しています。

採点・評価基準〔一般入試〕

〔前期日程〕

学部名・教科名		採点・評価基準		
共通問題	数 学		数学の基礎を理解し、応用する力を測る意図で出題している。正しい推論のもとに結論に至っているかどうかを判定するため、推論の過程と結論をそれぞれ評価する。したがって、解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。結論が正しくても、途中の推論及び計算式が十分でない場合は減点される。	
	理 科	物 理	物理現象に関する思考力・考察力・表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
		化 学	基礎的な学習の到達度とともに、科学的な思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
		生 物	生物学についての思考力及び応用力を総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
		地 学	自然科学についての思考力、独創性、発想力、表現力などを総合的に評価する。解答が完全には正しくない場合でも、理解の程度に応じた部分点を与える。	
外 国 語		読解力、表現力など総合的な能力をみることを主眼とする。		
多文化社会学部	批判的・論理的思考力テスト (総合問題)		批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。	
	面接 (オランダ特別コースのみ)		複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し、意欲・積極性、思考力及び語学力(英語)を評価する。	
教育学部	学校教育コース	国 語	高等学校までの国語科(「国語総合」の範囲)の知識及びそれを踏まえた言語表現力を評価する。	
		面 接	初等教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
	中学校教育コース	文 系	国 語	現代文・古文・漢文に関する基礎的知識及び言語表現能力を評価する。
		面 接	国語科教育、社会科教育又は英語科教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。	
	実技系	理 系	面 接	数学教育又は理科教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		実技検査 (体育)	出題する領域のスポーツや運動に関する基礎的及び応用的な実践能力と技能を評価する。	
	面 接	保健体育科教育及びスポーツ教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。		

学部名・教科名			採点・評価基準	
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース	国語	高等学校までの国語科（「国語総合」の範囲）の知識及びそれを踏まえた言語表現力を評価する。
			面接	幼児教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	特別支援教育コース		国語	高等学校までの国語科（「国語総合」の範囲）の知識及びそれを踏まえた言語表現力を評価する。
			面接	特別支援教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
医学部	医学科	面接	面接は個人面接。 志願調書を参考に，以下の項目を評価する。 ①応用力（問題解決力） ②意欲（積極性） ③協調性 ④総合能力	
	保健学科	面接	調査書を参考に面接を実施し，志望動機，コミュニケーション能力等から医療技術者としての適性を判断する。 評価は点数化する。	
歯学部	歯学科	面接	面接は個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志願調書を参考に，志望動機，意欲，目的意識，コミュニケーション能力，協調性等を総合的に判断する。点数化せず，段階評価する。	

〔後期日程〕

学部名・教科名			採点・評価基準	
多文化社会学部	小論文		課題に対する理解，批判的思考力と思考内容を論理的に表現することができる力及び世界の多文化状況に関する関心と理解を評価する。	
	面接		複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し，意欲・積極性及び語学力（英語）を評価する。 調査書は，面接の評価の中で考慮する。	
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	面接	初等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		特別支援教育コース	面接	特別支援教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
経済学部	小論文		基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。	

学部名・教科名		採 点 ・ 評 価 基 準	
医学部	保健学科	小論文	一部英語の読解力を含み、論理的思考力、基礎的学力、論文構成力等をみる。
		面接	調査書を参考に個人面接を実施し、志望動機、勉学意欲、コミュニケーション能力、社会的関心等から医療技術者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
歯学部		小論文	小論文は、独創力、論理的思考力、基礎的学力、論文構成力等をみる。
		面接	面接は、個人面接を行い、アドミッション・ポリシーに基づき、志願調書を参考に、志望動機、意欲、目的意識、コミュニケーション能力、協調性等を総合的に判断する。点数化せず、段階評価する。
薬学部	薬学科	総合問題	総合問題は、高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験であり、考察力、論理的思考力、理解力、記述力、表現力等を総合的に問う。
		面接	面接は個人面接を行い、アドミッション・ポリシーに基づき、志望動機、意欲、将来展望、積極性、コミュニケーション能力、協調性等から薬剤師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
	薬科学科	総合問題	高等学校の学習一般を前提とし、筆記を主体とした試験であり、考察力、論理的思考力、理解力、記述力、表現力等を総合的に問う。
情報データ科学部(仮称)		数 学	<p>高等学校の学習一般（数学）を前提とした筆記試験であり、成績を点数評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出題範囲 共通問題は、5科目（「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数A」、「数B（数列・ベクトル）」）を出題範囲とする。選択問題は、出題範囲に「数B（確率分布と統計的な推測）」を加え、出題する。 ・ 成績評価 本学情報データ科学部（仮称）で学ぶ資質や適性を基礎学力で問う。
工学部		総合問題	<p>高等学校の学習一般（数学、物理、化学）を前提とした筆記試験であり、数学（基本的な計算問題を主とする）2問、物理2問、化学2問の計6問からその場で任意の4問を選択する方式とし、成績を点数評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出題範囲 数学：数Ⅰ、数A、数Ⅱ、数B、数Ⅲ。 物理：「物理基礎」及び「物理」の全てを出題範囲とする。 化学：「化学基礎」及び「化学」の全てを出題範囲とする。 ・ 成績評価 本学工学部で学ぶ資質や適性を基礎学力で問う。
環境科学部		面接	面接では、環境への関心度、意欲・積極性、思考力等から判断し評価する。評価は点数化する。
水産学部		面接	<p>面接は、志望動機、学部への関心、将来展望、高校生活等についての質疑応答から、入学への関心度、学力素養について総合的に評価する。各面接員の評価を平均して点数化する。</p> <p>調査書は、面接の評価の中で考慮する。</p>

採点・評価基準〔AO入試〕

学部	区分	採点・評価基準
多文化社会学部	多文化社会学科 AO入試 I (一般枠)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書，諸活動の記録，調査書等を評価する。 2. 第2次選考 個人面接（日本語及び英語による。）及び筆記試験（論理的思考能力と洞察力（観察力）を問う。）を課し，評価する。 配点は，個人面接50点，筆記試験100点である。
	多文化社会学科 AO入試 I (グローバル枠) (国際バカロレア枠)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書，諸活動の記録，調査書等（グローバル枠については，学校教育プログラムの概要及び所定の様式による志願者の課題研究報告書を含む。）を評価する。 2. 第2次選考 個人面接（日本語及び英語による。）及び筆記試験（論理的思考能力と洞察力（観察力）を問う。）を課し，評価する。 配点は，個人面接50点，筆記試験100点である。
教育学部	学校教育教員養成課程 AO入試 I (小学校教育コース)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書，諸活動の記録，調査書等を評価する。 2. 第2次選考 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自己表現 自己表現の実行を観察し，該当の教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に評価する。 (2) 課題論文 課題図書に対する読解力及び課題に対する考察力，論理的思考能力等を評価する。 (3) 面接 志望動機，勉学意欲，教育への関心及び自己表現の省察に関するやり取りをとおして，総合的に資質・能力等を評価する。 配点は，自己表現100点，課題論文100点，面接100点である。
	学校教育教員養成課程 AO入試 I (特別支援教育コース)	
経済学部	総合経済学科 AO入試 I・A (実践力枠)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書，諸活動の記録，調査書を点数化し評価する。 2. 第2次選考 読解力，論理的思考力等を問う課題論文及び個人面接を課し，評価する。 配点は，課題論文50点，個人面接50点である。
	総合経済学科 AO入試 I・B (グローバル枠)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次選考 自己推薦書，諸活動の記録，調査書，実用英語技能検定（英検）の試験の結果を点数化し評価する。 2. 第2次選考 読解力，論理的思考力等を問う課題論文及び個人面接を課し，評価する。 配点は，課題論文50点，個人面接50点である。

学部		区分	採点・評価基準
歯学部	歯学科	AO入試Ⅱ	<p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等を点数化し評価する。</p> <p>2. 第2次選考 課題論文及び個人面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて総合的に評価する。 配点は、課題論文100点、面接100点、大学入試センター試験600点である。</p>
工学部	工学科	AO入試Ⅰ・A	<p>1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書を点数化する。 自己推薦書では、志望する理由についての記述内容を総合的に評価する。 調査書では、①各科目の評定平均値、②出欠の記録、③「指導上参考になる諸事項」または「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動、各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。なお、区分Bの受験者については、③にジュニアマイスター顕彰を含める。</p> <p>2. 第2次選考 (1) 適正評価 面接（口述試験）を行うとともにコースによっては課題作文を課す。 志望動機及び志望コースで学ぶ適性（アドミッション・ポリシーに対する適性）を、分野関心度、基礎知識、論理的思考力、理解力、日本語による表現力、発想の豊かさ等の観点から、総合的に評価する。</p> <p>(2) 基礎学力評価 面接（口述試験）（コースによっては小テストを組合せる）で、教科に関する基礎学力や、志望コースの専門分野に関連する理科の科目等の基礎学力を総合的に評価する。調査書の各科目の評定平均値も総合評価の参考にする。 配点は、適正評価100点、基礎学力評価100点である。</p>
		AO入試Ⅰ・B	
		AO入試Ⅱ	<p>1. 第1次選考 自己推薦書及び調査書を点数化する。 自己推薦書では、志望する理由についての記述内容を総合的に評価する。 調査書では、①各科目の評定平均値、②出欠の記録、③「指導上参考になる諸事項」または「備考」の欄等に記載された諸活動（生徒会活動、各種オリンピック、チャレンジ、グランプリ等への参加活動等）の記録を点数化する。</p> <p>2. 第2次選考 面接を課し、大学入試センター試験の成績と合わせて、総合的に評価する。 配点は、大学入試センター試験400点、面接100点である。</p>
水産学部	水産学科	AO入試Ⅰ	<p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録及び調査書を点数化する。</p> <p>2. 第2次選考 課題論文、小テスト（論理的思考能力及び英語に関する基礎学力を問う）及び面接の評価を点数化する。 面接は、志望動機、学部への関心、将来展望、高校生活等についての質疑応答から、入学への関心度、学力素養について総合的に評価する。 配点は、課題論文20点、小テスト40点、面接40点である。</p>

採点・評価基準〔推薦入試〕

学部名・教科名		採点・評価基準		
教育学部・学校教育教員養成課程	小学校教育コース	推薦入試A	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，地域とともにすすめる初等教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		推薦入試B	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，離島における教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	中学校教育コース	文系	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，国語科教育，社会科教育又は英語科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		理系	面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，数学教育又は理科教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，併せて，数学の教科に関する知識，理解力，数理的思考能力等又は理科の教科に関する知識と能力を口頭試問（理科においては観察，実験に関する簡単な操作を含む。）し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
			実技系	面接(集団)
	幼児教育コース	小論文	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，幼児教育に関する問題意識，コミュニケーション能力，表現活動に対する体験や関心等から，教育者を目指すにあたっての適性を総合的に判断する。
		特別支援教育コース	小論文	課題に対する理解力，考察力，論理的思考力，記述力等を評価する。
			面接	調査書，志望理由書，推薦書等の出願書類を参考に，地域とともにすすめる特別支援教育に関する熱意，意欲，目的意識等を評価し，教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	経済学部	<p>(1) 小論文（英語の問題を含む。） 英語を含む基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。</p> <p>(2) 面接 調査書，推薦書等の出願書類を参考に意欲，目的意識，表現力等を評価する。</p>		

学部名		採 点 ・ 評 価 基 準
医学部	医学科	(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。 (2) 面接 面接は個人面接。 推薦書・志望理由書を参考に，以下の項目を評価する。 ①応用力（問題解決力） ②意欲（積極性） ③協調性 ④総合能力
	保健学科	(1) 小論文（英語の問題を含む。） 英語を含む基礎的学力，論理的思考力，論文構成力等をみる。 (2) 面接 志望動機，勉学意欲，将来展望，社会的関心等の他，提示された課題についてグループ討議を行い，医療技術者としての適性を調査書・志望理由書・推薦書も含めて総合的に判断する。評価は点数化する。
薬学部	薬学科	(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。 (2) 面接 面接は個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から薬剤師としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
	薬科学科	(1) 調査書・推薦書・志望理由書 調査書の学業成績及び他の特記事項，推薦書並びに志望理由書を点数化する。 (2) 面接 面接は個人面接を行い，アドミッション・ポリシーに基づき，志望動機，意欲，将来展望，積極性，コミュニケーション能力，協調性等から研究者としての適性を総合的に判断する。評価は点数化する。
情報データ科学部（仮称）	推薦入試Ⅰ	面接（口述試験）は，複数の面接員による個人面接の形式で実施する。調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学習意欲，基礎知識，社会性，修学状況等についての質疑応答及び数学・情報関連科目・英語の口述試験によって適性と基礎学力をそれぞれ点数化する。英語は基礎的な短文の音読・読解・会話で評価する。調査書の各科目の評定平均値も総合評価の参考にする。
	推薦入試Ⅱ	(1) 課題作文 課題作文は分野関心度，論理的思考力，表現力，発想の豊かさ等の観点から総合的に評価する。 (2) 面接 面接は，複数の面接担当者による個人面接の形式で実施する。調査書，推薦書，志望理由書等の出願書類を参考に，志望動機，学習意欲，基礎知識，社会性，修学状況等についての質疑応答及び課題作文についての口述試験によって適性を点数化する。調査書の各科目の評定平均値も総合評価の参考にする。
環境科学部	推薦入試Ⅱ①	面接では，環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。 評価（調査書を含む。）は点数化する。
	推薦入試Ⅱ②	面接では，環境への関心度，意欲・積極性，思考力等から判断し評価する。 評価（調査書を含む。）は点数化する。
水産学部	水産学科	志望動機，学部への関心，将来展望，高校生活等について質疑応答及び学力素養に関わる口頭による試問を行い，入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。 調査書は，面接の評価の中で考慮する。

採点・評価基準〔帰国子女入試〕

学部名・教科名		採点・評価基準
多文化社会学部	面接	複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し、提出された書類を参考に、志望動機、勉学意欲、思考力、英語能力等を総合的に判断する。
工学部	面接	複数の面接担当者による個人面接を行う。成績通知書、志望理由書、履歴書を参考に、志望動機、勉学意欲、一般常識、数学及び理科（物理・化学）に関する基礎学力等の評価項目に従い100点満点で点数化する。
水産学部	面接	複数の面接担当者による個人面接を行う。成績通知書を含む提出書類を参考に志望動機、学部への関心、将来展望、学力素養について総合的に評価し10点満点で点数化する。
	小論文	課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力等を評価する。 5点満点で点数化し、複数の評価者の平均点を得点とする。

採点・評価基準〔社会人入試〕

学部名・教科名		採点・評価基準
経済学部	小論文	基礎的知識、読解力、分析力、構想力、独創性、論理性、表現力等を評価する。 配点80点。
	面接	調査書、志望理由書、推薦書、履歴書、就業証明書など出願書類を参考に意欲、目的意識、表現力等を評価する。配点20点。
医学部	小論文 (英語の問題を含む)	論理的思考力、基礎的学力、論文構成力等をみる。配点100点。
	面接	調査書、志望理由書、履歴書など出願書類を参考に個人面接を実施し、社会人経験、志望動機、勉学意欲、将来展望等から医療技術者としての適性を総合的に判断する。配点100点。

採点・評価基準〔外国人留学生入試〕

学部名・教科名		採点・評価基準		
多文化社会学部	面接	複数の面接員による個人面接を行う。 日本語及び英語により実施し、提出された書類（TOEFL等の成績、日本留学試験の成績通知書等）を参考に、日本語運用能力並びに志望動機、勉学意欲、思考力、英語能力等を総合的に判断する。		
教育学部	小学校教育コース	面接	志望理由、学習・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	
	中学校教育コース	文系	面接	国語科教育、社会科教育又は英語科教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		理系	面接	数学教育又は理科教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
		実技系	面接	保健体育科教育及びスポーツ教育に関する熱意、意欲、目的意識等を評価し、教育者を目指すにあたっての諸能力を総合的に判断する。
	幼児教育コース	面接	志望理由、学習・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	
	特別支援教育コース	面接	志望理由、学習・研究意欲、基礎的知識を中心に評価する。	

学部名・教科名		採点・評価基準	
経済学部	小論文	基礎的知識，読解力，分析力，構想力，独創性，論理性，表現力等を評価する。	
	面接	修了（見込）証明書，成績証明書，日本留学試験の成績通知書の写し，TOEFL iBT 又は TOEIC L&R のスコア等を参考にしながら，意欲，目的意識，表現力等を評価する。	
医学部 （医学科）	面接	面接は，個人面接とし，評価は段階評価する。	
医学部 （保健学科）	面接	面接は，個人面接で評価は点数化する。	
歯学部	面接	面接は，個人面接とし，評価は段階評価する。	
薬学部	面接	面接は，複数の面接員が行い，薬学に対する志望動機及び理由，論理性，意欲，科学的知識，適性等を総合的に5段階評価（5～1）して採点する。	
情報データ科学部 （仮称）	外国人留学生入試 A（一般枠）	小テスト （筆記試験）	高等学校程度の数学（特に代数，微積分，確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。
		面接 （口述試験）	面接は，複数の面接員による個人面接を行う。英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
	外国人留学生入試 B（推薦枠）	小テスト （筆記試験）	高等学校程度の数学（特に代数，微積分，確率・統計）を出題し基礎学力を評価する。
		面接 （口述試験）	面接は，複数の面接員による個人面接を行う。英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
	外国人留学生入試 C（国際バカロレア枠）	面接 （口述試験）	面接は，複数の面接員による個人面接を行う。英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。 また，I B最終試験6科目の成績評価証明書，自己推薦書を点数化し，面接の評価に加算する。
	工学部	面接	面接（複数の面接担当者による個人面接を行う。）では英語能力並びに志望動機，勉学意欲，基礎知識，社会性，修学状況等の評価項目に従い点数化する。
環境科学部	小論文	課題に対する理解力，考察力等並びに日本語による記述力，表現力等を評価し点数化する。	
	面接	面接では，日本語の会話能力並びに環境への関心度，意欲・積極性，思考力，英語能力等から判断し評価する。点数化せず，段階評価する。	
水産学部	面接	複数の面接員による個人面接を行う。提出された書類（日本留学試験の成績通知書等）を参考に，志望動機，学部への関心，将来展望等についての質疑応答及び学力素養に関わる口頭による試問を行い，入学への関心度と学力素養について総合的に評価する。	

※ 教育学部の教科及び実技検査（体育）に係る採点・評価基準は一般入試（前期日程）と同じである。

※ 医学部，歯学部，薬学部の教科に係る採点・評価基準は一般入試（前期日程）と同じである。

合 否 判 定 基 準 [一 般 入 試]

[前期日程]

学部名	合 否 判 定 基 準	
多文化社会学部	<p>(1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上の者又は、次の①と②の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>①大学入試センター試験の外国語の得点率が75%以上</p> <p>②多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた3教科3科目又は3教科4科目の得点を、多文化社会学部が定める前期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中75点以上（75%以上の得点率）</p> <p>(2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験（本試験）平均点（中間集計その2）における英語の平均点（筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算）が、115点を下回る場合は、(1)の得点率（英語に限る。）を見直すことがある。</p> <p>なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、令和2年1月24日頃に長崎大学ホームページ（入試情報サイト）で発表する。</p> <p>(3) TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定（英検）準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版) 1140点以上、GTEC(3技能版) 700点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱う。よって第1段階選抜の合格者とする。</p> <p>(4) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合格者を決定する。</p> <p>(5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(6) 批判的・論理的思考力テスト（総合問題）において、評価が著しく低い者は、大学入試センター試験等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(7) 面接において、評価が著しく低い者は、大学入試センター試験等の成績にかかわらず不合格とすることがある。（オランダ特別コースのみ）</p>	
教育学部	<p>(1) いずれのコース、系も、大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合否を決定する。（中学校教育コース理系における合格者の入学後に専攻する教科は、P21「②入学者選抜方法等 イ」の項を参照のこと。）</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p> <p>(3) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点が50%未満の者は不合格とする。</p>	
経済学部	<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点により順位づけする。</p> <p>(2) 配点Aで110位以内にある者をまず合格者とする。次に、配点Aの合格者を除いた受験者の中から配点Bでの高得点順に合格者を決定する。ただし、配点A及びBにおいて、合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>	
医学部	医学科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査の得点及び面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①面接の得点が上位の者</p> <p>②個別学力検査の得点が上位の者</p> <p>③個別学力検査の数学の得点が上位の者</p> <p>④個別学力検査の外国語の得点が上位の者</p>
	保健学科	<p>(1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等（外国語）の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①個別学力検査の外国語の得点が上位の者</p> <p>②面接の得点が上位の者</p>
歯学部	<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等（数学又は理科、外国語（必須）の2教科）の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①大学入試センター試験の数学の得点が上位の者</p> <p>②大学入試センター試験の外国語の得点が上位の者</p>	
薬学部	<p>(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>	
学部情報データ科（仮称）	<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①個別学力検査等の得点が上位の者</p> <p>②個別学力検査等の数学の得点が上位の者</p> <p>③大学入試センター試験の数学の得点が上位の者</p>	
工学部	<p>(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。（合格者のコース決定方法は、P21「②入学者選抜方法等 キ」の項を参照のこと。）</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>①個別学力検査等の得点が上位の者</p> <p>②個別学力検査等の数学の得点が上位の者</p> <p>③大学入試センター試験の数学の得点が上位の者</p>	

学部名	合 否 判 定 基 準
環境科学部	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。特定科目の成績重視は、行っていない。
水産学部	(1) 大学入試センター試験を資格試験的に利用する。 (2) 個別学力検査等の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。 (大学入試センター試験の得点は合否判定には利用しない。) (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

〔後期日程〕

学部名	合 否 判 定 基 準
多文化社会学部	(1) 大学入試センター試験の外国語の得点率が85%以上の者又は、次の①と②の両方を満たした者は第1段階選抜の合格者とする。 ①大学入試センター試験の外国語の得点率が80%以上 ②多文化社会学部が指定する大学入試センター試験の教科・科目のうち、外国語を除いた2教科2科目の得点を、多文化社会学部が定める後期日程の配点比率に換算した合計点100点満点中80点以上(80%以上の得点率) (2) (1)にかかわらず、大学入試センターが発表する大学入試センター試験(本試験)平均点(中間集計その2)における英語の平均点(筆記試験とリスニングテストの平均点の合計を200点満点に換算)が、115点を下回る場合は、(1)の得点率(英語に限る。)を見直すことがある。 なお、得点率の見直しの有無及び見直し後の得点率は、令和2年1月24日頃に長崎大学ホームページ(入試情報サイト)で発表する。 (3) TOEFL iBT 61点以上、TOEIC L&R 730点以上、TOEIC L&R+TOEIC S&W 1000点以上、実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC(4技能版)1140点以上、GTEC(3技能版)700点以上又はTEAP 334点以上のいずれかのスコア・級を有する者で出願時に申請したものは、大学入試センター試験の外国語の得点を満点として取り扱う。よって第1段階選抜の合格者とする。 (4) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合格者を決定する。 (5) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (6) 小論文又は面接において、評価が著しく低い者は、大学入試センター試験等の成績にかかわらず不合格とすることがある。
教育学部	(1) いずれのコースも、大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (3) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点が50%未満の者は不合格とする。
経済学部	(1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
医学部	保健学科 (1) 大学入試センター試験の得点、個別学力検査等(小論文及び面接)の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等(小論文)の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①小論文の成績が上位の者 ②面接の成績が上位の者
歯学部	(1) 大学入試センター試験及び小論文の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。 ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び小論文の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ①大学入試センター試験の数学の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の外国語の得点が上位の者
薬学部	薬学科 (1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	薬科学科 (1) 大学入試センター試験と個別学力検査等の総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

学部名	合 否 判 定 基 準
情報データ科 (仮称)	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点が50%以下の者は不合格とする。 (2) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 (3) 総得点が同点の場合は、次の順序で順位を決定する。 ①個別学力検査等の数学の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の数学の得点が上位の者
工学部	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点が50%以下の者は不合格とする。 (2) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等の得点との総得点の高い順に合格者を決定する。 (合格者のコース決定方法は、P21「②入学者選抜方法等 キ」の項を参照のこと。) (3) 総得点が同点の場合は、次の順序で順位を決定する。 ①総合問題の得点が上位の者 ②大学入試センター試験の数学の得点が上位の者 ③大学入試センター試験の理科の得点が上位の者
環境科学部	(1) 大学入試センター試験の得点と個別学力検査等(面接)の得点との総得点で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
水産学部	(1) 大学入試センター試験及び面接の成績の総得点で順位を決め、高得点順に合格者とする。 ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験の成績にかかわらず不合格とすることがある。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

合 否 判 定 基 準 [A O 入 試]

学部	区分	合 否 判 定 基 準 (第 2 次 選 考)
多文化社会学部	AO入試Ⅰ (一般枠)	(1) 筆記試験と面接の得点を総合して、高得点順に合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。 (3) 筆記試験又は面接において、評価が著しく低い者、あるいは総得点が一定の基準に達していない者については、不合格とすることがある。
	AO入試Ⅰ (グローバル枠) (国際バカロレア枠)	
教育学部	AO入試Ⅰ (小学校教育コース)	(1) いずれのコースも自己表現、課題論文及び面接の総得点で合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
	AO入試Ⅰ (特別支援教育コース)	
経済学部	AO入試Ⅰ・A (実践力枠)	(1) 課題論文及び個人面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、課題論文、個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は、その同点者全員を合格とする。
	AO入試Ⅰ・B (グローバル枠)	
歯学部	AO入試Ⅱ	(1) 課題論文、面接及びセンター試験の総得点で順位を決め、高得点順に合格者を決定する。ただし、原則として、課題論文の得点率が60%、面接の得点率が60%及びセンター試験の総合計の得点率が70%に満たない場合は、不合格とする。 (2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。 ① センター試験の総合計の得点が上位の者 ② 課題論文の得点が上位の者 ③ 面接の得点が上位の者
工学部	AO入試Ⅰ・A	適性評価と基礎学力評価の合計点が140点以上である者を対象に、合計点の高い順に合格者を決定する。ただし、適正評価の点数が著しく低い場合は、不合格とする。
	AO入試Ⅰ・B	
	AO入試Ⅱ	総合点300点以上の者を対象に、総合点の高い順に合格者を決定する。ただし、面接の点数が著しく低い場合は、不合格とする。
水産学部	AO入試Ⅰ	課題論文、小テスト及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、課題論文、小テストの成績にかかわらず不合格とすることがある。

合否判定基準〔推薦入試〕

学部名	合 否 判 定 基 準
教育学部	<p>(1) 各コース・系が指定する検査の総合計の得点率が60%以上の者について総得点で合否を決定する。 (中学校教育コース文系及び理系においては、出願時に届け出た入学後に専攻を希望する教科ごとに合格者を決定する。)</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
経済学部	<p>(1) 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>
医学部	<p>(1) 【推薦入試A/B】</p> <p>① 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>② 出願時に届け出た第1希望及び第2希望に基づき、第1希望を優先して、次のように合格者を決定する。 まず、第1希望について、①の総得点の高い順に合格者を決定する。第1希望の合格者で募集人員に満たない場合は、その不足した人員を第2希望の受験者を対象に①の総得点の高い順に合格者を決定する。</p> <p>③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>【推薦入試C】 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績及び面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合は不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>【推薦入試D】 高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入試センター試験の成績、日本語による面接及び英語による面接の評価を総合して合格者を決定する。</p> <p>① 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として80%に満たない場合、あるいは大学入試センター試験外国語科目の得点率が、原則として85%に満たない場合は不合格とする。</p> <p>② 日本語及び英語による面接のいずれかの評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、次の順序で決定する。</p> <p>① 面接（推薦入試Dにおいては、日本語による面接）の得点が上位の者</p> <p>② 調査書・推薦書・本人自筆の志望理由書の得点が上位の者</p> <p>③ 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点が上位の者</p>
保健学科	<p>(1) 提出された書類等を参考にしつつ、小論文及び面接の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 ただし、小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者については、個別に審査して合否を決定する。</p> <p>(2) 総得点が同点の場合は、小論文の成績を優先し、順位を決定する。</p>
薬学部	<p>(1) 調査書、推薦書、志望理由書、大学入試センター試験と面接の総得点で決定する。 ただし、大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として薬学科は80%、薬科学科は70%に満たない場合、不合格とする。 また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とすることがある。</p> <p>(2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。</p>

学部名		合 否 判 定 基 準
情報データ科学部 (仮称)	推薦入試Ⅰ	(1) 調査書、推薦書、志望理由書及び面接（口述試験）の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 ただし、面接の評価が著しく低い場合は、不合格とする。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	推薦入試Ⅱ	(1) 大学入試センター試験の成績、課題作文及び面接の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 (2) 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として 60%未満の者は不合格とする。 ただし、面接の評価が著しく低い場合には、大学入試センター試験及び個別学力検査等の成績にかかわらず、不合格とする。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
環境科学部	推薦入試Ⅱ①	(1) 大学入試センター試験の得点、調査書の評価及び面接の評価の合計点を高得点順に序列化し、合格者を決定する。 (2) 大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が原則として 60%未満の者は不合格とする。 (3) 面接の評価が 50 点以下の者は不合格とする。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
	推薦入試Ⅱ②	(1) 大学入試センター試験の得点、調査書の評価及び面接の評価の合計点を高得点順に序列化し、合格者を決定する。 (2) 大学入試センター試験、調査書及び面接の総合計の得点率が原則として 60%未満の者は不合格とする。 (3) 大学入試センター試験の最高得点科目の得点率が原則として 60%未満の者は不合格とする。 (4) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
水産学部	水産学科	(1) 各面接員による評価を点数化し、合計する。 (2) 合計点を高得点順に並べ、高得点順に合格者とする。ただし、面接の評価が著しく低い場合には、個別に審査して合否を決定する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。

合否判定基準〔帰国子女入試〕

学部名		合 否 判 定 基 準
多文化社会学部		(1) 面接の得点率が 70%以上の者を対象に、得点の高い順に合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
工学部		(1) 面接の得点が 70 点以上の者を対象に、得点の高い順に志望コースごとの合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
水産学部		面接と小論文の双方とも得点が 60%以上の者について、得点の高い順に合格者とする。

合否判定基準〔社会人入試〕

学部名		合 否 判 定 基 準
経済学部		(1) 小論文及び面接の総得点により順位づけし、高得点順に合格者を決定する。ただし、小論文、面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合、その同点者全員を合格とする。
医学部	保健学科	(1) 提出された書類等を参考にしつつ、小論文及び面接の成績の総得点で判定し、合格者を決定する。 ただし、小論文、面接のいずれかの得点が著しく低い者、あるいは総得点が一定の基準に達していない者については個別に審査して合否を決定する。 (2) 総得点が同点の場合は、小論文の成績を優先し順位を決定する。

合 否 判 定 基 準 [外 国 人 留 学 生 入 試]

学部名	合 否 判 定 基 準
多文化社会学部	提出された書類 (TOEFL 等の成績, 日本留学試験の成績通知書等) 及び面接の得点を総合して, 合格者を決定する。
教育学部	(1) 小学校教育コース, 幼児教育コース及び特別支援教育コースは, 面接の結果と, 提出された資料 (日本留学試験の成績通知書) を参考に, 総合的に合格者を決定する。 (2) 中学校教育コースは, 個別学力検査等と日本留学試験の総得点で合否を決定する。 (中学校教育コース文系及び理系においては, 出願時に届け出た入学後に専攻を希望する教科ごとに合格者を決定する。) (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合, その同点者全員を合格とする。
経済学部	(1) 日本留学試験 (100 点), 小論文 (40 点) 及び面接 (60 点) の総得点により順位づけし, 高得点順に合格者を決定する。ただし, 小論文, 面接のいずれかの点数が著しく低い者については個別に審査して合否を決定する。 (2) 面接においては TOEFL iBT 又は TOEIC L&R の成績も評価する。 (3) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合, その同点者全員を合格とする。
医学部 (医学科)	日本留学試験, 個別学力検査 (数学・理科・外国語) の得点及び面接の評価を総合して, 合格者を決定する。
医学部 (保健学科)	日本留学試験, 個別学力検査 (外国語) 及び面接の得点を総合して, 合格者を決定する。
歯学部	日本留学試験, 個別学力検査 (数学又は理科, 外国語 (必須) の 2 教科) の得点及び面接の評価を総合して, 合格者を決定する。
薬学部	日本留学試験, 個別学力検査 (数学・理科・外国語) の得点及び面接の試験結果を総合的に評価して合格者を決定する。
情報データ科学部 (仮称)	外国人留学生入試 A (一般枠) (1) 日本留学試験 (100 点), 小テスト (100 点満点) 及び面接 (100 点満点) の得点を総合し, 総合得点率が 60%以上の者を対象に, 合格者を決定する。ただし, 面接の評価が著しく低い場合は, 不合格とする。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は, その同点者全員を合格とする。 外国人留学生入試 B (推薦枠) (1) 出願書類 (成績証明書, 志望理由書) (100 点満点), 小テスト (100 点満点) 及び面接 (100 点満点) の得点を総合し, 総合得点率が 60%以上の者を対象に, 合格者を決定する。ただし, 面接の評価が著しく低い場合は, 不合格とする。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は, その同点者全員を合格とする。 外国人留学生入試 C (国際バカロレア枠) (1) 出願書類 (IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書, 志望理由書) (100 点満点) 及び面接 (100 点満点) の得点を総合し, 合格者を決定する。ただし, 面接の評価が著しく低い場合は, 不合格とする。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は, その同点者全員を合格とする。
工学部	(1) 日本留学試験 (100 点) 及び面接 (200 点) の得点を合計し, 総合計の得点率が 70%以上の者を対象に, 総得点の高い順に志望コースごとの合格者を決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は, その同点者全員を合格とする。
環境科学部	(1) 日本留学試験及び小論文の総得点と面接で決定する。 (2) 合格者の最下位者が同点で複数いる場合は, その同点者全員を合格とする。 (3) 小論文の配点は 100 点とし, 得点が 50 点未満の者は不合格とする。 (4) 面接の評価が著しく低い場合には, 総得点にかかわらず不合格とすることがある。
水産学部	面接員による評点を合計し, 高得点順に並べる。合計点が満点の 70%以上の者を対象にして, 上位者から合格者とする。

10. 平成31年度長崎大学入学者選抜状況

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者	合格者 A/B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒	新卒既卒別		地域別			
										男	女		既卒	その他	県内	県外		
多文化 社会	前期日程	国際公共政策コース、社会福祉コース、共生文化コース、国際コミュニケーションコース	174	167	89	1.9	9	0	80	35	45	75	5	0	10	70	九州・沖縄	
		オランダ特別コース	3	14	7	0.0	0	0	0	6	3	3	6	0	0	0	0	52
	後期日程	小計	177	181	96	2.0	9	0	86	38	48	81	5	0	11	75	53	
		国際公共政策コース、社会福祉コース、共生文化コース、国際コミュニケーションコース	128	44	10	4.4	0	0	10	3	7	10	0	0	0	1	9	8
	AO I	一般枠	5	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		フローナル・国際バカロレア枠	6	6	5	1.2	0	0	5	5	0	5	0	0	0	1	4	4
	小計	1	1	1	1.0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0
	外国人留学生	1	1	1	1.0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1
	小計	15	9	8	1.1	0	0	0	8	0	8	8	0	0	0	1	7	6
	合計	4	3	3	1.0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	2	0	0	0
教育	前期日程	小学校教育コース	339	238	118	2.0	12	0	100	42	64	99	5	2	13	83	67	
		国語専攻	143	139	55	2.5	1	0	54	22	32	49	5	0	40	14	52	
	後期日程	小計	5	12	7	2.4	0	0	5	2	3	5	0	0	3	2	5	
		社会学専攻	11	11	5	2.2	0	0	3	2	2	5	0	0	3	2	5	
	AO I	中学校教育コース	7	13	7	1.9	0	0	7	6	1	7	0	0	6	1	7	
		国語専攻	16	14	8	1.8	1	0	1	6	1	6	1	0	2	5	6	
	小計	社会学専攻	4	16	5	3.0	0	0	5	1	4	4	1	0	3	2	5	
		実務専攻	6	6	4	1.5	0	0	4	4	2	3	1	0	3	1	4	
	推薦 I	依体体育専攻	5	13	5	2.4	0	0	5	2	3	4	1	0	4	1	4	
		技術専攻	3	6	3	1.7	0	0	3	3	2	3	0	0	2	2	3	
小計	家庭専攻	8	8	3	2.7	0	0	3	3	1	3	0	0	2	1	3		
	英語専攻	10	10	5	2.0	1	0	4	4	2	4	0	0	2	2	4		
合計	幼稚園教育コース	22	22	13	1.7	0	0	13	0	13	13	0	0	3	10	11		
	特別支援教育コース	7	10	3	1.4	0	0	3	2	2	5	1	0	7	0	7		
後期日程	小学校教育コース	125	277	123	2.2	3	0	122	51	71	112	10	0	80	42	116		
	国語専攻	165	68	18	3.8	0	0	18	6	12	13	3	0	11	7	18		
AO I	社会学専攻	3	35	3	3.7	0	0	3	3	0	3	0	0	2	1	3		
	特別支援教育コース	18	200	21	3.8	0	0	21	6	15	13	4	0	13	8	21		
小計	小学校教育コース	35	56	35	1.6	0	0	35	8	27	35	0	0	14	21	31		
	推薦B	5	14	4	2.8	0	0	5	5	0	5	0	0	5	0	5		
推薦 I	国語専攻	3	10	4	2.5	0	0	4	0	4	4	0	0	2	1	3		
	社会学専攻	12	12	6	2.0	0	0	6	2	2	2	0	0	2	1	2		
小計	国語専攻	3	7	3	2.3	0	0	3	2	2	3	0	0	2	1	3		
	社会学専攻	7	7	3	1.7	0	0	3	0	3	3	0	0	2	1	3		
AO I	国語専攻	1	3	1	3.0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1		
	社会学専攻	8	8	2	4.0	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	2		
小計	依体体育専攻	2	6	2	3.0	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	2		
	技術専攻	2	8	2	4.0	0	0	2	2	0	2	0	0	2	0	2		
合計	家庭専攻	3	14	4	3.5	0	0	4	4	0	4	0	0	4	0	4		
	英語専攻	5	32	5	6.4	0	0	5	5	0	5	0	0	2	3	5		
AO I	幼稚園教育コース	4	9	4	2.3	0	0	4	4	0	4	0	0	2	2	3		
	特別支援教育コース	71	197	73	2.7	0	0	73	14	59	73	0	0	41	32	68		
小計	小学校教育コース	15	50	15	3.3	0	0	15	0	15	14	1	0	8	7	13		
	幼稚園教育コース	10	17	10	1.7	0	0	10	0	10	10	0	0	3	7	10		
合計	小学校教育コース	1	10	1	10.0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1		
	特別支援教育コース	26	77	26	3.0	0	0	26	0	26	25	1	0	12	14	24		
AO I	外国人留学生	2	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	小計	240	764	245	2.6	3	0	242	71	171	227	15	0	146	96	229		
推薦 I	前期日程	190	387	188	1.8	19	0	188	138	50	160	28	0	64	124	171		
	後期日程	40	255	207	2.0	0	0	46	33	17	36	9	0	16	20	44		
小計	推薦B	20	36	20	1.8	0	0	20	9	11	20	0	0	5	15	18		
	推薦 I	40	86	53	1.6	11	0	42	25	17	32	10	0	15	21	30		
AO I	11月期	20	46	22	2.0	0	0	22	12	10	20	2	0	9	13	17		
	3月期	60	132	75	1.7	11	0	64	37	27	52	12	0	24	40	47		
合計	小計	5	38	6	6.3	0	0	6	3	3	6	0	0	2	4	5		
	クローバル枠	10	19	10	1.9	0	0	10	5	5	10	0	0	6	10	10		
AO I	外国人留学生	15	57	16	3.6	0	0	16	8	8	16	0	0	6	10	15		
	小計	25	15	11	1.4	4	0	7	7	4	7	0	0	7	0	7		
合計	325	892	723	1.9	41	0	340	230	110	284	49	7	115	225	293			

入学
選抜
状況

学部	日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別		地域別		
										男	女	新卒	既卒	県内	県外	九州・沖縄
医学	医学科	76	380	340	76	4.5	2	2	76	59	17	61	1	6	70	43
	前期日程		15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	保健学科	48	152	149	54	2.8	5	1	50	6	44	42	0	32	18	47
	理学療法専攻	10	54	54	11	4.9	1	1	11	5	6	7	0	1	10	7
	作業療法専攻	10	46	43	12	3.6	0	0	12	2	10	11	0	5	7	12
	小計	144	647	586	153	3.8	8	4	146	72	74	74	1	44	105	106
	後期日程		10	109	42	12	3.5	2	10	10	10	5	0	3	7	10
	保健学科	9	33	41	5	8.2	1	1	5	4	3	3	0	2	4	3
	理学療法専攻	3	47	24	5	4.3	1	0	4	1	3	3	0	2	4	3
	作業療法専攻	20	229	107	22	4.9	4	1	19	5	14	11	0	6	13	16
	小計	15	40	38	15	2.5	0	0	15	10	5	9	0	15	0	15
	推薦A	15	18	16	15	1.1	0	0	15	10	5	9	0	15	0	15
	推薦B	2	2	2	2	1.0	0	0	2	2	2	2	0	2	2	2
	推薦C(佐賀県枠)	2	4	4	2	2.0	0	0	2	2	2	2	0	2	2	2
	推薦D	10	33	28	10	2.8	0	0	10	5	5	6	0	3	7	4
推薦	8	31	31	8	3.9	0	0	8	8	8	8	0	4	7	4	
保健学科	2	9	9	2	4.5	0	0	2	2	2	2	0	2	2	2	
理学療法専攻	2	3	3	2	1.5	0	0	2	2	2	2	0	2	2	2	
作業療法専攻	2	7	7	2	3.5	0	0	2	2	2	2	0	2	2	2	
小計	58	147	138	58	2.4	0	0	58	23	35	40	18	39	19	50	
推薦専攻	2	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
推薦C(佐賀県枠)	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
推薦D	1	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
推薦	4	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
外国人留学生	若干	1,023	831	233	3.6	12	5	226	100	126	125	100	89	137	175	
前期日程		33	167	153	34	4.5	3	34	16	18	10	24	11	23	23	
後期日程		7	137	72	7	10.3	1	1	7	3	4	2	5	7	3	
A0 II		10	35	35	9	3.9	0	9	9	6	3	6	0	5	4	
外国人留学生	若干	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		50	339	260	50	5.2	4	4	50	25	25	35	0	16	34	
前期日程		30	93	75	30	2.5	0	0	30	15	15	15	0	8	22	
後期日程		21	70	65	35	1.9	10	0	28	14	11	14	0	8	16	
小計		51	163	140	65	2.2	10	0	58	29	26	29	0	16	40	
薬学科		6	143	41	9	4.6	3	0	6	3	3	4	0	6	5	
薬科学科		15	108	49	30	1.6	13	0	17	12	5	9	0	0	0	
小計		21	262	90	39	2.3	16	0	23	15	8	12	0	5	12	
推薦 II		4	33	22	4	5.5	0	4	4	1	3	2	0	3	4	
薬科学科		4	2	2	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		8	35	24	4	6.0	0	4	4	1	3	2	0	3	4	
外国人留学生	若干	3	1	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計		80	463	255	108	2.4	26	0	82	45	37	42	0	24	58	
前期日程		263	466	463	306	1.5	23	0	283	251	32	211	1	122	161	
後期日程		50	352	135	76	1.8	17	0	59	51	8	39	0	11	48	
小計		4	15	15	4	3.8	0	0	4	2	2	2	0	3	4	
推薦 I		5	23	23	4	0.0	0	0	4	0	0	4	0	0	0	
推薦 II		10	23	23	12	5.8	0	0	12	7	5	11	0	7	4	
A0 I		4	11	11	4	2.8	0	0	4	2	2	4	0	2	4	
推薦 I		6	10	10	6	1.7	0	0	6	4	2	6	0	5	6	
推薦 II		6	13	13	7	1.9	0	0	7	6	1	7	0	5	6	
A0		3	2	2	2	1.0	0	2	2	2	2	2	0	2	2	
推薦 I		2	5	5	1	5.0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	
推薦 II		2	2	2	1	1.0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	
推薦		5	6	6	2	1.0	0	0	2	2	2	2	0	2	2	
推薦 I		2	6	6	2	3.0	0	0	2	2	2	2	0	1	1	
推薦 II		4	11	11	1	11.0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	
A0 II		5	10	10	2	5.0	0	0	2	1	1	2	0	2	2	
推薦 I		2	5	5	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
推薦 II		3	5	5	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計		67	151	151	48	3.1	0	0	48	33	15	42	0	27	44	
推薦 I		2	1	1	1	1.0	0	0	1	1	1	1	0	1	1	
推薦 II		48	790	40	13	3.1	9	0	4	2	2	0	4	0	4	
外国人留学生	若干	380	1,039	700	444	1.8	49	0	395	338	57	292	6	160	235	
合計																

学部・日程・学科等	募集人員	志願者	受験者 A	合格者 B	競争率 A/B	辞退者	追加合格者	入学者	男女別		新卒既卒別			地域別		
									男	女	新卒	既卒	その他	県内	県外	九州・沖縄
環境 機 科 学	前期日程	40	138	127	49	2.6	8	41	21	20	34	7	0	20	21	37
	選択方法A (文系受験)		86	77	46	1.7	4	0	42	32	10	9	0	16	26	33
	選択方法B (理系受験)		40	44	16	2.1	12	0	83	53	30	67	16	36	47	70
	小計	80	224	204	95	2.1	3	0	13	6	7	12	1	7	6	12
	後期日程	13	96	44	16	2.8	3	0	13	7	6	9	4	2	11	8
	選択方法A (文系受験)		13	84	28	1.9	2	0	13	7	6	9	4	2	11	8
	選択方法B (理系受験)		26	180	72	2.3	5	0	26	13	13	21	5	0	17	20
	小計	6	17	15	6	2.5	0	0	6	2	4	5	1	0	4	2
	推薦Ⅰ	6	14	14	6	2.3	0	0	6	4	2	5	1	0	4	4
	推薦Ⅱ	4	6	5	4	1.3	0	0	4	2	2	4	0	0	4	3
外国人留学生	16	37	34	16	2.1	0	0	16	8	8	14	2	0	10	12	
合計	130	461	322	151	2.1	20	0	131	80	51	102	23	6	6	102	
水産	前期日程	45	246	240	54	4.4	4	0	50	41	9	39	10	1	9	41
	後期日程	17	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	推薦Ⅰ	45	125	60	47	1.3	5	0	42	31	11	30	12	0	5	37
	推薦Ⅱ	15	65	65	15	4.3	0	0	15	8	7	15	0	0	4	11
	AOⅠ	5	12	12	5	2.4	0	0	5	5	0	5	0	0	1	4
	AOⅡ	3	3	3	0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人留学生	6	6	4	2	2.0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
	合計	110	474	384	123	3.1	10	0	113	86	27	89	22	2	19	84
	前期日程	1,006	2,817	2,625	1,135	2.3	92	7	1,050	689	361	783	264	3	393	697
	後期日程	237	1,873	765	305	2.5	55	2	232	160	92	177	75	0	66	186
推薦	188	517	494	186	2.7	0	0	186	63	123	164	22	0	98	158	
社参人	64	132	128	75	1.7	11	0	64	37	27	52	12	0	24	40	
AO	138	341	341	112	3.0	0	0	112	52	60	99	13	0	52	60	
外国人留学生	8	108	75	38	2.5	1	0	20	15	5	0	0	0	0	1	
合計	1,641	5,794	4,433	1,853	2.4	177	9	1,685	1,017	668	1,275	386	24	633	1,052	

注1) 多文化社会学部(前期日程・後期日程)、医学部医学科(前期日程)、医学部薬学科(後期日程)、薬学部薬学科(前期日程)の志願者数は、第1段階選抜の合格者を上欄に、不合格者を下欄に表示した。
注2) 志願者には、出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による受験資格無資格者であることが判明したものは含まない。

平成31年度特別入試入学者選抜状況

1. アドミッション・オフィス入試(AO入試)

○AO入試Ⅰ(大学入試センター試験を課さない)

学部	課程等	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	一般枠 国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	8	6	5	5	5
		オランダ特別	2	1	1	1
	グローバル・国際バカロレア枠 国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	4	1	1	1	1
		オランダ特別	1	1	1	1
	計	15	9	8	8	8
教育学部	小学校教育コース	15	50	30	15	15
	幼稚園教育コース	10	17	17	10	10
	特別支援教育コース	1	10	5	1	1
	計	26	77	52	26	26
経済学部	実践力枠	5	38	11	6	6
	グローバル枠	10	19	17	10	10
	計	15	57	28	16	16
工学部	機械工学コースA	-	-	-	-	-
	機械工学コースB	6	10	10	6	6
	電気電子工学コースA	4	15	15	4	4
	電気電子工学コースB	6	13	13	7	7
	情報工学コースA	1	3	3	0	0
	情報工学コースB	3	2	2	2	2
	構造工学コースA	5	23	15	4	4
	構造工学コースB	2	5	5	1	1
	社会環境デザイン工学コースA	10	23	23	12	12
	社会環境デザイン工学コースB	3	1	1	1	1
	化学・物質工学コースA	4	11	11	4	4
	化学・物質工学コースB	2	2	2	2	2
	計	46	108	100	43	43
水産学部	水産学科	5	12	12	5	5
合計		107	263	200	98	98

○AO入試Ⅱ(大学入試センター試験を課す)

学部	課程等	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数	入学者数
歯学部	歯学科	10	35	30	9	9
工学部	機械工学コース	5	6	6	2	2
	電気電子工学コース	2	6	6	0	0
	情報工学コース	4	11	11	1	1
	構造工学コース	5	10	10	2	2
	社会環境デザイン工学コース	2	5	5	0	0
	化学・物質工学コース	3	5	5	0	0
	計	21	43	43	5	5
合計		31	78	73	14	14

○AO入試総合計

学部	課程等	募集人員	志願者数	第1次選考合格者数	合格者数	入学者数
全学部		138	341	273	112	112

2. 推薦入試

○推薦入試Ⅰ（大学入試センター試験を課さない）

学 部 ・ 学 科 等				募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース	推薦入試A	35	56	1.6	56	35	35
			推薦入試B	5	14	2.8	14	5	5
			(小 計)	40	70	1.8	70	40	40
	学校教育教員養成課程	中学校教育コース	国語専攻	3	10	3.3	10	4	4
			社会専攻	3	11	3.7	11	3	3
			数学専攻	2	12	6.0	12	2	2
			理科専攻	3	7	2.3	7	3	3
			音楽専攻	1	7	7.0	7	1	1
			美術専攻	1	3	3.0	3	1	1
			保健体育専攻	2	8	4.0	8	2	2
			技術専攻	2	6	3.0	6	2	2
			家庭専攻	2	8	4.0	8	2	2
			英語専攻	3	14	4.7	14	4	4
			(小 計)	22	86	3.9	86	24	24
	幼稚園教育コース			5	32	6.4	32	5	5
特別支援教育コース			4	9	2.3	9	4	4	
計			71	197	2.8	197	73	73	
経済学部	総合経済学科(昼間コース)			20	36	1.8	36	20	20
医学部	保健学科	看護学専攻	推薦入試①	8	31	3.9	31	8	8
			推薦入試②	2	7	3.5	7	2	2
		理学療法専攻		2	9	4.5	9	2	2
		作業療法専攻		2	3	1.5	3	2	2
	計			14	50	3.6	50	14	14
水産学部	水産学科			15	65	4.3	65	15	15
合 計				120	348	2.9	348	122	122

○推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）

学 部 ・ 学 科 等				募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
医学部	医 学 科	推薦入試A		15	40	2.7	38	15	15
		推薦入試B		15	18	1.2	16	15	15
		推薦入試C(佐賀)		2	2	1.0	2	2	2
		推薦入試C(宮崎)		2	4	2.0	4	2	2
		推薦入試D		10	33	3.3	28	10	10
	計			44	97	2.2	88	44	44
薬学部	薬 学 科			4	33	8.3	22	4	4
	薬 科 学 科			4	2	0.5	2	0	0
	計			8	35	4.4	24	4	4
環境科学部	環境科学科	推薦入試①A(文系)		6	17	2.8	15	6	6
		推薦入試①B(理系)		6	14	2.3	14	6	6
		推薦入試②		4	6	1.5	5	4	4
	計			16	37	2.3	34	16	16
合 計				68	169	2.5	146	64	64

○推薦入試合計

学 部 ・ 学 科 等				募集人員	志願者数	志願倍率	受験者数	合格者数	入学者数
全学部				188	517	2.8	494	186	186

3. 帰国子女入試

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	国際公共政策他	若干人	1	1	1	0
	オランダ特別コース	若干人	0	0	0	0
	計		1	1	1	0
工学部	機械工学コース	若干人	1	0	0	0
	電気電子工学コース	若干人	0	0	0	0
	情報工学コース	若干人	0	0	0	0
	構造工学コース	若干人	0	0	0	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	0	0	0	0
	化学・物質工学コース	若干人	1	1	1	1
	計		2	1	1	1
水産学部	水産学科	若干人	3	3	0	0
合 計			6	5	2	1

4-1. 社会人入試(11月期募集)

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
経済学部	(夜間主コース)	40	86	84	53	42	
医学部	保健学科	看護学専攻	2	0	0	0	0
		理学療法学専攻	1	0	0	0	0
		作業療法学専攻	1	0	0	0	0
		計	4	0	0	0	0
合 計		44	86	84	53	42	

4-2. 社会人入試(3月期募集)

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済学部	(夜間主コース)	20	46	44	22	22

5. 外国人留学生入試

学 部	学科等	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
多文化社会学部	多文化社会学科	若干人	4	3	3	2
教育学部	学校教育教員養成課程	若干人	2	0	0	0
経済学部	総合経済学科	若干人	25	15	11	7
医学部	医学科	若干人	0	0	0	0
	保健学科	若干人	0	0	0	0
	計		0	0	0	0
歯学部	歯学科	若干人	0	0	0	0
薬学部	薬学科	若干人	2	1	0	0
	薬科学科	若干人	1	0	0	0
	計		3	1	0	0
工学部	機械工学コース	若干人	13	12	3	1
	電気電子工学コース	若干人	5	5	2	0
	情報工学コース	若干人	15	10	3	1
	構造工学コース	若干人	1	1	0	0
	社会環境デザイン工学コース	若干人	7	6	3	2
	化学・物質工学コース	若干人	7	6	2	0
	計		48	40	13	4
環境科学部	環境科学科	8	20	12	9	6
水産学部	水産学科	若干人	6	4	2	1
合 計			108	75	38	20

11. 2021（令和3）年度長崎大学入学者選抜方法等の変更点について（予告）

2020年度に実施する2021年度入学者選抜方法の変更点については、昨年公表した平成31年度入学者選抜要項（大綱）において予告していたところですが、それ以降に決定・変更した内容について以下のとおりお知らせします。

1. 英語認定試験の活用

(1) 一般選抜（一般入試から名称変更）

大学入学共通テスト（以下「共通テスト」という。）の枠組みにおける5教科7科目の位置づけとして、大学入試センターが認定した英語の民間資格・検定試験（以下「英語認定試験」という。）を全志願者に課し、文部科学省が示すCEFR対照表の「A2」以上（多文化社会学部においては「B1」以上）を出願資格※とします。

なお、昨年公表しておりました平成31年度入学者選抜要項（大綱）において、「2021年度長崎大学入学者選抜方法の変更点」として予告しておりました英語認定試験の活用について、出願資格とするとともに、共通テストの英語科目の得点へ加点することとしていましたが、英語認定試験における様々な課題や懸念が示されている現状から、見直しを行う必要があると判断し、検討を行った結果、出願資格としてのみ活用し、加点による活用は行わないこととしました。

(2) 総合型選抜（AO入試から名称変更）、学校推薦型選抜（推薦入試から名称変更）

共通テストを課す総合型選抜Ⅱ及び学校推薦型選抜Ⅱのうち、共通テストの外国語を課す入学者選抜においては、英語認定試験を全志願者に課し、文部科学省が示すCEFR対照表の「A2」以上を出願資格※とします。

なお、加点による活用は行わないこととしました。

※ 原則として、大学入試センターの「大学入試英語成績提供システム」により提供される英語認定試験の結果を利用します。

2. 共通テストの記述式問題における試験結果の活用

共通テストの国語及び数学の記述式問題における試験結果は、次のように活用します。

<国語>

総合評価の段階別成績表示（5段階）の段階に応じて、マークシート方式の得点に加点します。

加点の最高点の割合は、マークシート方式の満点と合わせた国語全体の得点合計の2割とします。

（加点を含めた国語の得点合計を250点と想定した場合、加点の最高点は50点となります。）

<数学>

記述式問題にも配点がなされるため、従来のマークシート方式と同様の取り扱いとします。

3. 共通テストの指定教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目等

※今回の予告は令和元年6月現在の内容であり、今後変更の可能性もありますので、ご注意願います。

2021年度入学者選抜における共通テストの指定教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目等については、別掲1「大学入学共通テスト利用教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目（新旧対照表）」等でご確認ください。

4. 募集人員の変更

2021年度入学者選抜における「一般選抜」、「総合型選抜」、「学校推薦型選抜」の募集人員を別表のとおり変更します。

なお、主な変更内容は次のとおりです。

【教育学部】

(1)一般選抜（後期日程）を廃止し、その募集人員（小学校教育コース2人、特別支援教育コース3人）を一般選抜（前期日程）に加えます。

- (2) A O入試 I を総合型選抜 II へ変更し、特別支援教育コース（募集人員 1 人）の総合型選抜 II による募集を停止します。この停止した募集人員 1 人は一般選抜（前期日程）に加えます。（注 1）
- (3) 推薦入試 I を学校推薦型選抜 II へ変更し、中学校教育コース実技系（募集人員 1 人）の学校推薦型選抜 II による募集を停止します。この停止した募集人員 1 人は一般選抜（前期日程）に加えます。（注 1）

【経済学部】

A O入試 I（実践力枠・グローバル枠）を廃止し、総合型選抜 I（募集人員 5 人）及び総合型選抜 II（募集人員 10 人）を導入します。（注 1， 2）

【医学部保健学科】

推薦入試 I を学校推薦型選抜 II へ変更し、調査書を配点の対象とします。（注 1）

【歯学部】

A O入試 II を廃止し、新たに学校推薦型選抜 II を導入します。（注 1， 3）

【工学部】

(1) A O入試 I を総合型選抜 I として実施し、募集人員を以下のとおり変更します。

コース名	総合型選抜 I・A	総合型選抜 I・B
機械工学コース	0 人 → 0 人	6 人 → 7 人
電気電子工学コース	4 人 → 0 人	6 人 → 8 人
構造工学コース	5 人 → 0 人	2 人 → 2 人
社会環境デザイン工学コース	10 人 → 8 人	3 人 → 5 人
化学・物質工学コース	4 人 → 0 人	2 人 → 3 人
計	23 人 → 8 人	19 人 → 25 人

(2) 工学部の A O入試 II を廃止し、新たに学校推薦型選抜 II を導入します。（注 1， 4）

【水産学部】

推薦入試 I を学校推薦型選抜 II へ変更します。（注 1）

- (注 1) 共通テストの指定教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目等は別掲 2 参照
 (注 2) 経済学部の総合型選抜 I 及び総合型選抜 II の詳細は別掲 3 参照
 (注 3) 歯学部の学校推薦型選抜 II の詳細は別掲 4 参照
 (注 4) 工学部の学校推薦型選抜 II の詳細は別掲 5 参照

5. その他の変更点

【多文化社会学部】

(1) 一般選抜（前期日程・後期日程）及び総合型選抜 I（一般枠）において、利用可能な外国語検定試験のスコア「GTEC（3 技能版）700 点以上」を対象から外します。

(2) 外国人留学生入試の実施時期を次のとおり変更します。
 出願期間：10 月，試験日：11 月，合格者発表：12 月

【教育学部】

中学校教育コース文系の外国人留学生入試において、本学の学力検査等の選択科目を、「国語、数学、外国語から 1」から「国語、地歴・公民、外国語から 1」へ変更します。

【薬学部】

薬学科の一般選抜（後期日程）の 2 段階選抜について、次のとおり変更します。

- (旧)「薬学部が指定する大学入試センター試験の 3 教科 5 科目の合計点が 600 点満点中 480 点以上の者を第 1 段階選抜の合格者とする。」
 (新)「入学志願者が後期日程において、募集人員（6 人）の約 20 倍を超えた場合には、個別学力検査等を適切に実施することが極めて困難となるため、大学入学共通テストの成績により第 1 段階の選抜を行い、個別学力検査等の受験者を決定する。」

【工学部】

(1) 帰国子女入試の採点・評価基準を以下のとおり変更し、出願要件に外国語検定試験を追加し、スコアを英語能力の評価の参考とします。

○採点・評価基準：複数の面接担当者による個人面接を行う。提出された書類（成績証明書、志望理由書、履歴書、TOEFL等の成績）を参考に、英語能力並びに志望動機、勉学意欲、基礎知識、社会性、修学状況等の評価項目に従い100点満点で点数化する。

○出願要件：TOEFL iBT、改訂版 TOEFL ペーパー版テスト又は TOEIC L&R を受験していること。（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）

(2) 外国人留学生入試の出願要件に次の項目を追加し、スコアを英語能力の評価の参考とします。

○TOEFL iBT、改訂版 TOEFL ペーパー版テスト又は TOEIC L&R を受験していること。（ただし、出願期間最終日から過去2年以内に受験した外国語検定試験に限る。）

【環境科学部】

推薦入試Ⅱを学校推薦型選抜Ⅱへ変更し、学校推薦型選抜Ⅱ・①（普通科等）の出願要件に次の項目を追加し、共通テスト指定教科・科目から「外国語（英，独，仏，中，韓から1）」を外します。（注1）

○高校英語（※）の教科平均4.0以上の者又は文部科学省の示すCEFR対照表の「A2」以上の者

※コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰの教科平均。

なお、環境科学部の学校推薦型選抜Ⅱ・②（普通科等以外）については、共通テスト指定教科・科目の変更はありません。また、英語認定試験は課しません。

（注1）共通テストの指定教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目等は別掲2参照

(別表)

<募集人員> (予定)

学部	学科等		募集人員					
			一般選抜		総合型選抜※		学校推薦型選抜※	
			前期日程	後期日程	総合型 I	総合型 II	推薦型 I	推薦型 II
多文化社会学部	多文化社会学科	国際公共政策コース 社会動態コース 共生文化コース 言語コミュニケーションコース	68	10	12			
		オランダ特別コース	7		3			
	小計		75	10	15	0	0	0
教育学部	学校教育教員養成課程	小学校教育コース 子ども理解系 教科授業開発系 離島・地域文化系	71			4		25
		中学校教育コース	文系	15				9
	理系		16				5	
	実技系		5					
	幼児教育コース		10				5	
	特別支援教育コース		11				4	
小計		128	0	0	4	0	48	
経済学部	総合経済学科	昼間コース	190	40	5	10	20	
		夜間主コース						
	小計		190	40	5	10	20	0
医学部	医学科		71 (※2)					24 (※2)
	保健学科	看護学専攻	48	10				10
		理学療法学専攻	10	5				2
		作業療法学専攻	10	5				2
		計	68	20				14
小計		139	20	0	0	0	38	
歯学部	歯学科		33	7				10
薬学部	薬学科		28	6				6
	薬科学科		21	15				4
	小計		49	21	0	0	0	10
情報データ科学部(仮称)	情報データ科学科		70	15			5	10

学部	学科等		募集人員						
			一般選抜		総合型選抜		学校推薦型選抜		
			前期日程	後期日程	総合型Ⅰ	総合型Ⅱ	推薦型Ⅰ	推薦型Ⅱ	
工学部	工 学 科	機械工学コース	224	50	7			6	
		電気電子工学コース			8			4	
		構造工学コース			2			7	
		社会環境デザイン工学コース			13			2	
		化学・物質工学コース			3			4	
	小 計		224	50	33	0	0	23	
環境科学部	環境科学科	選抜方法A（文系）	40	13				6	4
		選抜方法B（理系）	40	13				6	
	小 計		80	26	0	0	0	16	
水産学部	水産学科		45	45	5			15	
合 計			1,033	234	58	14	25	170	

※「総合型Ⅰ」及び「推薦型Ⅰ」は大学入学共通テストを課さず、「総合型Ⅱ」及び「推薦型Ⅱ」は大学入学共通テストを課します。

※2 医学部医学科の入学定員には、2019（平成31）年度までを期限とする文部科学省から認可を受けた暫定的な増員25人が含まれていませんが、当該増員の2020年度及び2021年度における取扱いについては、平成30年6月15日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2018～少子高齢化の克服による持続的な成長経路の実現～」を踏まえた暫定的な措置により、概ね現状の増員が維持される可能性があります。ただし、現時点では未定となっておりますので、詳細は決まり次第、本学の入試情報サイト等でお知らせする予定です。

<医学部医学科 2019（平成31）年度時点>

入試枠名	募集人員	
		（うち暫定的な増員分）
一般入試（前期日程）	76	（5）
推薦入試A（地域医療枠）	15	なし
推薦入試B（地域医療特別枠）	15	（15）
推薦入試C（佐賀県枠）	2	（2）
推薦入試C（宮崎県枠）	2	（2）
推薦入試D（グローバルヘルス研究医枠）	10	（1）
合 計	120	（25）

(別掲1)

大学入学共通テスト利用教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目 (新旧対照表)

※今回の予告は2019年(令和元年)6月現在の内容であり、今後変更の可能性もありますのでご注意ください。
 ※下線部が変更点。なお、医学部(医学科・保健学科)及び歯学部は、出題教科・科目の変更はありません。

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	2021年度(令和3年度)		2020年度(令和2年度)		
		大学入学共通テストの利用教科・科目名		大学入学共通テスト試験の利用教科・科目名		
学部	学科等	教科	科目名	教科	科目名	
多文化社会学部 多文化社会学科	国際公共政策コース 社会行動コース 言語コミュニケーションコース	国	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 から1(注1)	国	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 から1(注1)	
		前期	教 理 外	数 理 外	数 理 外	教I, 教A, 教II, 教B 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)又は(4教科5科目)
		後期	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	小論文 面接 から1(注1) (3教科3科目)
オンライン特別コース		国	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 から1(注1)	国	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 から1(注1)	
		前期	教 理 外	数 理 外	数 理 外	教I, 教A, 教II, 教B 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (4教科4科目)又は(4教科5科目)
		後期	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	小論文 面接 から1(注1) (3教科3科目)
教育学部 学校教育 教員養成課程	小学校教育コース 子ども理解系 教科授業開発系 種高・地域文化系	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。)	国	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。)	
		前期	教 理 外	数 理 外	数 理 外	教I, 教A, 教II, 教B 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 (5教科6科目)又は(6教科6科目)
		後期	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	国語総合 数I・教I・教A・教B コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ 面接 から5 (注1)
		後期	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	国 地歴 公民 外	国語総合 数I・教I・教A・教B コミュニケーション英語I・ コミュニケーション英語II・ 面接 から5 (注1)

2021年度(令和3年度)

2020年度(令和2年度)

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	2021年度(令和3年度)		2020年度(令和2年度)		
		大学入学生涯学習の 利用教科・科目名	個別学力検査等 科目名	大学入学生涯学習の 利用教科・科目名	個別学力検査等 科目名	
教育学部 学校教育 教員養成 課程	前期	国 地歴 公民 数 理 外	国語総合・現代文B・地理B 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2(注3)(注9) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注8) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A } から1(注8) 数Ⅱ・数Ⅲ・数B, 簿, 情報 } から1(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5)※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	国語総合・現代文B・地理B 世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から2(注3)(注9) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注8) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A } から1(注8) 数Ⅱ・数Ⅲ・数B, 簿, 情報 } から1(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5)※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	国 数 外 その他	国語総合・現代文B・地理B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ・ 英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ 面接 から1 (注12)
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1(注1) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数Ⅱ } から1(注1) ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1 ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1(注1) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数Ⅱ } から1(注1) ①又は② ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1 ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注13) 「物理基礎, 物理」, 「化学基礎, 化学」, 「生物基礎, 生物」, 「地学基礎, 地学」から1 コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接 から1(注13)
中学校教育コース	前期	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注14) コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(体育) 面接 から1(注14)	
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注14) コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 実技検査(体育) 面接 から1(注14)
幼児教育コース	前期	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1(注1) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1(注1) 数Ⅰ・数Ⅱ・数A } から1(注8) 数Ⅱ・数Ⅲ・数B, 簿, 情報 } から1(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5)※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接 から1(注11)	
		後期	国 地歴 公民 数 理 外	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	世A,世B,日A,日B,地理A,地理B } から1又は2(注3) 現社,倫,政経,倫・政経 } から1又は2(注3) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓から1	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) コミュニケーション英語Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ 面接 から1(注11)

2021年度（令和3年度）

2020年度（令和2年度）

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	2021年度（令和3年度） 大学入試センター試験の 利用教科・科目名			2020年度（令和2年度） 大学入試センター試験の 利用教科・科目名		
		教科	科目名	科目等	教科	科目名	科目等
教育学部 学校教育 教員養成 課程	前期	国 地歴 公民 理	ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) } から3 (注7) } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } 〔※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。〕 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A } から1(注8) } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 } 物理基礎, 物理Ⅰ, } 化学基礎, 化学Ⅰ, } 生物基礎, 生物Ⅰ, } 地学基礎, 地学Ⅰ, } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } その他 面接	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } コミュニケーション英語Ⅲ } その他 面接		
	後期	国 地歴 公民 理	ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) } から3 (注7) } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } 〔※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。〕 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A } から1(注8) } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 } 物理基礎, 物理Ⅰ, } 化学基礎, 化学Ⅰ, } 生物基礎, 生物Ⅰ, } 地学基礎, 地学Ⅰ, } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } その他 面接			
経済学部 総合経済学科	前期	国 地歴 公民 理	ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) } から3 (注7) } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } 〔※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。〕 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A } から1(注8) } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 } 物理基礎, 物理Ⅰ, } 化学基礎, 化学Ⅰ, } 生物基礎, 生物Ⅰ, } 地学基礎, 地学Ⅰ, } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } その他 面接	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } コミュニケーション英語Ⅲ } その他 面接		
	後期	国 地歴 公民 理	ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) } から3 (注7) } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } 〔※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。〕 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A } から1(注8) } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 } 物理基礎, 物理Ⅰ, } 化学基礎, 化学Ⅰ, } 生物基礎, 生物Ⅰ, } 地学基礎, 地学Ⅰ, } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } その他 面接			
夜間主コース	前期	国 地歴 公民 理	ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) } から3 (注7) } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } 〔※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。〕 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A } から1(注8) } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 } 物理基礎, 物理Ⅰ, } 化学基礎, 化学Ⅰ, } 生物基礎, 生物Ⅰ, } 地学基礎, 地学Ⅰ, } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } その他 面接	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1(注11) } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } コミュニケーション英語Ⅲ } その他 面接		
	後期	国 地歴 公民 理	ⅡA, ⅡB, ⅡA, ⅡB, 地理A, 地理B } から1又は2(注3) } から3 (注7) } 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, } 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ } 〔※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。〕 数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A } から1(注8) } 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } 〔5教科6科目〕又は〔6教科6科目〕	国語総合 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 } 物理基礎, 物理Ⅰ, } 化学基礎, 化学Ⅰ, } 生物基礎, 生物Ⅰ, } 地学基礎, 地学Ⅰ, } コミュニケーション英語Ⅰ・ } Ⅱ・英語Ⅱ } その他 面接			

2021年度(令和3年度)

2020年度(令和2年度)

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	2021年度(令和3年度)		2020年度(令和2年度)	
		大学入学生涯学習の 利用教科・科目名	個別学力検査等 科目名等	大学入学生涯学習の 利用教科・科目名	個別学力検査等 科目名等
環境科学部 環境科学科	前期	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]
	後期	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]又は[4教科4科目]	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓 から1 [3教科4科目]又は[4教科4科目]
適法方法B (理系受験)	前期	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数Aから1 数II, 数II・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[5教科7科目]
	後期	国 地歴 公民 数 理 外	数I・数II・数A 数II, 数II・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]又は[3教科6科目]	国 地歴 公民 数 理 外	数I・数II・数A 数II, 数II・数Bから1 ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科5科目]又は[3教科6科目]
水産学部 水産学科	前期	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数A 数II, 数II・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数A 数II, 数II・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]
	後期	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数A 数II, 数II・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	国 地歴 公民 数 理 外	世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注1) 数I・数II・数A 数II, 数II・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注4) ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]

(別掲2)

2021年度(令和3年度)総合型選抜Ⅱ及び学校推薦型選抜Ⅱにおける
大学入学共通テスト利用教科・科目及び個別学力検査等の出題教科・科目(変更区分のみ)

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名			個別学力検査等	
		教科	科目名	教科等	科目名等	
教育学部 学校教育 教員養成 課程	小学校教育コース 子ども理解系 教科授業開発系 離島・地域文化系	総合型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注2) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A } から1(注3) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[6教科6科目]	その他	面接(自己表現を含む。)
	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1又は2(注1) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から3(注2) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学から1又は2 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A } から1(注3) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注3) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科6科目]又は[6教科6科目]	その他	小論文 面接	
中学校教育コース 文系	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注1)(注4) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注1)(注4) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [3教科4科目]又は[4教科4科目]	その他	小論文 面接	
中学校教育コース 理系	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 理 数 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注5) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注5) 数Ⅰ・数A } から1(注5) 数Ⅱ・数B } から1(注5) ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2及び 物理, 化学, 生物, 地学から1 } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 } から1(注5) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	その他	面接(調査書の配点含む。)	
幼児教育コース	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注6) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注6) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A } から1(注6) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注6) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓 } から1(注6) [2教科2科目]	その他	面接	
特別支援教育コース	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1(注6) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注6) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A } から1(注6) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から1(注6) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓 } から1(注6) [1教科1科目]	その他	小論文 面接	
経済学部	総合経済学科 (昼間コース)	総合型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から2(注7) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から2(注7) 数Ⅰ・数A } から2(注7) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 } から2(注7) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎, 物理, 化学, 生物, 地学 ※ (※基礎を付した理科の科目については, 2科目で1科目とみなす。) 英, 独, 仏, 中, 韓 } から2(注7) [1教科2科目]又は[2教科2科目]	その他	面接
医学部	保健学科 看護学専攻 理学療法学専攻 作業療法学専攻	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 数 理 外	国 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 } から1(注8) 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 } から1(注8) 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎から2 又は 物理, 化学, 生物から1(注8) } から1(注8) 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } から1(注8) [4教科5科目]又は[4教科6科目]	その他	小論文 面接(調査書の配点含む。)
歯学部 歯学科	学校 推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1(注5) 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注5) 数Ⅰ・数A } から1(注5) 数Ⅱ・数B } から1(注5) 物理, 化学, 生物から2 } から1(注5) 英, 独, 仏から1 } から1(注5) [5教科7科目]	その他	小論文 面接	

学部・学科等名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名	教科等	科目名等
工学部 工学科	学校推薦型 選抜Ⅱ	数 理	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B 物理 化学 [2教科4科目]	その他	面接
環境科学部 環境科学科	選抜方法A (文系受験)	学校推薦型 選抜Ⅱ ①普通 科等	国 地歴 公民 数 理 国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注5) 数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注8) [4教科5科目]又は[4教科6科目]	その他	面接
	選抜方法B (理系受験)	学校推薦型 選抜Ⅱ ①普通 科等	国 地歴 公民 数 理 国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注5) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数Bから1 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 又は 物理, 化学, 生物, 地学から1(注8) [4教科5科目]又は[4教科6科目]	その他	面接
水産学部 水産学科	学校推薦型 選抜Ⅱ	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1(注5) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B ①物理基礎, 化学基礎, 生物基礎, 地学基礎から2 及び 物理, 化学, 生物, 地学から1(注9) } ①又は② ②物理, 化学, 生物, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]又は[5教科8科目]	その他	面接

(注1) 地歴・公民を2科目選択する際に、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできない。

(注2) 地歴・公民及び理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合は、高得点科目を採用する。ただし、地歴・公民及び理科の第2解答科目は、それぞれの第1解答科目を採用している場合のみ採用する。

(注3) 数学を2科目受験している場合は、高得点科目を採用する。

(注4) 世B, 日B, 地理B, 倫・政経から1科目以上選択すること。

(注5) 地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注6) 複数科目を受験している場合は、高得点科目を採用する。

(注7) 受験している科目から高得点順に2科目を採用する。

(注8) 理科を学部が指定している科目数より多く受験している場合

①「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を受験している場合は、高得点科目を採用する。

②「基礎を付していない科目」を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。

(注9) 理科で「基礎を付した科目」と「基礎を付していない科目」を選択する際に、同一名称(「物理基礎」と「物理」等)を含む科目の組合せを選択することはできない。

(別掲3)

2021 (令和3) 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について (予告)

経済学部総合経済学科

- ・ A O 入試 I (実践力枠: 募集人員 5 人, グローバル枠: 募集人員 10 人) を廃止します。
- ・ 新たに総合型選抜 I (募集人員 5 人) 及び総合型選抜 II (募集人員 10 人) を導入します。出願要件及び選抜方法は以下のとおりです。

募集人員	総合型選抜 I	5 人								
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>1. 高等学校又は中等教育学校における専門教育を主とする学科又は総合学科を平成31年4月以降に卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月に修了見込みの者。ただし、以下の(1)から(5)までのいずれかに該当する者には出願資格がない。</p> <p>(1) 普通科を卒業した者及び卒業見込みの者</p> <p>(2) 国語を主とする学科、系等において、下表の数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。)</p> <p>(3) 理数を主とする学科、系等において、下表の国語及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。)</p> <p>(4) 外国語又は国際関係を主とする学科、系等において、下表の国語及び数学のすべての科目を履修した者(履修中を含む。)</p> <p>(5) 専門教育を主とする学科、系等(国語、理数、外国語又は国際関係を主とする学科、系等を除く。) 又は総合学科において、下表の国語、数学及び英語のすべての科目を履修した者(履修中を含む。)</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>数学 I, 数学A, 数学II, 数学B</td> </tr> <tr> <td>英語</td> <td>コミュニケーション英語 I, コミュニケーション英語 II, コミュニケーション英語 III, 英語表現 I, 英語表現 II</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 高等専門学校第3学年を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月修了見込みの者</p>		教科	科 目	国語	国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)	数学	数学 I, 数学A, 数学II, 数学B	英語	コミュニケーション英語 I, コミュニケーション英語 II, コミュニケーション英語 III, 英語表現 I, 英語表現 II
教科	科 目									
国語	国語総合(又は国語表現)、現代文B、古典B(又は古典A)									
数学	数学 I, 数学A, 数学II, 数学B									
英語	コミュニケーション英語 I, コミュニケーション英語 II, コミュニケーション英語 III, 英語表現 I, 英語表現 II									
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、課題論文及び個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、課題論文、個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して可否を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、読解力、論理的思考能力等を問う課題論文を課し、個人面接を行う。</p>									

募集人員	総合型選抜 II	10 人
出 願 要 件	<p>次のいずれかに該当し、大学入学共通テストを受験する者で、かつ、合格した場合は入学することを確約できるもの</p> <p>(本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <p>1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年4月以降に卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月に修了見込みの者</p> <p>2. 高等専門学校第3学年を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月修了見込みの者</p> <p>3. 外国において、学校教育における12年の課程を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>5. 文部科学大臣の指定した者</p> <p>ただし、国際バカロレア資格等については、平成31年4月以降に取得した者及び令和3年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>6. 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和3年3月31日までに合格見込みの者で、かつ、18歳に達するもの</p> <p>7. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年3月31日までに18歳に達するもの</p>	
選 抜 方 法 等	<p>自己推薦書、諸活動の記録、調査書、大学入学共通テスト及び個人面接の成績等を総合して合格者を決定する。ただし、第2次選考において、大学入学共通テスト、個人面接のいずれかの点数が著しく低い者については、個別に審査して可否を決定する。</p> <p>1. 第1次選考 自己推薦書、諸活動の記録、調査書等により選考を行う。</p> <p>2. 第2次選考 第1次選考に合格した者に対して、個人面接を課し、大学入学共通テストの成績と合わせて総合的に評価する。</p> <p>※ 大学入学共通テストの指定教科・科目については、P114 (別掲2) 参照</p>	

(別掲4)

2021 (令和3) 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について (予告)

歯学部歯学科

- ・ A O入試Ⅱ (募集人員10人) を廃止します。
- ・ 新たに学校推薦型選抜Ⅱ (募集人員10人) を導入します。出願要件及び選抜方法は以下のとおりです。

出 願 要 件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成31年4月以降に卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。)</p> <ol style="list-style-type: none">1. 学習成績概評が㊦又はA段階に属する者で、人物に優れ、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)まで進学することを高等学校長等が責任をもって推薦できるもの2. 入学後は歯学研究コース(大学院の進学を目指す学生を対象とした所定のカリキュラムコースで、第3年次から履修する)を履修し、大学卒業後は長崎大学大学院医歯薬学総合研究科(歯学系)に進学することを確約できる者3. 大学入学共通テストで、歯学部が指定した教科・科目を受験する者4. 合格した場合は、入学することを確約できる者5. 大学入試センターが認定した英語の民間資格・検定試験で、文部科学省が示すCEFRの段階別成績表示による対照表の水準「A2」以上の試験結果を有する者																
選 抜 方 法 等	<p>高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、大学入学共通テストの成績並びに小論文及び個人面接の評価を総合して合格者を決定する。 ただし、大学入学共通テスト指定教科・科目の総合計の得点率が、原則として70%に満たない場合は不合格とする。</p> <div data-bbox="512 1350 1295 1644" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p><table><tr><td>国</td><td>: 国</td><td rowspan="3">} から1※</td></tr><tr><td>地歴</td><td>: 世B, 日B, 地理B</td></tr><tr><td>公民</td><td>: 現社, 倫, 政経, 倫・政経</td></tr><tr><td>数</td><td>: 数I・数A 数II・数B</td><td></td></tr><tr><td>理</td><td>: 物理, 化学, 生物 から2</td><td></td></tr><tr><td>外</td><td>: 英, 独, 仏 から1</td><td></td></tr></table><p style="text-align: right;">[5教科7科目]</p></div> <p>※地歴・公民を2科目受験している場合は、第1解答科目を採用する。</p>	国	: 国	} から1※	地歴	: 世B, 日B, 地理B	公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経	数	: 数I・数A 数II・数B		理	: 物理, 化学, 生物 から2		外	: 英, 独, 仏 から1	
国	: 国	} から1※															
地歴	: 世B, 日B, 地理B																
公民	: 現社, 倫, 政経, 倫・政経																
数	: 数I・数A 数II・数B																
理	: 物理, 化学, 生物 から2																
外	: 英, 独, 仏 から1																

(別掲5)

2021 (令和3) 年度長崎大学入学者選抜方法の変更点について (予告)

工学部工学科

- ・AO入試Ⅱ (募集人員17人) を廃止します。
- ・新たに学校推薦型選抜Ⅱ (募集人員23人) を導入します。出願要件及び選抜方法は以下のとおりです。

募 集 人 員	学校推薦型 選抜Ⅱ	23人	機械工学コース	6人
			電気電子工学コース	4人
			構造工学コース	7人
			社会環境デザイン工学コース	2人
			化学・物質工学コース	4人
出 願 要 件	高等学校又は中等教育学校を平成31年4月以降に卒業した者及び令和3年3月卒業見込みの者、あるいは通常の課程による12年の学校教育を平成31年4月以降に修了した者及び令和3年3月に修了見込みの者で、次の各号に該当するもの (本学では、過去の大学入試センター試験の成績は利用しない。) 1. 工学を志し、全体の評定平均値が3.6以上の者で、人物、学業に優れ、高等学校長が責任をもって推薦できる者 2. 大学入学共通テストで、工学部が指定した教科・科目を受験する者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者			
選 抜 方 法 等	高等学校長等から提出された調査書、推薦書、本人自筆の志望理由書、活動報告書、大学入学共通テスト及び面接の成績等を審査し、その結果を総合して合格者を決定する。ただし、この総合計の得点率が、原則として60%に満たない場合は不合格とする。また、面接の評価が著しく低い場合には、大学入学共通テストの成績にかかわらず不合格とする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"><p>【大学入学共通テスト指定教科・科目】</p><p>数：数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B</p><p>理：物理 化学</p><p style="text-align: right;">[2教科4科目]</p></div>			

入試に関する問い合わせ先

長崎大学学生支援部入試課

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

☎ 095-819-2111

長崎大学ホームページ（入試情報サイト）

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyu-main.html>